

令和 7 年度 西土佐総合保健施設 医師住宅 3 号 新築工事 (建築主体・電気設備工事)

設 計 図

令和 7 年 8 月

株式会社
プラス 1 設計室



THINKING KONG

	<div><div><div><div><div><div>杭先端部形状</div><div>(4.3.3)</div></div><div><div>・開放形</div><div>・半開放形</div><div>・閉そく形</div><div></div></div></div><div><div>・セメントミルク工法</div><div>(4.2.2)(4.3.1)(4.3.4)</div></div><div><div>試験杭</div><div>試験杭の位置</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>掘削深さ</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭の支持層への根入れ深さ</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭の精度</div><div>水平方向の位置ずれ</div><div>・杭径の1/4かつ100mm以下</div><div>・</div></div><div><div>杭の傾斜</div><div>・1/100以内</div><div>・</div></div></div><div><div>・特定埋込杭工法</div><div>(4.2.2)(4.3.1)(4.3.5)</div></div><div><div>・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持方式でα=250を採用できる工法</div><div>・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持方式のうち</div><div>α、β、γが以下の値を採用できる工法</div><div>α=()、β=()、γ=()</div></div><div><div>工法</div><div>・プレボーリング拡大根固め工法</div><div>・中掘り拡大根固め工法</div><div>・</div></div><div><div>杭周固定液</div><div>・使用する</div><div>・使用しない</div></div><div><div>試験杭</div><div>試験杭の位置</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭の支持層への根入れ深さ</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭の精度</div><div>水平方向の位置ずれ</div><div>※杭径の1/4かつ100mm以下</div><div>・</div></div><div><div>杭の傾斜</div><div>※1/100以内</div><div>・</div></div></div><div><div>杭の継手の工法</div><div>(4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)</div></div><div><div>・アーク溶接継手</div><div>溶接材料</div><div>・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による</div><div>・</div></div><div><div>・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)</div><div>工法</div><div>※評定等を受けた工法</div><div>検査</div><div>※評定等により定められた項目</div><div>施工</div><div>※評定等をされた施工管理基準による</div></div><div><div>杭頭の処理等</div><div>(4.3.8)</div><div>・処理しない</div><div>・処理する</div><div>処理方法(切断にともなう補強方法含む)</div><div>・図示による()</div><div>・</div></div><div><div>杭頭の中詰め材料</div><div>(4.3.8)</div><div>・基礎のコンクリートと同調合のもの</div><div>・</div></div><div><div>材料、寸法、継手等</div><div>(4.2.2)(4.43)(4.4.5)</div></div><table><tr><th></th><th></th><th>種類</th><th>厚さ (mm)</th><th>杭径 (mm)</th><th>杭長 (m)</th><th>継手数</th><th>セツト数</th><th>長期設計支持力 (kN/本)</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="3">試験杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">本 杭</td><td>上杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>中杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>下杭</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table><div><div>杭先端部形状</div><div>・開放形</div><div>・半開放形</div><div>・閉塞形</div><div>・</div></div><div><div>先端部の補強</div><div>・標準仕様書 図4.4.1、表4.4.2による</div><div>・</div></div><div><div>先端部の補強(補強バンドなど)及びその他付属品の材質</div><div>・SS400と同等またはそれ以上</div><div>・</div></div></div>			種類	厚さ (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考	試験杭	上杭									中杭									下杭									本 杭	上杭									中杭									下杭								
		種類	厚さ (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セツト数	長期設計支持力 (kN/本)	備 考																																																										
試験杭	上杭																																																																		
	中杭																																																																		
	下杭																																																																		
本 杭	上杭																																																																		
	中杭																																																																		
	下杭																																																																		

・特定埋込杭工法

(4.2.2)(4.3.5)(4.4.4)

・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持方式でα=250を採用できる工法

・H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持方式のうち

α、β、γが以下の値を採用できる工法

α=()、β=()、γ=()

工法

・中掘り拡大根固め工法

・

試験杭

試験杭の位置

・図示による()

・

杭の精度

水平方向の位置ずれ

※杭径の1/4かつ100mm以下

・

杭の傾斜

※1/100以内

・

杭の継手の工法

(4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)

・溶接継手

形状

・JIS A 5525による

・

溶接材料

・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による

・

・無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)

工法

※評定等を受けた工法

検査

※評定等により定められた項目

施工

※評定等をされた施工管理基準による

杭頭の処理等

(4.3.8)(4.4.6)

・処理しない

・処理する

処理方法(切断にともなう補強方法含む)

・図示による()

・

杭頭の中詰め材料

(4.3.8)

・基礎のコンクリートと同調合のもの

・

工法

(4.5.1)(4.5.5)

・アースドリル工法 (安定液 ※使用する ・使用しない)

・リバース工法

・オールケーシング工法 (孔内の水張り ・行う ・行わない)

併用する工法

(4.5.1)(4.5.6)

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

鋼管の種類

・SKK400

・SKK490

・

・拡底杭工法 (安定液 ・使用する ・使用しない)

・

寸法等

(4.2.2)

	鋼管厚 (mm)	鋼管径 (mm)	軸径 (mm)	拡底径 (mm)	杭長 (m)	セツト数	長期設計支 持力(kN/本)	備 考
試験杭								
本 杭								

試験杭

(4.5.5)

試験杭の位置

・図示による()

・

孔壁の保持状況(孔壁測定)

(4.5.5)

測定箇所

・試験杭()箇所及び本杭()箇所

・

杭の支持層への根入れ深さ

・図示による()

・

杭の精度

水平方向の位置ずれ

※杭径の1/4かつ100mm以下

・

杭の傾斜

※1/100以内

・

鉄筋の種類

(4.5.4)

種類の記号	呼 び 径 (mm)	備 考
・ SD295		
・ SD345		
・		

帯筋

(4.5.4)

・図示による(構造関係共通図(配筋標準図)6.2帯筋(b)(3)⑥(ロ))

・

鉄筋の最小かぶり厚さ

(4.5.4)

・100mm

・

鉄筋かごの補強

(4.5.4)

・図示による()

・杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50〜75(mm)の補強リング を3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する

組み立てた鉄筋の節ごとの継手

(4.5.4)(5.3.4)

※重ね継手

重ね継手の長さ

・図示による()

・

主筋の基礎底盤への定着長さ

(4.5.4)(5.3.4)

・図示による()

・

セメントの種類

(4.5.4)

※高炉セメントB種G

・

コンクリートの設計基準強度

(4.5.4)

・図示による()

・

コンクリートの種別

(4.5.4)

・A種

・B種

・評定等の内容による

スランブ

(4.5.4)

※18cm

・

構造体強度補正值

(4.5.4)

※3N/mm²

・図示による()

・評定等の内容による

材料

(4.6.2)

⊙再生クラッシュランG

・切込砂利又は切込碎石

砂利厚さ

(4.6.3)

・60mm

⊙ 100mm

施工範囲

(4.6.3)

・基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下

⊙図示による()

厚さ

(4.6.4)

※50mm

・

施工範囲

(4.6.4)(6.14.1)

・基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下

⊙図示による()

設計基準強度

(4.6.4)(6.14.1)

※18N/mm²

・

スランブ

(4.6.4)(6.14.1)

※15cm又は18cm

・

材料

(4.6.2、5)

※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上

施工範囲

・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ビット下を除く)

・図示

種類及び施工方法等

・図示による()

・

六価クロム溶出試験

※現場説明書による

・

⊙砂利地業

⊙捨コンクリート地業

⊙床下防湿層

・地盤改良工法

特記仕様書(建築工事編)(2)

令和4年度版

工事名称

令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築

工事 設計図

株式会社

プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8

TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247


事務所登録 第 1324 号

1級建築士 第 196860 号 永富 達也

A-02

No.

⑤ 鉄 筋 工 事	○鉄筋	<table><tr><td colspan="4">鉄筋の種類等 (5.2.1)</td></tr><tr><td colspan="2">種類の記号</td><td>呼び径 (mm)</td><td>備 考</td></tr><tr><td colspan="2">○SD295</td><td>D 10、 D 13</td><td>図示</td></tr><tr><td colspan="2">・ SD345</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・</td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・</td><td></td><td></td></tr></table>	鉄筋の種類等 (5.2.1)				種類の記号		呼び径 (mm)	備 考	○SD295		D 10、 D 13	図示	・ SD345				・				・				⑥ コ ン ク リ ー ト	<table><tr><td colspan="3">・普通コンクリート (6.2.1～4) (6.3.2) (6.10.1、2)</td></tr><tr><td>設計基準強度 (N/mm²)</td><td>スランプ (cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・ 24</td><td>※18</td><td>図示</td></tr><tr><td>○21</td><td>○15</td><td>基礎・土間</td></tr><tr><td>○18</td><td>○15</td><td>捨コンクリート</td></tr></table>	・普通コンクリート (6.2.1～4) (6.3.2) (6.10.1、2)			設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所	・ 24	※18	図示	○21	○15	基礎・土間	○18	○15	捨コンクリート	・流動化 コンクリート ・打継ぎの位置 ひび割れ誘発目地 打継目地	適用箇所 ・図示による ()										
	鉄筋の種類等 (5.2.1)																																																						
	種類の記号		呼び径 (mm)	備 考																																																			
	○SD295		D 10、 D 13	図示																																																			
	・ SD345																																																						
	・																																																						
	・																																																						
	・普通コンクリート (6.2.1～4) (6.3.2) (6.10.1、2)																																																						
	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																																																				
	・ 24	※18	図示																																																				
○21	○15	基礎・土間																																																					
○18	○15	捨コンクリート																																																					
○溶接金網	<table><tr><td colspan="4">鉄線の形状等 (5.2.2)</td></tr><tr><td>種 類</td><td>種類の記号</td><td>網目寸法、鉄線の径 (mm)</td><td>使用部位</td></tr><tr><td>○溶接金網</td><td>CD6</td><td>100×100φ6</td><td>浴室</td></tr><tr><td>・ 鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	鉄線の形状等 (5.2.2)				種 類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	○溶接金網	CD6	100×100φ6	浴室	・ 鉄筋格子				<table><tr><td colspan="3">・軽量コンクリート</td></tr><tr><td>設計基準強度 (N/mm²)</td><td>スランプ (cm)</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></table>	・軽量コンクリート			設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所	・	・		・	・		打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による ()																								
鉄線の形状等 (5.2.2)																																																							
種 類	種類の記号	網目寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																				
○溶接金網	CD6	100×100φ6	浴室																																																				
・ 鉄筋格子																																																							
・軽量コンクリート																																																							
設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	適用箇所																																																					
・	・																																																						
・	・																																																						
○鉄筋の継手 及び定着	<table><tr><td colspan="4">鉄筋の継手の方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3)</td></tr><tr><td>部 位</td><td colspan="2">継手の方法</td><td>呼び径 (mm)</td></tr><tr><td>柱及び梁主筋</td><td>※ガス圧接</td><td>・機械式継手</td><td>・溶接継手</td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td colspan="3">※重ね継手</td></tr><tr><td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td><td>・重ね継手</td><td colspan="2">・ガス圧接</td></tr><tr><td>上記以外 ()</td><td>※重ね継手</td><td colspan="2">D 10、 D 13</td></tr></table>	鉄筋の継手の方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3)				部 位	継手の方法		呼び径 (mm)	柱及び梁主筋	※ガス圧接	・機械式継手	・溶接継手	耐力壁の鉄筋	※重ね継手			基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手	・ガス圧接		上記以外 ()	※重ね継手	D 10、 D 13		構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による ・	柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()																												
鉄筋の継手の方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.6.3)																																																							
部 位	継手の方法		呼び径 (mm)																																																				
柱及び梁主筋	※ガス圧接	・機械式継手	・溶接継手																																																				
耐力壁の鉄筋	※重ね継手																																																						
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	・重ね継手	・ガス圧接																																																					
上記以外 ()	※重ね継手	D 10、 D 13																																																					
○鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (溶接金網含む)	<table><tr><td colspan="4">鉄筋の継手位置 (5.3.4)</td></tr><tr><td colspan="4">○構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による</td></tr><tr><td colspan="4">・図示</td></tr><tr><td colspan="4">主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ</td></tr><tr><td colspan="4">・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (2) による</td></tr><tr><td colspan="4">○構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (3)による</td></tr><tr><td colspan="4">・図示</td></tr><tr><td colspan="4">鉄筋の定着長さ (5.3.4)</td></tr><tr><td colspan="4">○構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による</td></tr><tr><td colspan="4">・図示</td></tr></table>	鉄筋の継手位置 (5.3.4)				○構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による				・図示				主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ				・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (2) による				○構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (3)による				・図示				鉄筋の定着長さ (5.3.4)				○構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による				・図示				コンクリートの 類別 (6.2.1) ※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)	目地の寸法 ・標準仕様書 9.7.3(1) (7)～(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による ()												
鉄筋の継手位置 (5.3.4)																																																							
○構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による																																																							
・図示																																																							
主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ																																																							
・構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (2) による																																																							
○構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(a) (3)による																																																							
・図示																																																							
鉄筋の定着長さ (5.3.4)																																																							
○構造関係共通図 (配筋標準図) 3.1(b)による																																																							
・図示																																																							
○各部配筋	<table><tr><td colspan="4">継手位置 (5.3.5)</td></tr><tr><td colspan="4">○構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による</td></tr><tr><td colspan="4">・図示</td></tr><tr><td colspan="4">最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)</td></tr><tr><td colspan="4">○構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による</td></tr><tr><td colspan="4">・図示</td></tr><tr><td colspan="4">柱及び梁の主筋にD29以上の使用</td></tr><tr><td colspan="4">・あり 適用箇所 ()</td></tr><tr><td colspan="4">主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する</td></tr><tr><td colspan="4">耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</td></tr><tr><td colspan="4">・適用箇所 (なし)</td></tr><tr><td colspan="4">・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ () mm</td></tr><tr><td colspan="4">・ ()</td></tr></table>	継手位置 (5.3.5)				○構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による				・図示				最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)				○構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による				・図示				柱及び梁の主筋にD29以上の使用				・あり 適用箇所 ()				主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する				耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)				・適用箇所 (なし)				・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ () mm				・ ()				種 類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が 7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする ・高炉セメントB種 G 適用箇所(・1FLより下部 (立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 G 適用箇所 () ・	ひび割れ誘発目地の位置 ・図示による ()
継手位置 (5.3.5)																																																							
○構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1、6.1、7.1、7.3、8.1による																																																							
・図示																																																							
最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う)																																																							
○構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1による																																																							
・図示																																																							
柱及び梁の主筋にD29以上の使用																																																							
・あり 適用箇所 ()																																																							
主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する																																																							
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)																																																							
・適用箇所 (なし)																																																							
・構造関係共通図 (配筋標準図) 表4.1に加える厚さ () mm																																																							
・ ()																																																							
・圧接完了後の試験	<table><tr><td colspan="4">外観試験 (5.4.10) (5.4.11)</td></tr><tr><td colspan="4">※行う (全数)</td></tr><tr><td colspan="4">抜取試験</td></tr><tr><td colspan="4">※超音波探傷試験</td></tr><tr><td colspan="4">試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。</td></tr><tr><td colspan="4">試験の箇所数： 1 ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。</td></tr><tr><td colspan="4">・引張試験</td></tr><tr><td colspan="4">試験ロット： 1 組の作業班が 1 日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは 200箇所ごととする</td></tr><tr><td colspan="4">試験の箇所数： 1 ロットに対して (※3本) とする</td></tr></table>	外観試験 (5.4.10) (5.4.11)				※行う (全数)				抜取試験				※超音波探傷試験				試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。				試験の箇所数： 1 ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。				・引張試験				試験ロット： 1 組の作業班が 1 日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは 200箇所ごととする				試験の箇所数： 1 ロットに対して (※3本) とする				アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m ³ 以下) ・再生骨材H 本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (6.8.2)																
外観試験 (5.4.10) (5.4.11)																																																							
※行う (全数)																																																							
抜取試験																																																							
※超音波探傷試験																																																							
試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。																																																							
試験の箇所数： 1 ロットに対して30か所とし、ロットから無作為に抜き取る。																																																							
・引張試験																																																							
試験ロット： 1 組の作業班が 1 日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは 200箇所ごととする																																																							
試験の箇所数： 1 ロットに対して (※3本) とする																																																							
・機械式継手	<table><tr><td colspan="4">適用箇所 (5.5.2)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr><tr><td colspan="4">H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2)</td></tr><tr><td colspan="4">・A級</td></tr><tr><td colspan="4">機械式継手の種類 (5.5.2)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr><tr><td colspan="4">鉄筋相互のあき (5.3.5) (5.5.2)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr><tr><td colspan="4">施工完了後の継手部の試験 (5.5.2)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr><tr><td colspan="4">不合格となった継手部への措置 (5.5.2)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr></table>	適用箇所 (5.5.2)				・図示による ()				H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2)				・A級				機械式継手の種類 (5.5.2)				・図示による ()				鉄筋相互のあき (5.3.5) (5.5.2)				・図示による ()				施工完了後の継手部の試験 (5.5.2)				・図示による ()				不合格となった継手部への措置 (5.5.2)				・図示による ()				○混和剤 混和剤の種類 ○標準仕様書 6.3.1(4) (a)による ・ () ・混和材 混和材の種類 ・標準仕様書 6.3.1(4) (b)による ・ ()	・打増し厚さ (打放し仕上げ部)				
適用箇所 (5.5.2)																																																							
・図示による ()																																																							
H12建告第1463号に適合する性能 (5.5.2)																																																							
・A級																																																							
機械式継手の種類 (5.5.2)																																																							
・図示による ()																																																							
鉄筋相互のあき (5.3.5) (5.5.2)																																																							
・図示による ()																																																							
施工完了後の継手部の試験 (5.5.2)																																																							
・図示による ()																																																							
不合格となった継手部への措置 (5.5.2)																																																							
・図示による ()																																																							
・溶接継手	<table><tr><td colspan="4">適用箇所 (5.6.3)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr><tr><td colspan="4">H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3)</td></tr><tr><td colspan="4">・A級</td></tr><tr><td colspan="4">溶接継手の工法 (5.6.3)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr><tr><td colspan="4">鉄筋相互のあき (5.6.3)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr><tr><td colspan="4">溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr><tr><td colspan="4">不合格となった継手部への措置 (5.6.3)</td></tr><tr><td colspan="4">・図示による ()</td></tr></table>	適用箇所 (5.6.3)				・図示による ()				H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3)				・A級				溶接継手の工法 (5.6.3)				・図示による ()				鉄筋相互のあき (5.6.3)				・図示による ()				溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)				・図示による ()				不合格となった継手部への措置 (5.6.3)				・図示による ()				○混和材料 混和剤の種類 ○標準仕様書 6.3.1(4) (a)による ・ () ・混和材 混和材の種類 ・標準仕様書 6.3.1(4) (b)による ・ ()	・打増し厚さ (打放し仕上げ部)				
適用箇所 (5.6.3)																																																							
・図示による ()																																																							
H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3)																																																							
・A級																																																							
溶接継手の工法 (5.6.3)																																																							
・図示による ()																																																							
鉄筋相互のあき (5.6.3)																																																							
・図示による ()																																																							
溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3)																																																							
・図示による ()																																																							
不合格となった継手部への措置 (5.6.3)																																																							
・図示による ()																																																							
		普通コンクリート (6.2.3) ※2.3t/m ³ 程度 軽量コンクリート ・	○型枠																																																				
		種 別 (6.10.1) ・ 1 種 ・ 2 種 適用箇所 ・図示 ・ ()	・コンクリートの単位水量 測定																																																				
		適用期間 (6.2.1) (6.11.1) ・図示による ・積算温度を基に定める場合 ・図示による ()																																																					
		構造体強度補正值 ※6N/mm ² ・																																																					
		適用箇所 (6.2.1) (6.13.1) ・図示による ()																																																					
		セメントの種類 (6.13.2) ・中熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 G ・普通ポルトランドセメント																																																					
		混和材料 (6.13.2) ・混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減水剤又は高性能AE減水剤 スランプ (6.13.2) ※15cm																																																					
		コンクリートの種類 (6.2.1) (6.14.1) ※普通コンクリート																																																					
		セメントの種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 G ・フライアッシュセメントB種 G 設計基準強度 (6.14.1) ※18 (N/mm ²) スランプ (6.14.1) ※15cm又は18cm 適用箇所 (6.14.1) ・標準仕様書 6.14.1(4) (7)～(8)による ・図示による ()																																																					

特記仕様書（建築工事編）（3）		令和4年度版	
工事名称		令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築	
		工事 設計図	
 株式会社 プラス 1 設計室	高知県四万十市古津賀 2939-8		A-03 No.
	TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247		
	事務所登録 第 1324 号		
	1級建築士 第 196860 号 永富 達也		

・ALCパネル	ALCパネルの区分等						(8.4.2～5)												
	区分		単位荷重 (N/m ²) 正荷重負荷重		厚さ (mm)	幅 及び 長さ	耐火性能 (時間)	構法の 種別											
・外壁用 ・コーナー	・一般	・平	・	・	・	図示に よる	・なし ・1	・A種											
	・意匠							・B種											
	・間仕切 壁用	・一般						・平	・なし ・1	・C種									
	・コーナー	・意匠						・D種 ・E種											
・屋根用	—	—	・	・	・	図示に よる	・0.5	※F種											
・床用	—	—	・	—	・	図示に よる	・1 ・2												
パネルの相互の接合部に挿入する目地材 外壁、屋根パネルの構法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した構法 耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・図示による 目地幅 (mm) (パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びに パネルと他部材との取り合い部) ※10～20 外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない																			
・押出成形セメント 板 (E C P)	ECPの種類等						(8.5.2～5)												
	パネルの種類		表面形状		厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考											
	・外壁パネル	・ F (フラット [※])	・ 50 ・ 60 ・		・ A 種	600	・ B 種												
		・ D (デ"ザ"イン [※])	・ 50 ・ 60																
・ T (タイルヘース [※])		60																	
・間仕切壁パネル	・ F (フラット [※])	・ 50 ・ 60 ・		・ B 種	600	・ C 種													
	・ D (デ"ザ"イン [※])	・ 50 ・ 60																	
	・ T (タイルヘース [※])	60																	
外壁パネルの工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・図示による パネル相互の目地幅 (mm) ※長辺10、短辺15以上 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※15程度 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネル製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。																			
		開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅															
パネルに開口 を設ける場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示														
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示														
	パネルを切り 欠く場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示													
		長辺	・	・ 図示	・	・ 図示													
耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による																			
⑨ 防水 工事	・アスファルト防水	屋根保護防水							(9.2.2～5)(表 9.2.3～9)										
		防水層の種類																	
		種別	施工箇所	絶縁用シート		立上り部の保護													
		・ A－1		※ [※] ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm		※ 乾式保護材													
		・ A－2																	
		・ A－3																	
		・ B－1																	
		・ B－2																	
		・ B－3				・ コンクリート押え ・ れんが (JIS R 1250)													
		・ A I－1		※ フラットヤーンクロス 70g/m ² 程度															
・ A I－2																			
・ A I－3																			
・ B I－1		※ 厚さ 25mm																	
・ B I－2																			
・ B I－3																			
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 断熱材 G (A I－1、A I－2、A I－3、B I－1、B I－2、B I－3の場合) 厚さ ※25mm ・50mm 乾式保護材 (品質・性能・試験方法)別表による 窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。																			
分類・規格		・ 窯業系パネルⅠ類 (寒冷地仕様)		・ 窯業系パネルⅠ類 (一般地仕様)		・ 金属複合板													
寸法 (mm)	厚さ (mm)	・ 15 ・		・ 15 ・		・ 15 ・													
	幅 (mm)	・ 303 ・		・ 303 ・		・ 303 ・													
屋根露出防水																			
防水層の種類																			
種 別	施工箇所																		
・ D－1																			
・ D－2																			
・ D－3																			
・ D－4																			
・ D I－1																			
・ D I－2																			
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示 脱気装置の種類及び設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定による ・数量 ()、設置数量 () 個 屋根排水溝 ※ 図示 断熱材 G (D I－1、D I－2の場合) 種類 ・ 厚さ ※25mm ・50mm 仕上塗料 種類 ※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による 使用量 ※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による 高日射反射率防水 G ・適用する																			
屋内防水 (9.2.3～5)(表9.2.9)																			
種 別	施工箇所		種 別	施工箇所															
・ E－1			・ E－2																
保護層 ・設ける (※図示 ・)																			
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する (施工範囲 ・図示 ・) 防水層の下地立上り ・コンクリート打放しB種 ・() 屋上排水溝 ・適用する ()																			
(9.3.2～3)(表9.3.1～3)																			
押え金物の材質及び形状寸法		※アルミニウム製 L-30×15×2.0 (mm) 程度 ・ ()																	
屋根露出防水																			
種 別	施工箇所	改質アスファルトシート		断熱材 G	防湿層														
・ A S－T 1	下層用 ・ 上層用 ・	※非露出複層防水用 R 種	※2.5以上 ・	<div></div>	<div></div>														
		※露出複層防水用 R 種	※3.0以上 ・																
		・	・																
・ A S－T 2	※露出単層防水用 R 種 ・	※4.0以上 ・																	
		・									・								
		・									・								
・ A S－T 3	下層用 ・ 上層用 ・	※非露出複層防水用 R 種									※1.5以上 ・								
		※露出複層防水用 R 種									※3.0以上 ・								
		・									・								
・ A S－T 4	下層用 ・ 上層用 ・	※露出単層防水用 R 種									※4.0以上 ・								
		・									・								
・ A S－J 1	下層用 ・ 上層用 ・	※非露出複層防水用 R 種									※1.5以上 ・								
		※露出複層防水用 R 種		※2.0以上 ・															
		・		・															
・ A S I－T 1	下層用 ・ 上層用 ・	※非露出複層防水用 R 種		※1.5以上 ・	種類 ・ 厚さ ・25mm ・50mm ・	・設ける ・設けない													
		※露出複層防水用 R 種	※3.0以上 ・																
		・	・																
・ A S I－J 1	下層用 ・ 上層用 ・	※非露出複層防水用 R 種	※1.5以上 ・																
		※露出複層防水用 R 種	※2.0以上 ・																
		・	・																

特記仕様書 (建築工事編) (5)		令和4年度版	
工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築		工事 設計図	
<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div> 株式会社 プラス1設計室	高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第 196860 号 永富 達也		A-05 No.

○とい	といの材種 ・配管用鋼管 ・表面処理鋼板 (13.5.2、3)(表13.5.1、4) ・硬質ポリ塩化ビニル管 (※RF-VP G ・VP) ○が ^ル ハ ^ニ ウム鋼板 鋼管製といの防露巻き ※行う (工法 ※標準仕様書表13.5.4 による ・) ルーフドレン <table><tr><td>種 別</td><td>材 種</td><td>施工箇所</td></tr><tr><td>・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー用</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・バルコニー中継用</td><td></td><td></td></tr></table>	種 別	材 種	施工箇所	・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)			・バルコニー用			・バルコニー中継用			○スレート葺き	(14.2.1)(表14.2.1) <table><tr><td>種 別</td><td>色 合 い</td><td>施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)</td></tr><tr><td>・BB-1種</td><td>・標準色 ・特注色</td><td></td></tr><tr><td>・BB-2種</td><td>・標準色 ・特注色</td><td></td></tr></table> 陽極酸化被膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色 (14.2.2)(表14.2.2) <table><tr><td>表面処理方法</td><td>種 別</td><td>施工箇所 (手すり、タラップ以外)</td></tr><tr><td rowspan="3">・溶融亜鉛めっき</td><td>・A種</td><td></td></tr><tr><td>・B種</td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">・電気亜鉛めっき</td><td>・D種</td><td></td></tr><tr><td>・E種</td><td></td></tr><tr><td>・F種</td><td></td></tr></table>	種 別	色 合 い	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)	・BB-1種	・標準色 ・特注色		・BB-2種	・標準色 ・特注色		表面処理方法	種 別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)	・溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		・C種		・電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種	
		種 別	材 種	施工箇所																																					
		・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)																																							
		・バルコニー用																																							
		・バルコニー中継用																																							
		種 別	色 合 い	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)																																					
		・BB-1種	・標準色 ・特注色																																						
		・BB-2種	・標準色 ・特注色																																						
		表面処理方法	種 別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)																																					
		・溶融亜鉛めっき	・A種																																						
・B種																																									
・C種																																									
・電気亜鉛めっき	・D種																																								
	・E種																																								
	・F種																																								
④	・アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 ・鉄鋼の亜鉛めっき ・軽量鉄骨天井下地 ・軽量鉄骨壁下地 ・金属成形板張り	野縁等の種類 屋 外 ・19形 ※25形 屋 内 ※19形 ・25形 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 1章 適用区分による風圧力の (・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・ () 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ () 野縁の間隔 ・図示 ・ () ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強箇所 ※図示 ・ () ・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合 補強方法 ※図示 ・ () ・天井のふところが3mを超える場合 補強箇所 ※図示 ・ () ・天井のふところが3mを超える場合 補強方法 ※標準仕様書14.4.4(8)による ・図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・ () 補強方法 ※図示 ・ () スタッド、ランナの種類 ※標準仕様書表14.5.1 による ・図示 (14.5.3、4)(表14.5.1) スタッドの高さが 5m をを超える場合 ※図示 ・ () (14.6.2、3)(表14.2.1) <table><tr><td>種 別</td><td>製 法</td><td>形 状</td><td>寸法 (mm)</td><td>板厚 (mm)</td><td colspan="2">表面処理</td></tr><tr><td rowspan="3">・アルミニウム</td><td>・押出し</td><td>ス^ラッド^レル^ル形</td><td></td><td></td><td>・BB-1種</td><td rowspan="3">・標準色 ・特注色</td></tr><tr><td>・ロール</td><td></td><td></td><td></td><td>・BB-2種</td></tr><tr><td>・プレス</td><td>ハ^ニ形^ル形</td><td></td><td></td><td>・AC-1種</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・AC-2種</td><td></td></tr></table> 取付け用下地 ※標準仕様書14.4 による ・図示 伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示 ・) 屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 () 1章 適用区分による風圧力の (・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 種 類 ・250形 ・300形 ・350形 (14.7.2)(表14.7.1) 表面処理 種 別 () 種 色 合 い ・標準色 ・特注色	種 別	製 法	形 状	寸法 (mm)	板厚 (mm)	表面処理		・アルミニウム	・押出し	ス ^ラ ッド ^レ ル ^ル 形			・BB-1種	・標準色 ・特注色	・ロール				・BB-2種	・プレス	ハ ^ニ 形 ^ル 形			・AC-1種	・					・AC-2種									
			種 別	製 法	形 状	寸法 (mm)	板厚 (mm)	表面処理																																	
			・アルミニウム	・押出し	ス ^ラ ッド ^レ ル ^ル 形			・BB-1種	・標準色 ・特注色																																
				・ロール				・BB-2種																																	
				・プレス	ハ ^ニ 形 ^ル 形			・AC-1種																																	
			・					・AC-2種																																	
			⑦手すり及びタラップ	手すり ○ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※H L程度 ・No.2B 程度) (1 4 . 8 . 2) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっき () 種 ・) タラップ ・ステンレス製 SUS304 (表面処理 ※研磨なし ・) (1 4 . 8 . 3) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっきA種 ・)	○網戸等	・樹脂製建具	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																																		
								○木製建具	・木製建具	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																															
											○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																												
														・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																									
○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																																							
																	・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																						
																				○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																			
																							・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																
																										○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()													
																													・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()										
			○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																																				
						・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																																	
									○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																														
												・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																											
○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																																							
															・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																								
																		○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																					
																					・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																		
																								○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()															
																											・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()												
			○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																																				
						・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																																	
									○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																														
												・自動ドア開閉装置	・自動ドア開閉装置	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) ・断熱ドア・断熱サッシ G 断熱性の等級 () (建具符号：・建具表による ・) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない 表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ () 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ()																											
○鍵	・鍵	性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種別 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・) ○E種 (建具符号： ・建具表による ・) ・屋内の建具の性能等級 () ・枠の見込み寸法 ・ () ・建具表による ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号																																							

・重量シャッター	シャッターの種類	・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター	耐風圧強度（ ）pa 耐風圧強度（ ）pa	(16.11.2、3)	⑬ 塗装工事	①材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする ・次の箇所を除き防火材料とする（箇所：）	(18.1.3)								
	開閉方式の種類 ※電動式（手動併用） 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 電動式シャッターの障害物感知装置 屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置 管理用シャッターのシャッターケース	※建具表による ※建具表による ※建具表による ・設ける	・（ ） ・（ ） ・（ ） ・設けない	(18.2.2～7)		②素地ごしらえ										
	スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 めっきの付着量 ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1	・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ※Z12又はF12 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430J1L又はSUS443J1	・（ ） ・（ ） ・（ ） ・（ ）													
	開閉方式の種類 ※手動式 耐風圧強度 電動式シャッターの障害物感知装置 スラット 形状 ・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） ・JIS G 3322（塗装溶融55%Zn-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）	・電動式（手動併用） pa ※建具表による ・インターロッキング形 めっきの付着量（※Z06又はF06） めっきの付着量（※AZ90）	・（ ） ・（ ） ・（ ） ・（ ）	(16.12.2～4)		・錆止め塗料塗り										
	セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	開閉方式による区分 ※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイルフト形 ・バーチカル形	ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板		(16.13.2、3)	③塗装									
	風圧力による強さの区分 電動式シャッターの障害物感知装置	（・125 ・100 ・75 ・50） ※建具表による	・（ ）													
	・合わせガラス 特性による種類 強化ガラス 特性による種類 ・熱線吸収板ガラス 性能による種類 複層ガラス 断熱性による区分 日射取得性、日射遮へい性による区分 乾燥気体の種類 ・熱線反射ガラス 日射熱遮へい性 耐久性	（9.7）（16.14.2～4）（図16.14.1） ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類 ・1種 ・2種 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 ・G ・S ○空気 ○アルゴン ・1種 ・2種 ・3種 ・A種 ・B種														
	ガラスの留め材及び溝の大きさ															
	建具の種類 アルミニウム製 鋼製及び鋼製軽量 ステンレス製 樹脂製	ガラス留め材 ※シーリング材 ○ガスケット ※グレイジングチャンネル形 ・ ※シーリング材 ・ ※シーリング材 ・ ・シーリング材 ・ガスケット ※グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による ・図示 ・ ※6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・ ※6以上 ・				・床用防じん塗料塗り									
	・ガラスブロック積み															
・建築窓ガラス用フィルム	表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 グ17 乳白	目地幅(mm) 平積み 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能	(16.14.5)	⑭ 内装工事	①接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類 ・図示 ・（ ）	(19.2.2)				
	正方形	・125×125 ・160×160 ・200×200 ・320×320	80 ・95 ・95 95	・ ・ ・ ・	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※15以下 内側	※6m以下ごとに幅10～25 ・図示 ・	※無し ・有り		②ビニル床シート G						
	長方形	・250×125 ・320×160	80 95	・ ・		※6以上 ・										
	曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。															
	種類	記号	張り面		その他性能値等											
	※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム ・日射調整フィルム 品質 JIS A5759による	G1 SC	・内張り ・外張り ・内張り ・外張り		遮へい性能 ・A ・B ・C											
・重量シャッター	材質	仕上種別	塗布量	水性アクリル系樹脂塗料（※標準色） コーティング（ローラー刷毛塗り） 主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/㎡以上とする						⑮ 床工事	①フローリング張り G	フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート	(19.2.2)			
・重量シャッター	種類	施工箇所	色柄	寸法（mm）	特殊機能	厚さ(mm)						⑯ 床工事	①フローリング張り G	フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート	(19.2.2)	
	・FT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・										
	・KT		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・										
	・FOA		・無地 ・柄物	・500×500 ・	・帯電防止 ・防滑性	・										
	帯電防止 帯電防止性能評価値（JIS A 1455） 1.2 以上～ 3.2 未満 又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1x10 ⁷ ～1x10 ¹⁰ Ω程度															
・重量シャッター	特記仕様書（建築工事編）（8）		令和4年度版		工事名称		令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築		工事 設計図		A-08		⑰ 床工事	①フローリング張り G	フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート	(19.2.2)
・重量シャッター	株式会社		高知県四万十市古津賀 2939-8		TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247		事務所登録 第 1324 号		1級建築士 第 196860 号 永富 達也		A-08		⑱ 床工事	①フローリング張り G	フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート	(19.2.2)
・重量シャッター	株式会社		高知県四万十市古津賀 2939-8		TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247		事務所登録 第 1324 号		1級建築士 第 196860 号 永富 達也		A-08		⑲ 床工事	①フローリング張り G	フローリング、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染（揮発性有機化合物）対策 による。 接着工法の場合の不陸緩和材 ※合成樹脂発泡シート	(19.2.2)

22 舗装工事	・路床	<table><tr><th colspan="3">路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)</th></tr><tr><th>種別</th><th>材料</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・盛土</td><td>・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・凍上抑制層</td><td>※再生クラッシャーラン G　・クラッシャーラン　・切込み砂利 ・砂</td><td>※図示 ・</td></tr><tr><td>・フィルター層</td><td>・砂 ・</td><td>※図示 ・</td></tr></table> <p>凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験　・行う　・行わない</p> <p>・路床安定処理</p> <p>安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法</p> <p>路床安定化処理用添加材料</p> <p>種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種　・フライアッシュセメントB種</p> <p>・生石灰（　・特号　・1号　）　・消石灰（　・特号　・1号　）</p> <p>添加量　kg/m³　（目標C B R　※3以上　・　）</p> <p>・ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量　　・60g/m²以上　・（　　）</p> <p>厚さ(mm)　　・0.5～1.0　・（　　）</p> <p>引張強さ　　・98N/5cm (10kgf/5cm)以上　・（　　）</p> <p>透水係数　　・1.5×10⁻¹cm/sec以上　・（　　）</p> <p>路床土の支持力比（C B R）試験　　※行う　　・行わない</p> <p>路床の締固め度の試験　　※行う　　・行わない</p> <p>現場C B R試験　　※行う　　・行わない</p>	路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)			種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	※図示 ・	・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン　・切込み砂利 ・砂	※図示 ・	・フィルター層	・砂 ・	※図示 ・	・ブロック系舗装	<table><tr><th colspan="5">(22.8.2、3)</th></tr><tr><th>舗装</th><th>種類</th><th>寸法(mm)</th><th>厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・コンクリート 平板舗装</td><td>※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）</td><td>※300角 ・</td><td>※60 ・</td><td>目地材　※砂　・モルタル クッション材　※砂　・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し　・洗い出し ・たたき出し</td></tr><tr><td>・インターロッキング ブロック舗装</td><td>※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）</td><td></td><td>車道部　※80・ 歩道部　※60・</td><td>曲げ強度（N/mm²）車道部　※5.0　・ 歩道部　※3.0　・ 着色及び表面加工　※標準品　・</td></tr><tr><td>・鋪石舗装</td><td>※小鋪石（花崗岩） ・ 形状　・角石 ・板石　・割石</td><td></td><td></td><td>施工方法　※うろこ張り　・ クッション材　※砂　・空練りモルタル 基層及び厚さ・コンクリート版　※70mm ・アスファルト混合物　※50mm</td></tr></table> <p>コンクリート平板舗装の普通平板は、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、 透水平板は透水性コンクリート G とする。 インターロッキングブロック舗装の普通ブロックは、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、 透水性ブロックは透水性コンクリート G とする。 ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。 仕上り面の平坦性　※歩行に支障のある段差がないものとし、舗装材の段差は3mm以内とする。</p>	(22.8.2、3)					舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・コンクリート 平板舗装	※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60 ・	目地材　※砂　・モルタル クッション材　※砂　・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し　・洗い出し ・たたき出し	・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）		車道部　※80・ 歩道部　※60・	曲げ強度（N/mm ² ）車道部　※5.0　・ 歩道部　※3.0　・ 着色及び表面加工　※標準品　・	・鋪石舗装	※小鋪石（花崗岩） ・ 形状　・角石 ・板石　・割石			施工方法　※うろこ張り　・ クッション材　※砂　・空練りモルタル 基層及び厚さ・コンクリート版　※70mm ・アスファルト混合物　※50mm	・屋上緑化 G	植栽基盤及び材料 <div>(23.5.2～4)</div> <p>・屋上緑化システム</p> <p>土壌層の厚さ　・図示　・（　　）</p> <p>排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　　）　・板状成形品</p> <p>植込み用土　　※改良土　　・人工軽量土</p> <p>樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等　※図示　・（　　）</p> <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・（　　）</p> <p>工法</p> <p>1章　適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法</p> <p>支柱　・設置する（形式　・図示　・　）</p> <p>かん水装置　・設置する（種類、工事区分　・図示　・　）</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	※図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン　・切込み砂利 ・砂	※図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・フィルター層	・砂 ・	※図示 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	(22.8.2、3)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・コンクリート 平板舗装	※普通平板（N） ・透水平板（P） ・保水性平板（M）	※300角 ・	※60 ・	目地材　※砂　・モルタル クッション材　※砂　・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し　・洗い出し ・たたき出し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）		車道部　※80・ 歩道部　※60・	曲げ強度（N/mm ² ）車道部　※5.0　・ 歩道部　※3.0　・ 着色及び表面加工　※標準品　・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・鋪石舗装	※小鋪石（花崗岩） ・ 形状　・角石 ・板石　・割石			施工方法　※うろこ張り　・ クッション材　※砂　・空練りモルタル 基層及び厚さ・コンクリート版　※70mm ・アスファルト混合物　※50mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・路盤	<table><tr><th colspan="3">路盤の厚さ　※図示　・（　　） (22.3.2、3) (表22.3.1)</th></tr><tr><td>路盤材料</td><td>・クラッシャーラン　・粒度調整砕石　・再生粒度調整砕石 G ・再生クラッシャーラン G　・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G　・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G</td><td></td></tr></table>	路盤の厚さ　※図示　・（　　） (22.3.2、3) (表22.3.1)			路盤材料	・クラッシャーラン　・粒度調整砕石　・再生粒度調整砕石 G ・再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G		・砂利敷き																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
路盤の厚さ　※図示　・（　　） (22.3.2、3) (表22.3.1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
路盤材料	・クラッシャーラン　・粒度調整砕石　・再生粒度調整砕石 G ・再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G ・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・アスファルト舗装	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・（　　） (22.4.2～6) (表22.4.4)</p> <p>材料及び種類</p> <p>アスファルト　・再生アスファルト G（・60～80　・80～100）　・ストレートアスファルト骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材 G</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類</p> <table><tr><th>区分</th><th>種類</th></tr><tr><td>表層</td><td>※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)</td></tr></table> <p>アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない</p> <p>舗装の平坦性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・（　　）</p>	区分	種類	表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)	・路面標示用塗料	<table><tr><th colspan="6">JAS K 5665（路面標示用塗料）による</th></tr><tr><th>種類</th><th>施工</th><th>適用</th><th>色</th><th>幅(mm)</th><th>塗布厚さ(mm)</th></tr><tr><td>・1種 G</td><td>常温</td><td rowspan="2">液状</td><td rowspan="2">※白 ・</td><td rowspan="2">・150 ・100</td><td rowspan="2">※1.0 ・</td></tr><tr><td>・2種 G</td><td>加熱</td></tr><tr><td>※3種1号</td><td>熔融</td><td>粉体状</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G</p>	JAS K 5665（路面標示用塗料）による						種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	・1種 G	常温	液状	※白 ・	・150 ・100	※1.0 ・	・2種 G	加熱	※3種1号	熔融	粉体状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
JAS K 5665（路面標示用塗料）による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・1種 G	常温	液状	※白 ・	・150 ・100	※1.0 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・2種 G	加熱																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
※3種1号	熔融	粉体状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・コンクリート舗装	<p>コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2～4) (表22.5.1、3)</p> <table><tr><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td>車路及び駐車場</td><td>・(9-21-2)　・図示　・（　　）</td><td>・図示　・150　・（　　）</td></tr><tr><td>歩行者用通路</td><td>・(9-22-2)　・図示　・（　　）</td><td>・図示　・70　・（　　）</td></tr></table> <p>材料　普通コンクリート　・標準仕様書　表22.5.1による</p> <p>早強ポルトランドセメント　※使用しない　・使用する</p> <p>目地　種類、間隔、構造　※標準仕様書　表22.5.3及び図22.5.1による　・図示</p> <p>注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ</p> <p>舗装の平坦性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・（　　）</p>	部位	構成	厚さ(mm)	車路及び駐車場	・(9-21-2)　・図示　・（　　）	・図示　・150　・（　　）	歩行者用通路	・(9-22-2)　・図示　・（　　）	・図示　・70　・（　　）	23 植栽及び屋上緑化工事	・植栽地の確認等	<p>土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　・行う　・行わない (23.1.3)</p> <p>電気伝導度（EC）の試験　・行う　・行わない</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
部位	構成	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
車路及び駐車場	・(9-21-2)　・図示　・（　　）	・図示　・150　・（　　）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
歩行者用通路	・(9-22-2)　・図示　・（　　）	・図示　・70　・（　　）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・カラー舗装	<p>カラー舗装の構成及び厚さ (22.6.2～4)</p> <table><tr><th>舗装の種類</th><th>部位</th><th>構成</th><th>厚さ(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※加熱系</td><td>※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物</td><td>車路及び駐車場</td><td>・図示　・（　　） ・図示　・50</td></tr><tr><td></td><td>歩行者用通路</td><td>・図示　・（　　） ・図示　・30</td></tr><tr><td>※常温系</td><td>・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装</td><td>・ニート工法 ・塗布工法</td><td></td></tr></table> <p>加熱系混合物に添加する材料　・着色骨材　・自然石</p> <p>配合</p> <p>加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量　（　　）</p> <p>ニート工法及び塗布工法の配合等　（　　）</p> <p>舗装の平坦性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度　・（　　）</p> <p>加熱系アスファルト混合物の抽出試験　・行う　・行わない</p>	舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)	※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示　・（　　） ・図示　・50		歩行者用通路	・図示　・（　　） ・図示　・30	※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装	・ニート工法 ・塗布工法		・植込み用土	・植栽基盤の整備	<p>（23.2.2、4）</p> <table><tr><th>植栽</th><th>工法</th><th>有効土層の厚さ(cm)</th><th>整備範囲</th><th>土壌改良材</th></tr><tr><td>・樹木</td><td>※A種 ・B種 ・C種 ・D種</td><td>樹高12m以上（※100・120・150） 樹高7m以上12m未満（※80・100） 樹高3m以上7m未満（※60・80） 樹高3m未満（※50・60）</td><td>・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示</td><td>・適用する</td></tr><tr><td>※芝、地被類</td><td>※B種 ・</td><td>※20 ・</td><td>・植栽部分 ・図示</td><td>・適用する</td></tr></table> <p>植栽基盤の排水設備　・設ける（※図示　・　）　・設けない</p> <p>※現場発生土の良質土　　・客土 (23.2.3)</p> <p>種別及び指定量等 (23.2.3)</p> <p>・パーク堆肥 G</p> <p>施工箇所　※植栽範囲　・図示</p> <p>使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・50L　・　）</p> <p>・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト） G</p> <p>施工箇所　※植栽範囲　・図示</p> <p>使用量　植栽基盤面積1㎡あたり（・10L　・　）</p> <p>材料</p> <p>「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする</p>	植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上（※100・120・150） 樹高7m以上12m未満（※80・100） 樹高3m以上7m未満（※60・80） 樹高3m未満（※50・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する	※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場	・図示　・（　　） ・図示　・50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		歩行者用通路	・図示　・（　　） ・図示　・30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装	・ニート工法 ・塗布工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上（※100・120・150） 樹高7m以上12m未満（※80・100） 樹高3m以上7m未満（※60・80） 樹高3m未満（※50・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示	・適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・透水性アスファルト舗装	<p>透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ　・図示　・（　　） (22.7.2、3、6)</p> <p>材料</p> <p>骨材　・道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材 G</p> <p>試験</p> <p>開粒度アスファルト混合物の抽出試験　・行う　・行わない</p> <p>舗装の平坦性　※著しい不陸がないもの　・（　　）</p>	・樹木	・支柱	・幹巻き用材料	・芝	・吹付けは種	・地被類	・新植樹木、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置	<p>新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間　(23.3.4、6) (23.4.7) (23.5.5)</p> <p>※引渡しの日から1年　・無し　・（　　）</p> <p>移植樹木の枯損処置を行う期間　※引渡しの日から1年　・無し　・（　　）</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

1. 工事名称

工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築工事	建築主
地名地番	高知県四万十市西土佐用井 地内	住所氏名 四万十市
主要用途	住宅	四万十市長 山下 元一郎
工事種別	新築 増築 別棟増築 改築 改修 大規模の修繕 室内装飾	〒 787- TEL 0880-34-0000
	用途変更 大規模の模様替 仮設建築 解体 移設 移転	工 期 着工 竣工

2. 敷地状況

敷地面積	㎡ (坪)	建ぺい率 基準建ぺい率 %
用途地域	指定なし	容積率 基準容積率 %
防火地域	指定なし	
その他の 地区・地域	都市計画区域内 都市計画区域外 市街化区域 市街化調整区域	日影制限 平均地盤面からの高さ m
	美観地区 災害危険地区 緑地地区	敷地境界線より mを越え m以内の範囲
	土地区画整理事業地区 宅地造成工事規制区域	時間内
	国立公園 国定公園 公園 河川敷 その他	敷地境界線より mを越える範囲 時間内

3. 構造・規模

構 造	木造	階 数	1 階
構造形式	在来軸組工法	最高高さ	5.00 m
基 礎	地盤支持 〇ベタ ・布 ・独立 ・その他	最高軒高	3.45 m
	・地盤改良 ・地盤改良(柱状改良)	その他	
増築予定	〇無し ・有り		

4. 面 積

	申請部分	合 計
建築面積	86.47 ㎡	86.47 ㎡
1階 床面積	80.15 ㎡	80.15 ㎡ 24.24 坪
延床面積	80.15 ㎡	80.15 ㎡ 24.24 坪

5. 外 構

舗装工事	
側溝工事	
フェンス工事	

6. 外部仕上表

屋 根	SGL遮熱ちぢみ塗装鋼板t=0.35 段葺 断熱材裏打ち品				
	ゴムアスルーフing 野地板 構造用合板 t=15				
	※屋根下天井には高性能GW20K t=155敷込 防湿シート下地				
外 壁		腰 部	上 部	その他	
	東	窯素系サイディングボード t=16（塗装品）横張り 同質コーナ			高性能GW t=105 24K
		透湿防水シート			
		通気工法			
	西	窯素系サイディングボード t=16（塗装品）横張り 同質コーナ			高性能GW t=105 24K
		透湿防水シート			
		通気工法			
	南	窯素系サイディングボード t=16（塗装品）横張り 同質コーナ			高性能GW t=105 24K
		透湿防水シート			
		通気工法			
	北	窯素系サイディングボード t=16（塗装品）横張り 同質コーナ			高性能GW t=105 24K
		透湿防水シート			
		通気工法			
ポーチ	床：150角フロアタイル、段バタタイル 天井：ケイカル板 900*900底目地 t=6.0 AEP SUSフスリ(2段)				
	柱型：窯素系サイディングボード t=16（塗装品） コーナ役物四隅 透湿防水シート				
	目隠しアルミ格子：アルミ格子 外付タイプ(木目調) 30×55 @71 アルミ受材共（参考 リアル フロアコートフェンス1型同等）				
軒 裏	ケイカル板 t=6.0 AEP				
	軒天換気材 GLカラー鋼板t=0.35（既製品）				
破風・鼻隠し	防火破風板 H=240 EPG				
庇	GLカラー鋼板t=0.4 アスファルトルーフing 940 野地板：構造用合板t=12下地				
雨 樋	軒 樋	塩ビカラー 角120 SUS吊金具			
	縦 樋	塩ビカラー Φ75 SUS掴み金物			
犬走り	コンクリート 直押E 目地切				
建 具	住宅用アルミサッシ				
その他	既存 合併処理浄化槽へ接続				
	床下（外気に接する部分）にはEPS（ビーズ法）リフォーム断熱材 t=90 を敷き込む。				

7. 内 部 仕 上 表

階	室 名	床	幅 木	壁		天 井	廻縁	CH=		24H 換気	カーテン レール	備 考
				腰 壁	上 部 壁							
1	玄 関	150角フローア－ノンスリップタイル	同 左	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2420				造り付下足入
	ホール・廊下	桧フローリング t=15 塗装品	化粧巾木	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2300				
		構造用合板t=28下地										
	キッチン	桧フローリング t=15 塗装品	化粧巾木	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2400				システムキッチン L=2500 IHコンロ カウンター
		構造用合板t=28下地		1部 PB t=12.5下地 キッチンパネル t=3.0								
	L D	桧フローリング t=15 塗装品	化粧巾木	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2450			SUS W	
		構造用合板t=28下地		1部 PB t=12.5及びt=9.5下地 キッチンパネル t=3.0								
	和室6帖	スタイタミ敷	タタミ寄せ	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2400			SUS W	
		構造用合板t=28下地		洋室界壁：PB t=12.5+9.5下地 ビニールクロス								
	洋 室	桧フローリング t=15 塗装品	化粧巾木	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2400			SUS W	
		構造用合板t=28下地		和室界壁：PB t=12.5+9.5下地 ビニールクロス								
	物干室	ビニル床シート t=2.5	ソフト幅木	防水PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2300			SUS S	吊下型 調整式 物干金物 W=820 SUS竿 L=1500 ビニルカーテン
		構造用合板t=28 + 耐水(ラ)合板 t=12下地		1部 防水PB t=12.5下地 サニタリーパネル t=3.0								
	洗面・脱衣室	ビニル床シート t=2.5	ソフト幅木	防水PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2300				洗面化粧台、造り付棚、床下点検口450□ 洗濯バ [*] ン（機械設備工事）
		構造用合板t=28 + 耐水(ラ)合板 t=12下地		1部 防水PB t=12.5下地 サニタリーパネル t=3.0								
	浴 室	間口1650×奥行1618 片引戸：樹脂ガラス	浴槽：FRP	シャワーボックスライトハ [*] ッチ：手摺りタイプ		浴室暖房乾燥機	収納棚：スチエタイプ [*] 3段	風呂フ				ユニットバス （ぴったりサイズグランスバ同等品以上）
	W C	ビニル床シート t=2.5	ソフト幅木	PB t=12.5下地 ビニールクロス			塩ビ [*] 製	2300				洋風便器、手洗器、L型テスリ（機械設備工事） 上部棚
		構造用合板t=28 + 耐水(ラ)合板 t=12下地										
	クローゼット	707-合板t=15	雑巾摺	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2300				SUSハンガー [*] パイ [*] φ32 中1段 枕棚
		構造用合板t=28下地										
	押 入	707-合板t=15	雑巾摺	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2300				中1段 床下点検口 枕棚
		構造用合板t=28下地										
	収 納 1. 2 (タナ)	707-合板t=15	雑巾摺	PB t=12.5下地 ビニールクロス		PB t=9.5下地 ビニールクロス	塩ビ [*] 製	2300				可動棚 床下点検口（収納2） 枕棚
		構造用合板t=28下地										

材 料			塗 料			認定番号				特記		
W	木	CB コンクリートブロック	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタンクリヤ	無機質壁紙（１級）	PB t=12.5下地	： 準 不 燃 QM-9403	ロックウール化粧吸音板 t=9.0	： 不 燃 NM-8599	1) 木材は四万十市産材を使用すること。
S	鋼	PB 石膏ボード（GB-R）	OP	調合ペイント	UE	ウレタンエナメル	石膏ボード	t=12.5	： 不 燃 NM-8619	シーリング石膏ボード t=9.5	： 準 不 燃 QM-9826	
SUS	ステンレス	防水PB シーリング石膏ボード（GB-S）	VEP	ビニル系エマルジョンペイント	OS	オイルステイン		t=9.5	： 準 不 燃 QM-9828	（防水ボード） t=12.5	： 不 燃 NM-9639	
AL	アルミ		AEP	アクリル系エマルジョンペイント	CL	クリヤラッカー	化粧石膏ボード	t=9.5	： 不 燃 NM-0879	キッチンパネル t=3.0	： 不 燃 NM-9447	
LGS	軽量鉄骨	GW グラスウール	EPG	艶有り合成樹脂エマルジョンペイント	OC	オスモカラー	珪酸カルシウム板	t=6.0	： 法 定 不 燃 材 料			

設計年月日	特記	※ 室内・天井裏に使用する仕上材・塗料・合板類・接着剤等	<div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>
-------	----	------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

仕様表

単位：特記なき限り（mm）

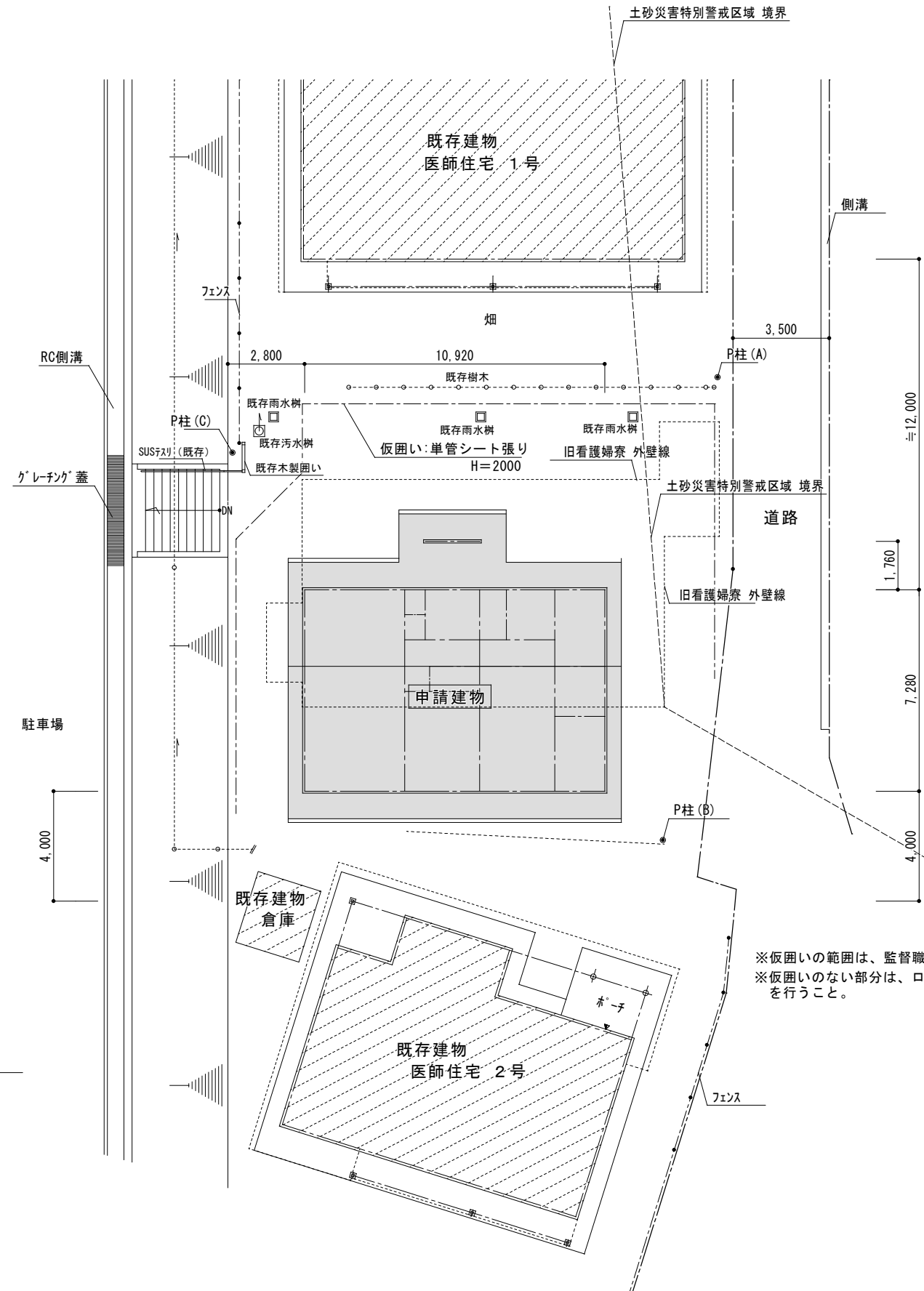
住宅の名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築工事 （高知県四万十市西土佐用井）
-------	--------------------------------------------

仕様が複数ある場合、必要最小限の仕様のもの、又は仕様の範囲を以下に記載

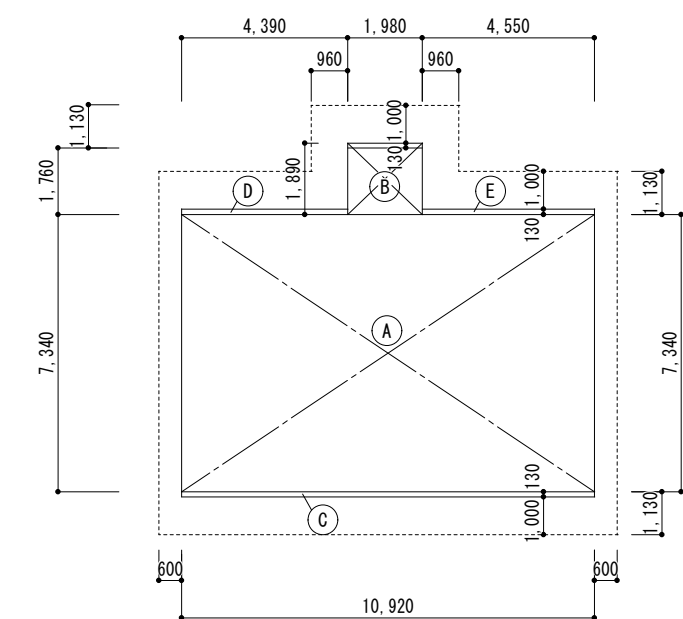
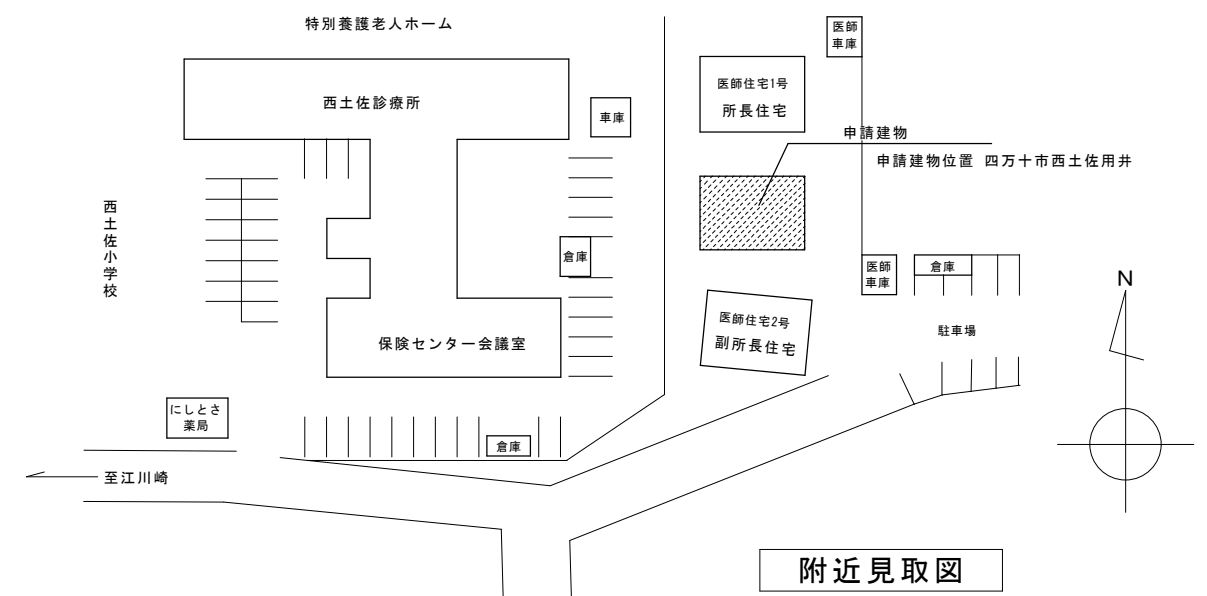
項目	小項目	仕様		備考	
建築材料 (法第37条)	基礎コンクリート	JIS	設計基準強度 f_c : 21N/mm ² 以上 スランプ : 15cm以下		
	基礎鉄筋	JIS	SD295A		
令第2章第2節 (居室の天井の高さ、 床の高さ及び防湿方法)	居室の床の高さ及び 防湿方法 (令第22条)	床の高さ	600 (設計GLから)		
		防湿方法	基礎パッキン (有効換気面積75cm ² /m以上)		
令第3章第2節 (構造部材等)	構造部材の耐久 (令第37条)	構造耐力上主要な部分	腐食、腐朽、摩損のおそれのあるものに腐食等防止の措置		
	基礎 (令第38条) (建告第1347号)	支持地盤の種別及び位置	砂質地盤 (GL-0.5m)		
		基礎の種類	べた基礎		
		基礎の底部の位置	地盤面からの深さ : GL-90、根入れ : GL-300		
		基礎の底部に作用する荷重の数値・算出 方法	地盤の許容応力度 30 k N/㎡		
		木ぐい及び常水面の位置	対象外 (木ぐい無し)		
		鉄筋	主筋 : D13、立上り・底盤・開口補強筋 : D10	フック有	
	地盤調査 (令第38条)	地盤調査	SWS試験	SWS試験結果に基づく地盤調査報告書	
		地盤改良	該当なし		
	屋根ふき材等 (令第39条) (建告第109号)	屋根ふき材の固定方法	SUS、鉄製くぎまたは、鉄製木ビス (L=50mm以上)		
		屋外に面する部分のタイル等の緊結方法	該当なし		
		太陽光システム等を設置した際の防錆 処理	該当なし		
	令第3章第3節 (木構造)	木材 (令第41条)	木材の規格 (JAS) または等級	横架材、柱材、筋かい等、その他 : 無等級材 耐力上の欠点のないこと	
		土台及び基礎 (令第42条)	柱脚の固定方法	土台120×120 (ヒノキ、無等級材) を設ける	
土台の固定方法			アンカーボルト (M12) 十座金 (厚) 4.5×40角により緊結、柱から200以内に 設置 (設置間隔 : 2700以内)	Zマーク表示金物又は同等認定品	
柱の小径 (令第43条)		横架材間距離	1階 小径105、横架材相互間の垂直距離の最大: 2893 柱の小径と横架材間内法寸法の比率 : 1/27.6		
		柱断面の欠き取り (1/3以上) の有無	1/3以上欠き取る場合は適切に補強		
		2階建てのすみ柱	該当なし		
		有効細長比 (最大値)	1階 座屈長さ : 2893、断面最小二次率半径 : 30.31 柱の有効細長比=95.4<150	座屈長さ＝横架材相互間内法	
はり等の横架材 (令第44条)		中央部付近の下側に耐力上支障のある 欠き込み	欠き込み : 無し		
筋かい (令第45条)		筋かいの断面	45×105		
		筋かいの欠き込み	原則欠き込み無し (必要な場合) たすき部補強 : 両面から短冊金物 (S) 当て六角ボルト (M12) 締め、スクリューくぎ (ZS50) 打ち	Zマーク表示金物又は同等認定品	
構造耐力上必要な軸 組 (令第46条)		第1項	主要な梁せい : スギ (105×120～300)		
		第3項 床組・小屋ばり組の火打、構造用 合板等、振れ止め	床組 : 構造用合板 (厚) 28 小屋ばり組 : 鋼製火打ち、振れ止め : 設置		
		第4項 壁量基準 (耐震・耐風)	筋かい (45×105シングル、ダブル)、配置は壁量平面図による		
継手・仕口 (令第47条)		筋かい端部	緊結方法 : 筋かいプレート (BP2等)	Zマーク表示金物又は同等認定品	
		耐力壁両側柱頭・柱脚	N値計算による	N値計算書	
		その他の柱頭・柱脚	かど金物 (CP-L) 等	Zマーク表示金物又は同等認定品	
	小屋組の接合方法	耐風性向上のための接合部仕様 たるき-軒桁接合 : ひねり金物ST-15 たるき-もや接合 : 鉄丸くぎ2-N75 2本斜め打ち 小屋束-小屋ばり・小屋束-もや接合 : かすがいC120両面打ち	平12建告第1460号 基準風速 : 36m/s、 樹種 : J3 (スギ) Zマーク表示金物又は同等認定品		

項目	小項目	仕様		備考
令第3章第3節 (木構造)	防腐措置等 (令第49条)	鉄網モルタル下地等の防水措置	該当なし	
		構造耐力上主要な部分の柱、筋かい、土台	地面から1mの範囲で防腐・防蟻処理	
令第3章第4節の2 (補強コンクリートブロック造)	塼 (令第62条の8)	構造方法	該当なし	
		材料の種別	該当なし	
		壁の厚さ	該当なし	
		補強筋	該当なし	
		補強筋端部	該当なし	
防火構造 延焼のおそれのある部分	屋根（法第22条）	仕上	該当なし	
		野地板	該当なし	
		防水紙	該当なし	
	外壁（法第23条）	仕上	該当なし	
	軒裏（令第108条）	仕上	該当なし	
居室の内装	内装材 (令第20条の7)	内装材（フロー合板、ビニル床シート、集成材、ビニルタタミ、石膏ボード、キッチン床、サニタリー床、ソフト幅木、内装・収納ドア、洗面化粧台、キッチンセット、接着剤）	全てF☆☆☆☆	全ての居室
居室の換気	換気設備 (令第20条の8)	機械換気設備の構造	換気計算書による	内装ドアにはアンダーカットH=10、または換気ガラリ設置
		天井裏等（合板、構造用合板、収納内部、石こうボード）	全てF☆☆☆☆	全ての天井裏等
給排水衛生設備	建築設備の構造強度 (令第129条の2の3)	昇降機以外の建築設備の構造方法	該当なし	
	給水、排水その他の配管設備 (令第129条の2の4)	給水・給湯管材料	引込：ステンレス管 敷地内：耐衝撃硬質塩化ビニル管 住戸内：架橋ポリエチレン管	
		配水管材料	排水樹：コンクリート製樹、硬質塩化ビニル製樹 排水管：硬質塩化ビニル製排水管 地中埋設管：防食テープにて処理 排水勾配：1/100以上 管径は、上下水道局の基準による	
		水栓	吐水口空間を有効に確保する	
特定行政庁が条例、規則で定める規定	法第40条	がけの安全性	－	
	法第41条		－	

設計年月日		 株式会社 プラス1設計室	高知県四万十市古津賀 2939-8	 THINKING KONG	SCALE	工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図	A -14 No. ***
			TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247			図面名称	仕様表	
			事務所登録 第 1324 号					
			1級建築士 第196860号 永富 達也					



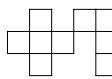
配置図 S=1:200



建物面積計算 S=1:200


記号	計 算 式	計 (㎡)
Ⓐ	10.92 × 7.34	80.1528
Ⓑ	1.98 × 1.90	3.7422
Ⓒ	10.92 × 0.13	1.4196
Ⓓ	4.39 × 0.13	0.5707
Ⓔ	4.55 × 0.13	0.5915
建 築 面 積		Ⓐ + Ⓑ + Ⓒ + Ⓓ + Ⓔ
1 階床面積		Ⓐ
延 床 面 積		80.15 ㎡

設計年月日	



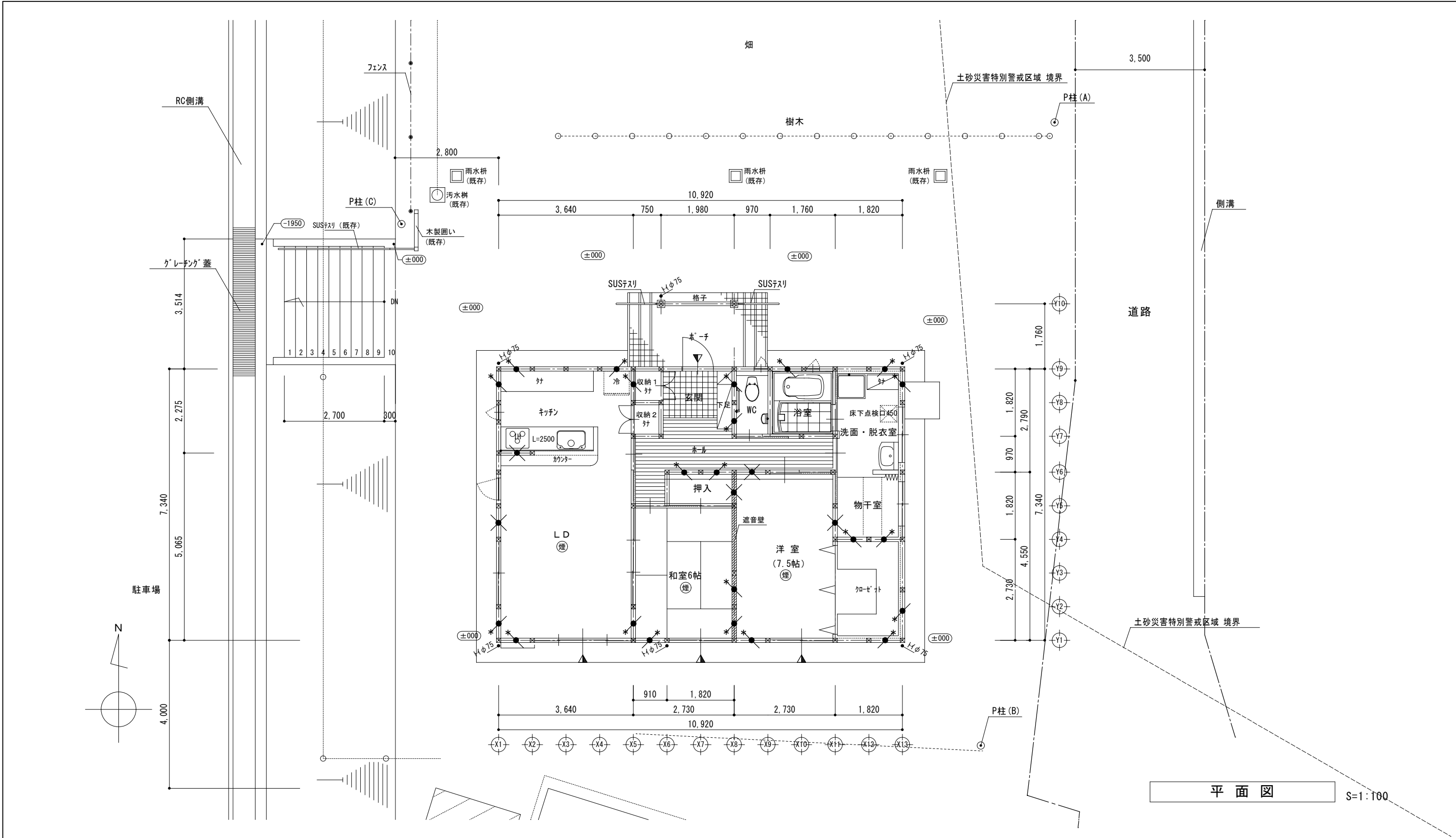
株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1 級建築士 第196860号 永富 達也

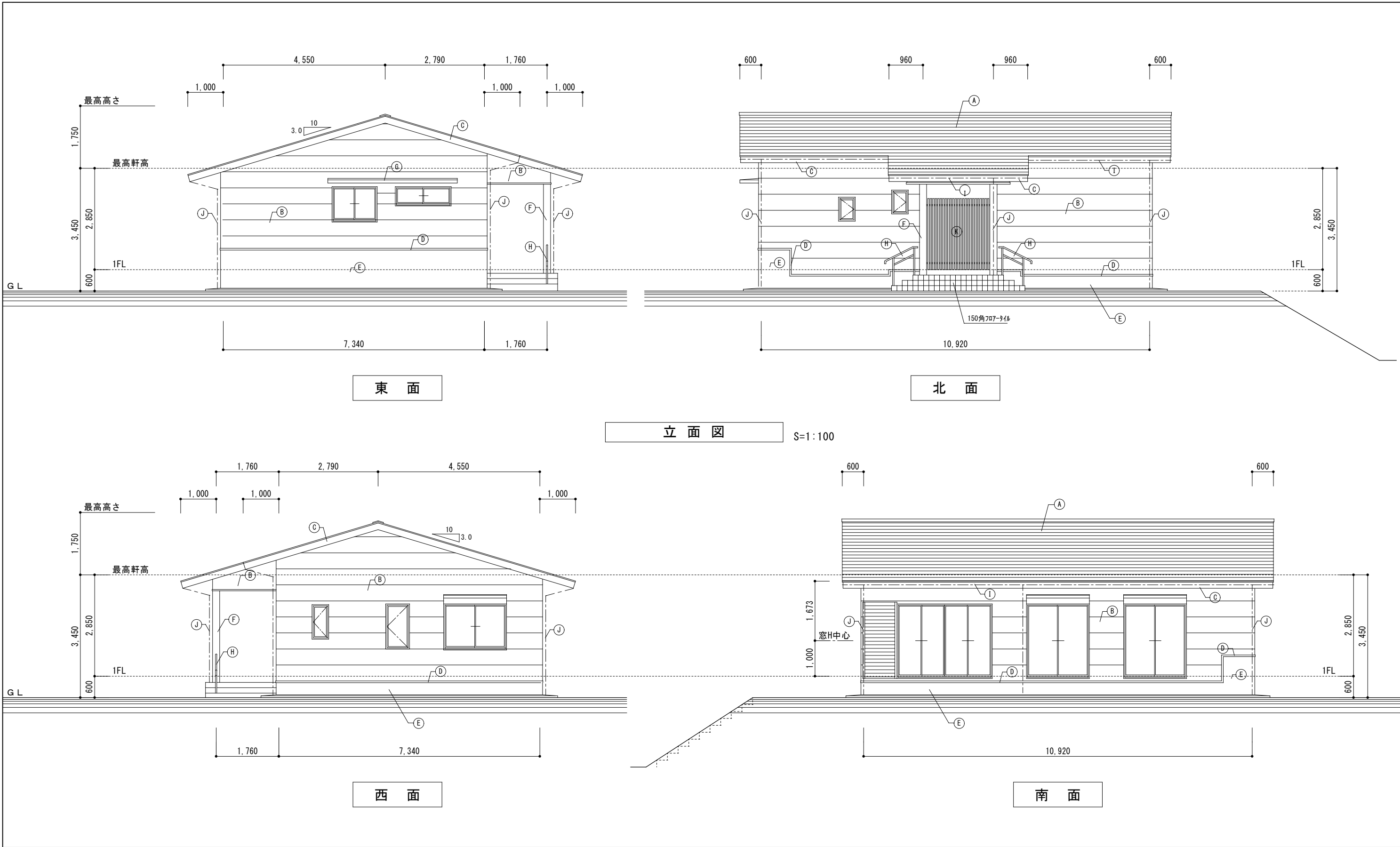



THINKING KONG

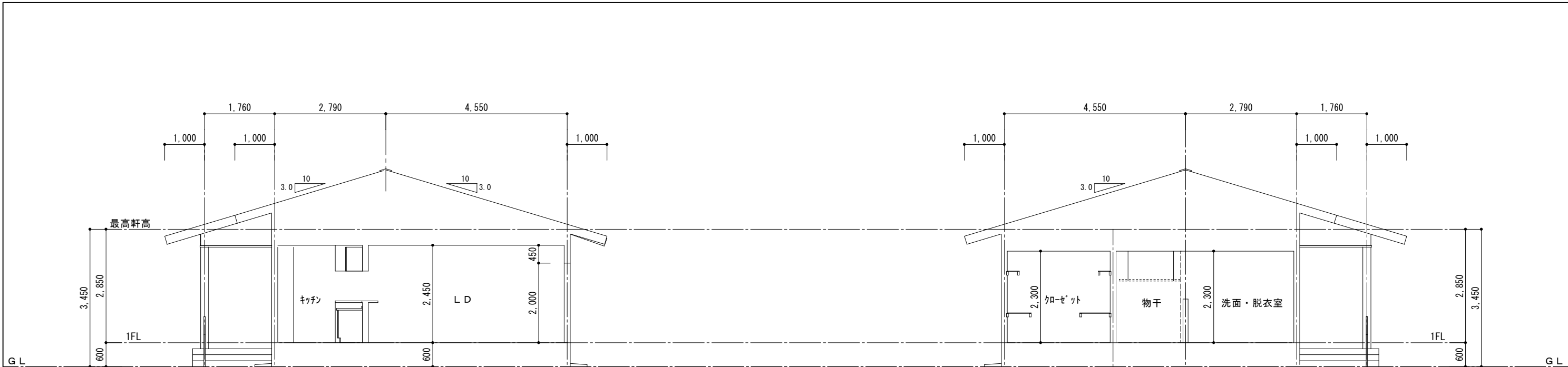
SCALE S=1:200	工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図	A-15 No. **
	図面名称 配置図 附近見取図 建物面積計算	



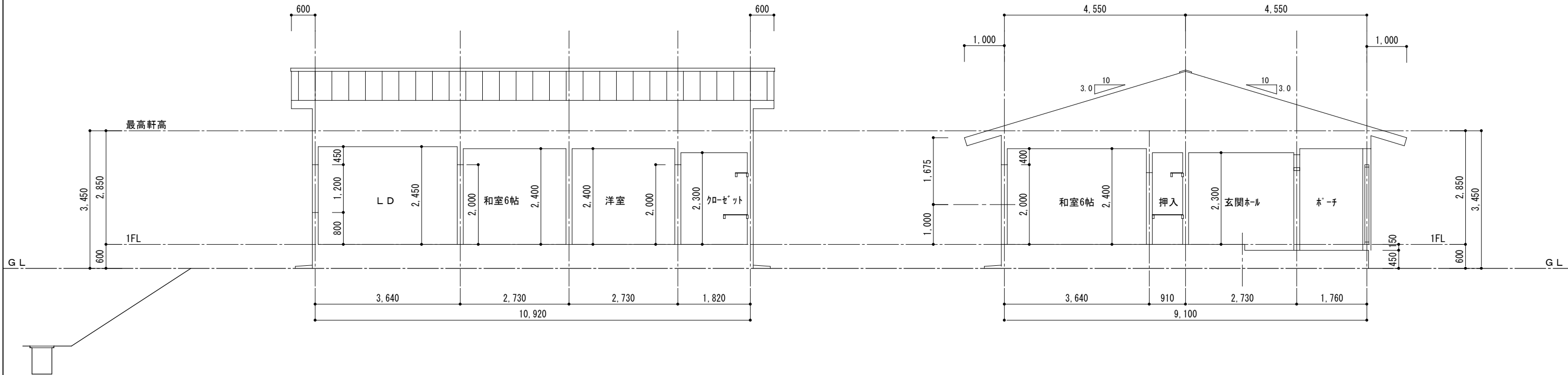
凡 例									
	管 柱	桧 105 x 105		出入口、掃出し窓					
	筋違い	桧 45x105 (BP-2取付) *印の付いた方が上側とする		住宅用防災機器 (煙式感知器) (電気設備工事)					

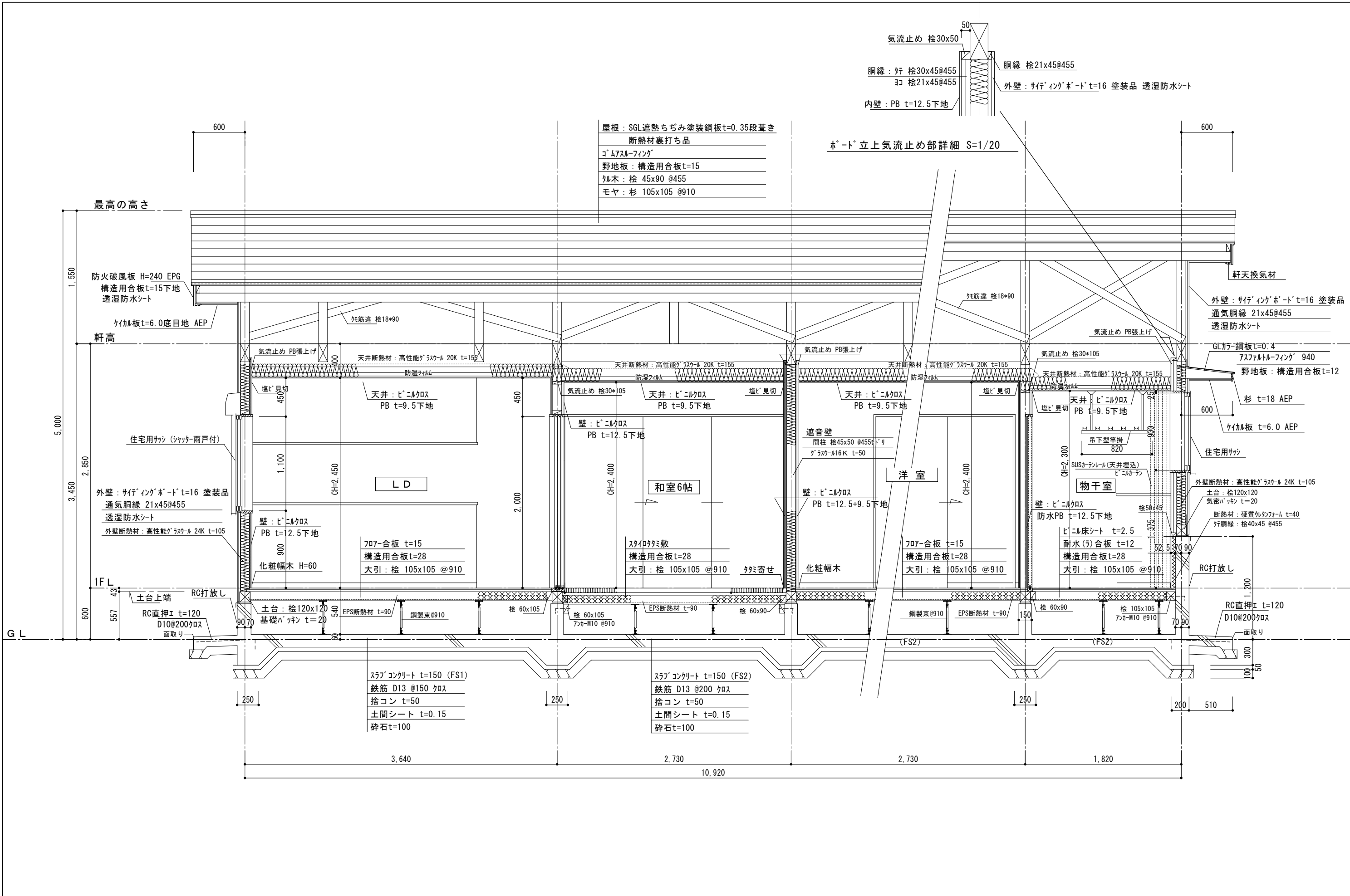


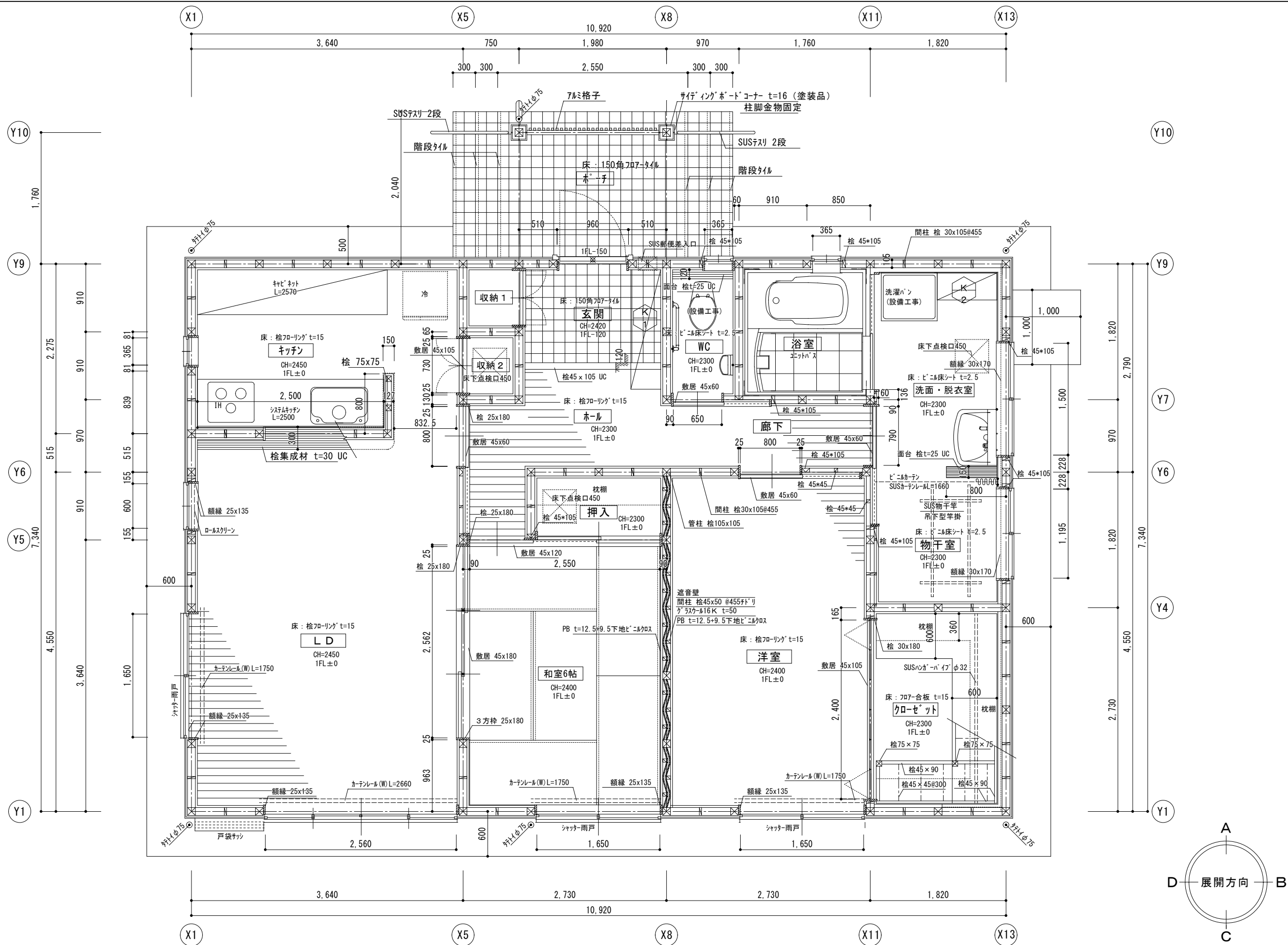
記号			記号		記号		記号				
Ⓐ	屋 根	SGL遮熱ちぢみ塗装鋼板t=0.35 段葺 断熱材裏打ち品	Ⓒ	破風・ケラハ	防火破風板 H=240	Ⓔ	庇	GLカラー鋼板t=0.4 アスファルトルーフィング 940 構造用合板t=12下地	Ⓚ	目隠し格子	アルミ 外付タイプ（木目調）30×55 H=2000
		ゴムアスルトーフィング 野地板 構造用合板 t=15	Ⓓ	土台水切	GLカラー鋼板 t=0.4	Ⓕ	手 摺	SUSスリ 2段			
Ⓑ	外 壁	窯素系サイディングボード t=16（塗装品）横張り	Ⓔ	幅 木	RC打放シ	Ⓖ	軒 樋	塩ビカラー角120 吊金具			
		透湿防水シート 同質コーナ	Ⓕ	柱 型	窯素系サイディングボード t=16（塗装品）横張り コーナ	Ⓖ	豎 樋	塩ビカラー φ75 SUS金具			
設計年月日		<div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>株式会社 プラス1設計室</div></div> <div>高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第196860号 永富 達也</div> <div>THINKING KONG</div>			SCALE S=1:100		工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図		A-17 No. **		
					図面名称 立 面 図						



断面図 S=1:100



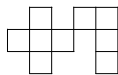




平面詳細図

S=1:50

設計年月日	



株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1 級建築士 第196860号 永富 達也

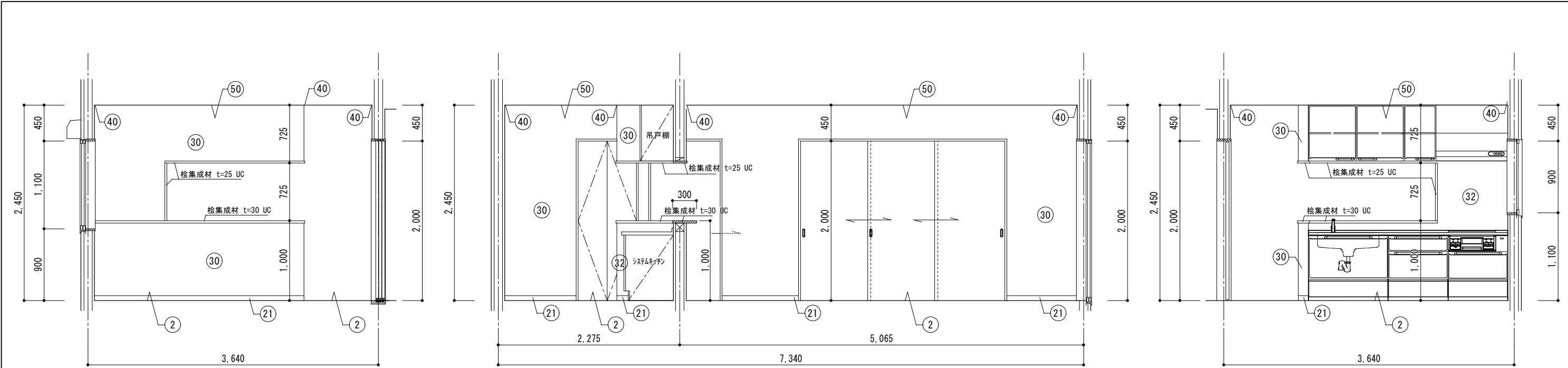


THINKING KONG

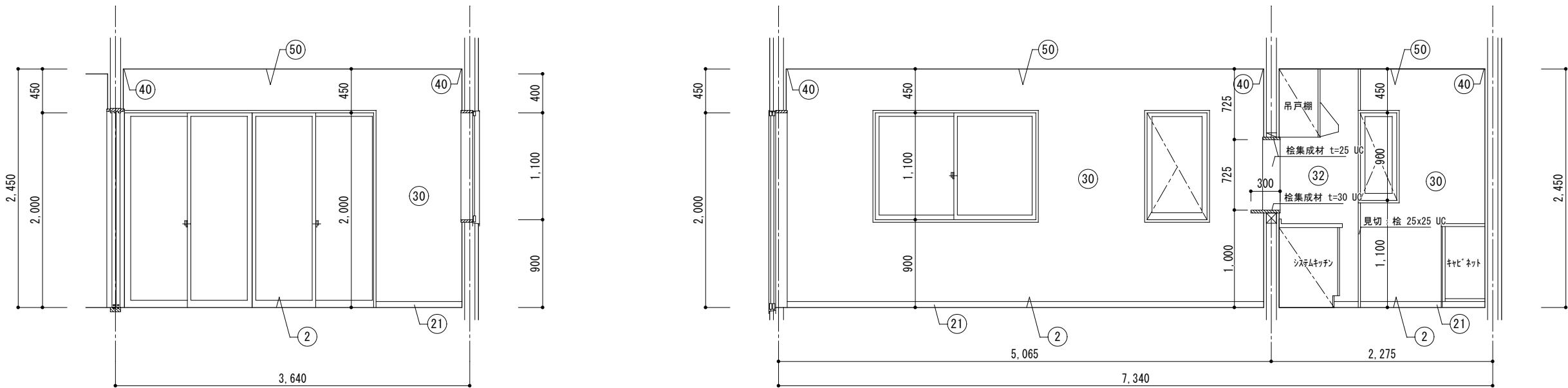
SCALE
S=1:50

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称
平面詳細図

A-22
No. **

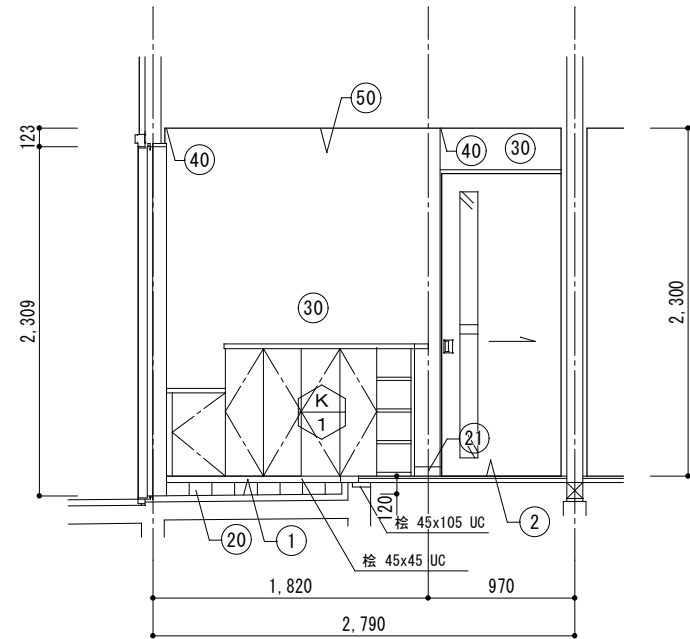
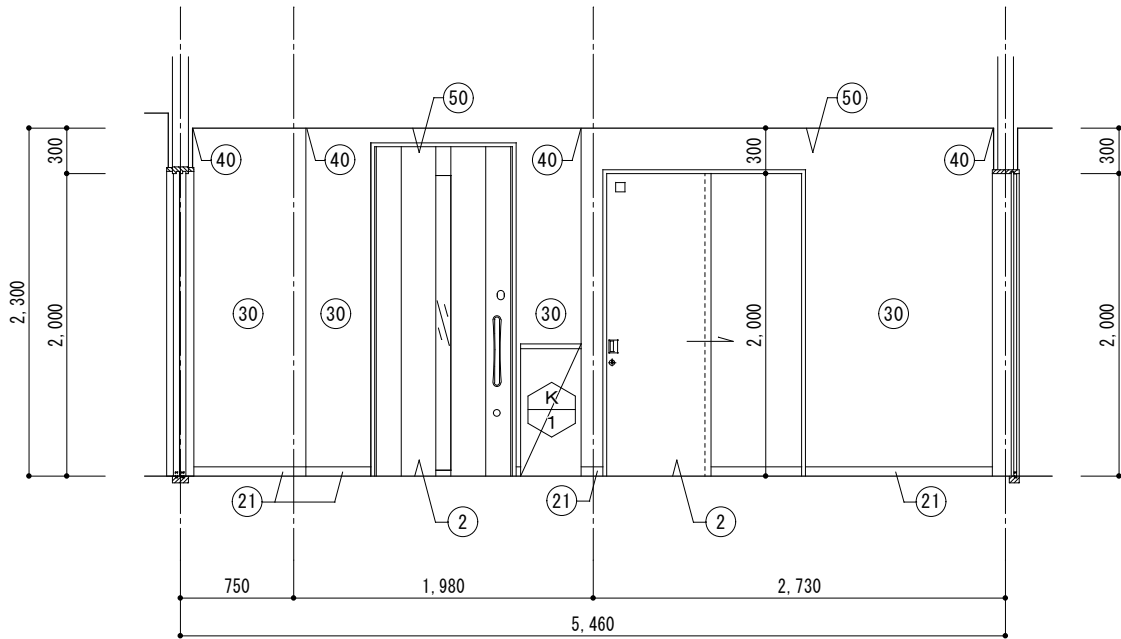


L D ・ キッチン	A	キッチン	B	L D	C	キッチン	S=1:50
------------	---	------	---	-----	---	------	--------



L D ・ キッチン	C	L D	L D	D	キッチン	S=1:50
------------	---	-----	-----	---	------	--------

0. 床			20. 幅 木			30. 壁			40. 廻り縁			50. 天 井			その他	
①	150角フロア・ノンスリップ タイル		②0	150角フロア・ノンスリップ タイル		③0	PBt=12.5下地 ビニールクロス	③5	防水PBt=12.5下地 サニタリーペネル t=3.0		④0	塩ビ製	⑤0	PB t=9.5下地 ビニールクロス	①A	
②	構造用合板 t=28下地 桧フローリング t=15(塗装品)		②1	化粧幅木 H=60		③1						⑤1				
③	構造用合板 t=28下地 スライダミ		②2	タミ寄せ		③2	PBt=12.5下地 キッチンパネル					⑤2				
④	構造用合板 t=28+耐水(ラ)合板 t=12下地 ビニールシート t=2.5		②3	ソフト幅木		③3	PBt=12.5+9.5下地 ビニールクロス					⑤3				
⑤	構造用合板 t=28下地 フロア合板 t=15		②4	雑巾摺		③4	防水PBt=12.5下地 ビニールクロス					⑤4				

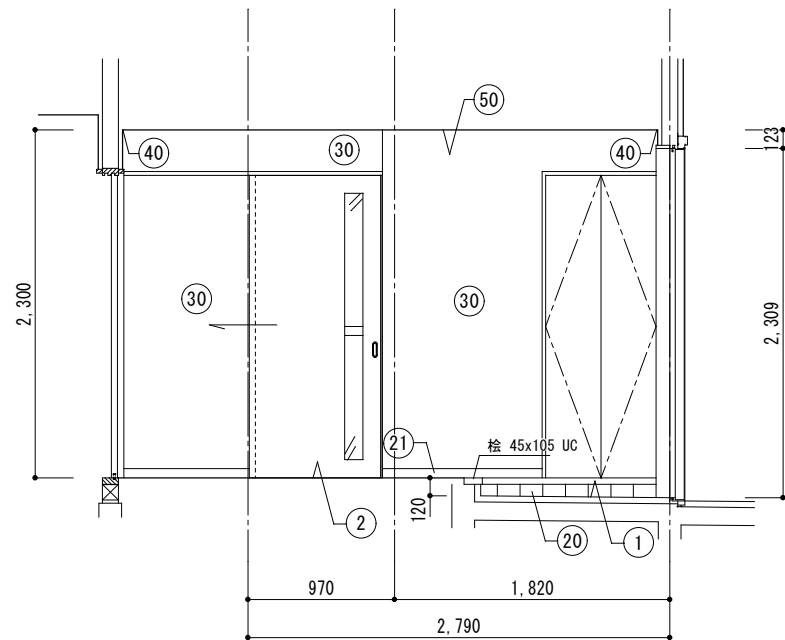
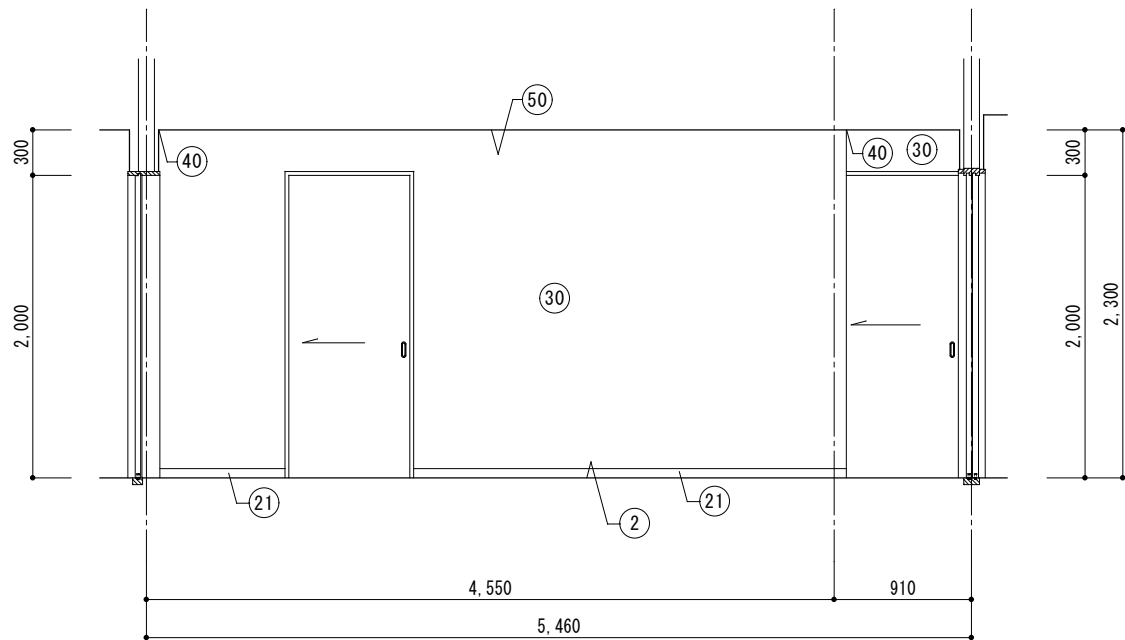


玄関・ホール・廊下

A

B

S=1:50



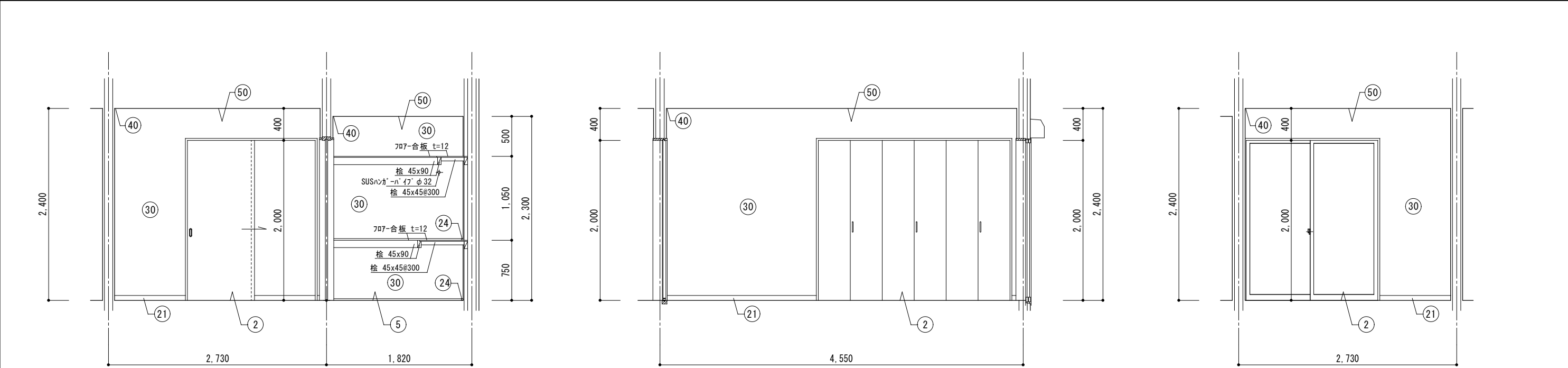
玄関・ホール・廊下

C

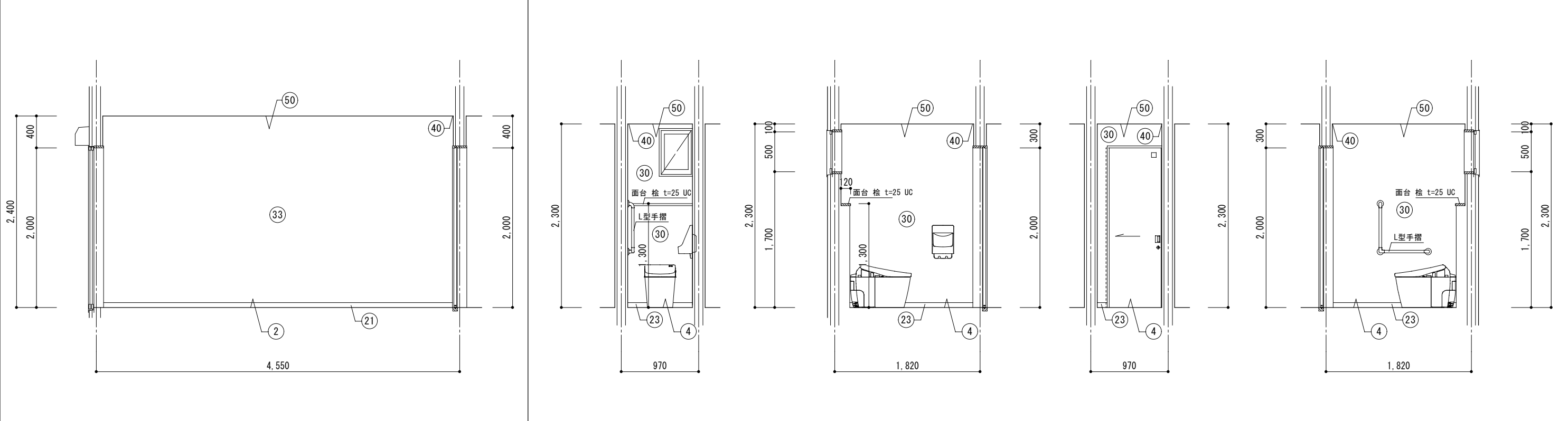
D

S=1:50

0. 床		20. 幅 木		30. 壁				40. 廻り縁		50. 天 井		その他	
①	150角フロア-ノンスリップ [®] タイル	②0	150角フロア-ノンスリップ [®] タイル	③0	PBt=12.5下地 ビ [®] ニルクロス	③5	防水PBt=12.5下地 サニタリーハ [®] ネル t=3.0	④0	塩ビ製	⑤0	PB t=9.5下地 ビ [®] ニルクロス	①A	
②	構造用合板 t=28下地 桧フローリング [®] t=15(塗装品)	②1	化粧幅木 H=60	③1						⑤1			
③	構造用合板 t=28下地 スタイロダミ	②2	タミ寄せ	③2	PBt=12.5下地 キッチンハ [®] ネル					⑤2			
④	構造用合板 t=28+耐水(ラ)合板 t=12下地 ビ [®] ニル床シート t=2.5	②3	ソフト幅木	③3	PBt=12.5+9.5下地 ビ [®] ニルクロス					⑤3			
⑤	構造用合板 t=28下地 フロア-合板 t=15	②4	雑巾摺	③4	防水PBt=12.5下地 ビ [®] ニルクロス					⑤4			




洋 室	洋室	A	クローゼット	B	C	S=1:50
-----	----	---	--------	---	---	--------

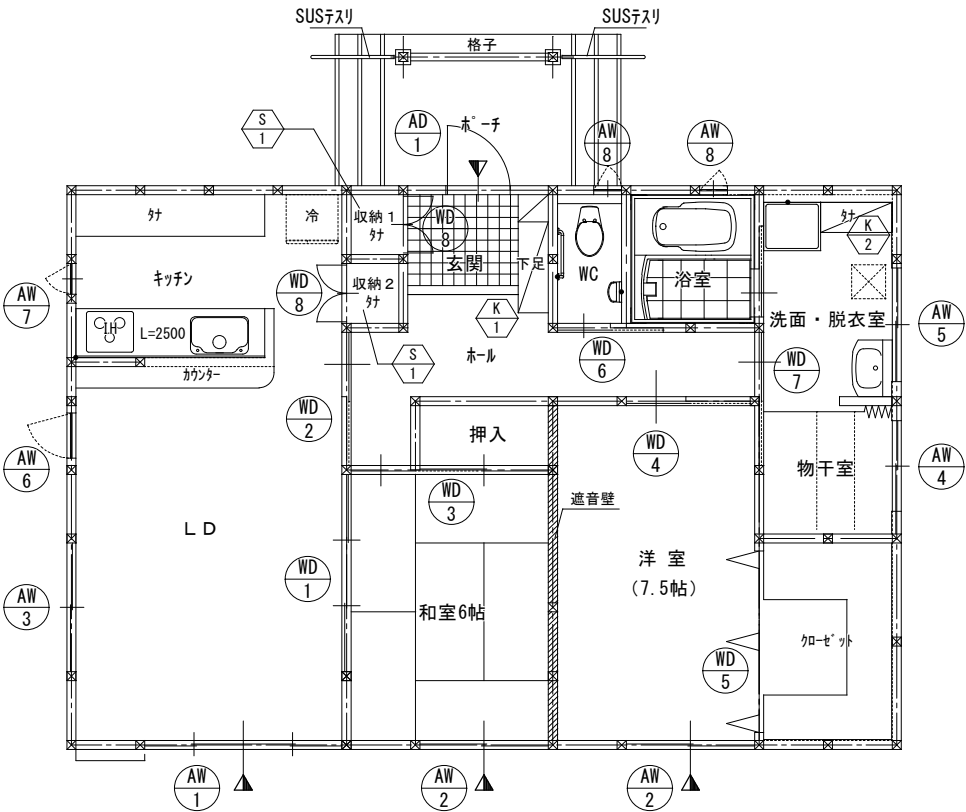


洋 室	D	W C	A	B	C	D	S=1:50
-----	---	-----	---	---	---	---	--------

0. 床		20. 幅 木		30. 壁				40. 廻り縁		50. 天 井		その他	
①	150角フロア-ノンスリップ タイル	②0	150角フロア-ノンスリップ タイル	③0	PBt=12.5下地 ビニールクロス	③5	防水PBt=12.5下地 サニタリーペーパー t=3.0	④0	塩ビ製	⑤0	PB t=9.5下地 ビニールクロス	①A	
②	構造用合板 t=28下地 桧フローリング t=15(塗装品)	②1	化粧幅木 H=60	③1						⑤1			
③	構造用合板 t=28下地 スライダミ	②2	タミ寄せ	③2	PBt=12.5下地 キッチンペーパー					⑤2			
④	構造用合板 t=28+耐水(ラ)合板 t=12下地 ビニールシート t=2.5	②3	ソフト幅木	③3	PBt=12.5+9.5下地 ビニールクロス					⑤3			
⑤	構造用合板 t=28下地 フロー合板 t=15	②4	雑巾摺	③4	防水PBt=12.5下地 ビニールクロス					⑤4			



設計年月日		<div><div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>株式会社 プラス1設計室</div></div>	高知県四十万市古津賀 2939-8 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1 級建築士 第196860号 永富 達也	<div> THINKING KONG</div>	SCALE S=1:50	工事名称 令和 7 年度 西土佐総合保健施設 医師住宅 3 号 新築 工事設計図 図面名称 展開図-4	A-26 No. **



キープラン S=1:100

記 号 ・ 数 量	<div>AD1</div> × 1	<div>AW1</div> × 1	<div>AW2</div> × 2
形 状 S=1:100	<div><div>2,330</div><div>960</div><div>熱貫流率：1.59W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>2,000</div><div>2,560</div><div>熱貫流率：2.03W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>2,000</div><div>1,650</div><div>熱貫流率：2.03W/(㎡・K)</div></div>
場 所	玄関	L D	和室6帖、洋室
形 式	住宅用玄関片開き戸	4枚引き違い窓	引き違い窓
見 込		70mm	70mm
材質・仕上	アルミ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
硝 子	型板複層ガラス LowE4+Ar16+型板6	(断熱) 複層ガラス	(断熱) 複層ガラス
金 物	付属金物一式、SUSハンドル、シリンドリ錠	遮熱グリーン3+Ar16+透明3G	遮熱グリーン3+Ar15+透明4G
備 考	住宅用	雨戸、SUS網戸付 住宅用 半外付型	シャッター雨戸、SUS網戸付 住宅用 半外付型
記 号 ・ 数 量	<div>AW3</div> × 1	<div>AW4</div> × 1	<div>AW5</div> × 1
形 状 S=1:100	<div><div>1,100</div><div>1,650</div><div>熱貫流率：1.22W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>900</div><div>1,195</div><div>熱貫流率：1.27W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>500</div><div>1,500</div><div>熱貫流率：1.27W/(㎡・K)</div></div>
場 所	L D	物干室	洗面・脱衣室
形 式	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓
見 込	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
硝 子	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar13+透明1.3+Ar13+グリーン3G 7mm	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar11+型4+Ar12+グリーン3G 7mm	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar11+型4+Ar12+グリーン3G 7mm
金 物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備 考	シャッター雨戸、SUS網戸付 住宅用 半外付型	SUS網戸付 住宅用 半外付型	SUS網戸付 住宅用 半外付型
記 号 ・ 数 量	<div>AW6</div> × 1	<div>AW7</div> × 1	<div>AW8</div> × 2
形 状 S=1:100	<div><div>1,100</div><div>600</div><div>熱貫流率：1.12W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>900</div><div>365</div><div>熱貫流率：1.26W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>500</div><div>365</div><div>熱貫流率：1.26W/(㎡・K)</div></div>
場 所	L D	キッチン	浴室、WC
形 式	縦入り出し窓	縦入り出し窓	縦入り出し窓
見 込	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
硝 子	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar14+透明1.3+Ar14+グリーン3 7mm	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar12+型4+Ar13+グリーン3 7mm	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar12+型4+Ar13+グリーン3 7mm
金 物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備 考	SUS網戸付 住宅用 半外付型	SUS網戸付 住宅用 半外付型	SUS網戸付 住宅用 半外付型

設計年月日	
R07 05 15	

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1 級建築士 第196860号 永富 達也

THINKING KONG

SCALE S=1:100	工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図	A-27 No. **
	図面名称 キープラン 建具表-1	

記 号 ・ 数 量	<div>WD1</div> × 1	<div>WD2</div> × 1	<div>WD3</div> × 1	<div>WD4</div> × 1	<div>WD5</div> × 1	<div>WD6</div> × 1
形 状 S=1:100						
場 所	L D	L D	押入 (和室6帖)	洋室	クローゼット (洋室)	W C
形 式	3枚引き違い戸	片引き戸	引き違い戸+片引き戸	片引き戸	折れ戸	片引き戸
見 込	36mm	36mm	36mm	36mm	36mm	36mm
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ 小口 桧面材	ポリ合板フラッシュ 小口 桧面材	ポリ合板フラッシュ 小口 桧面材	ポリ合板フラッシュ 小口 桧面材	ポリ合板フラッシュ 小口 桧面材	ポリ合板フラッシュ 小口 桧面材
硝 子	-----	4mm強化型板	-----	-----	-----	4mm強化型
金 物	Vレール、戸車、SUS堀込引手L=100	ハンガーレール、上吊車、SUS堀込引手L=100	Vレール、戸車、SUS堀込引手L=100	ハンガーレール、上吊車、SUS堀込引手L=100	付属金物一式	ハンガーレール、上吊車、SUS堀込引手L=100
備 考		ストップバー、ガイド 付属金物一式		ストップバー、ガイド 付属金物一式		ストップバー、ガイド 付属金物一式
				サムターン鎖錠		明かり窓、サムターン鎖錠 (表示錠)
記 号 ・ 数 量	<div>WD7</div> × 1	<div>WD8</div> × 2				
形 状 S=1:100						
場 所	洗面・脱衣室	収納1、2 (玄関、キッチン)				
形 式	片引き戸	両開き戸				
見 込	36mm	36mm				
材質・仕上	ポリ合板フラッシュ 小口 桧面材	ポリ合板フラッシュ 小口 桧面材				
硝 子	4mm強化型板	-----				
金 物	ハンガーレール、上吊車、SUS堀込引手L=100	スライド丁番、SUS堀込取手				
備 考	ストップバー、ガイド 付属金物一式					
記 号 ・ 数 量						
形 状 S=1:100						
場 所						
形 式						
見 込						
材質・仕上						
硝 子						
金 物						
備 考						

設計年月日

R07 | 05 | 15

株式会社

プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8

TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247

事務所登録 第 1324 号

1 級建築士 第196860号 永富 達也

THINKING KONG

SCALE

S=1:100

工事名称

令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図

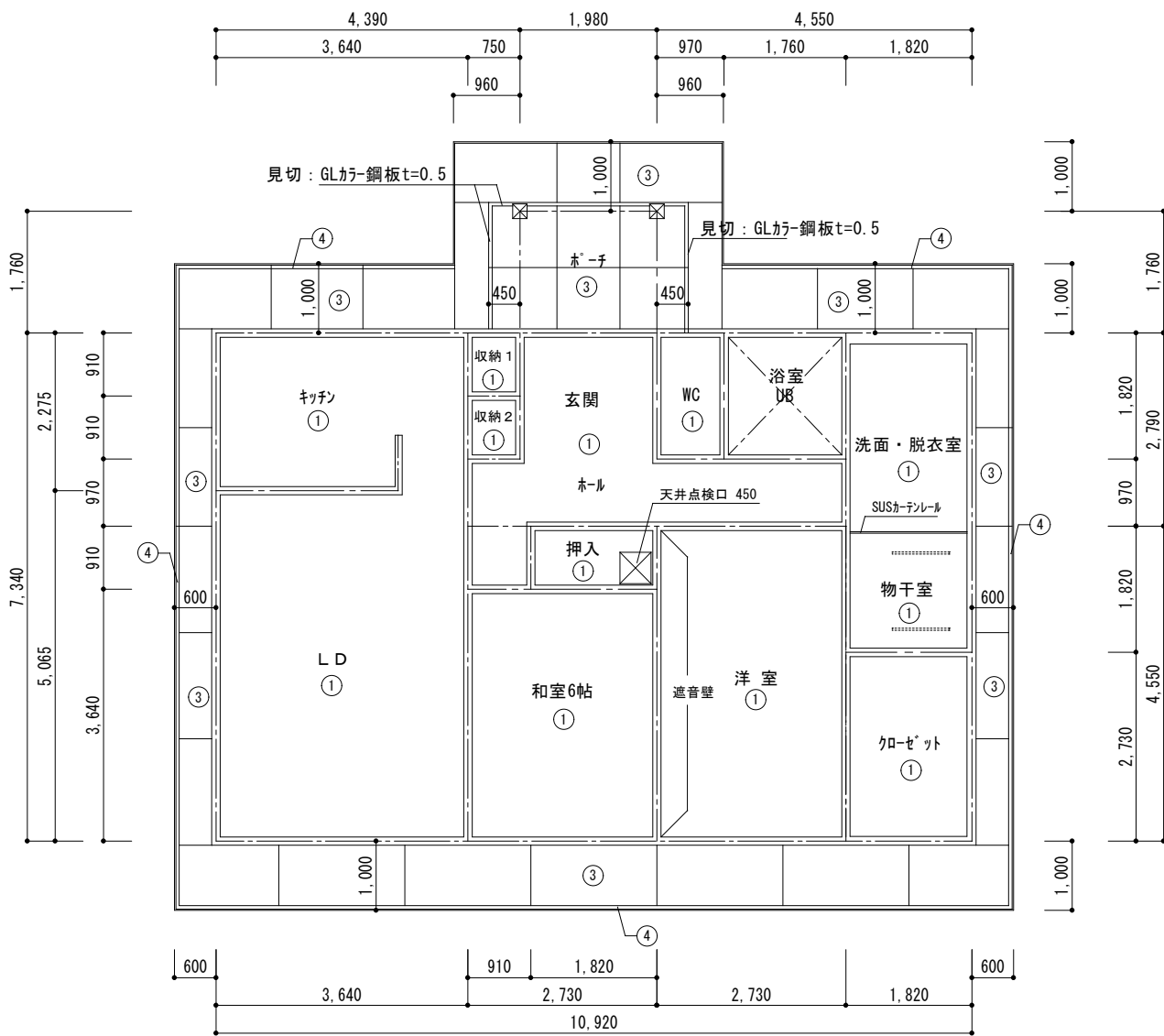
図面名称

建具表-2

A-28

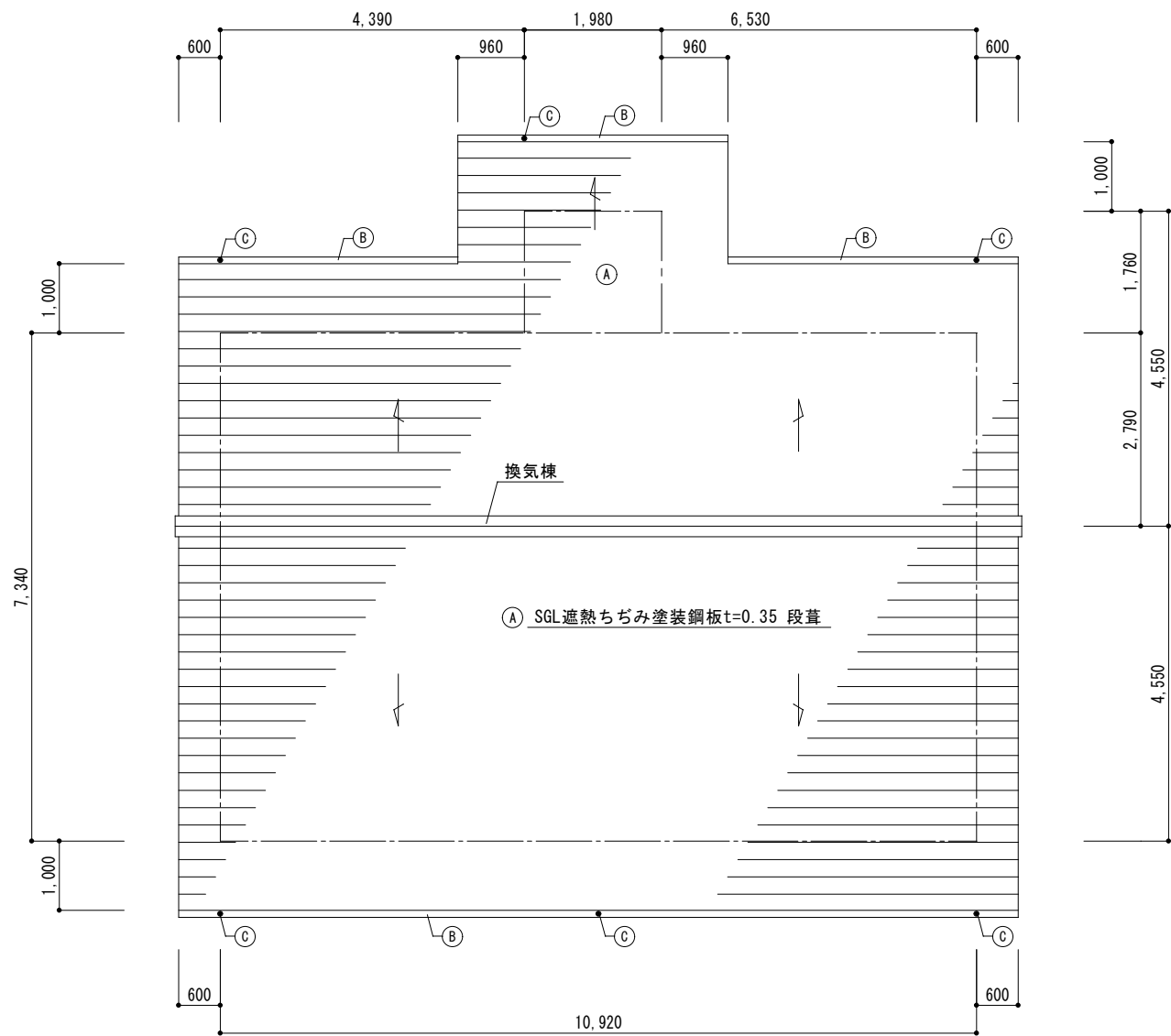
No. **

記 号 ・ 数 量		K 1		× 1	
形 状 S=1:40					
場 所		玄 関		洗面・脱衣室	
形 式		ゲタ箱		収納棚	
材質・仕上		天板: 桧集成材t=30 UC、 見付枠・側板: ポリ合板フラッシュ、背面: ポリ合板張、 その他: ポリ合板フラッシュとする。		見付枠・側板: ポリ合板フラッシュ、背面: ポリ合板張、 その他: ポリ合板フラッシュ	
硝 子					
金 物		S U S T 番、マグネットキャッチ、アルミダボレール ゲタ箱内部底板: ポリ合板フラッシュ GLカラー鋼板t=0.4貼		S U S T 番、マグネットキャッチ、アルミダボレール	
備 考		ハンドレス		ハンドレス	
記 号 ・ 数 量		S 1		× 2	
形 状 S=1:40					
場 所		キッチン、玄関		キッチン	
形 式		可動棚		キッチン	
材質・仕上		ポリ合板フラッシュ t=30		天板: ステンレス、ステンレスシンク 下台: 木製、底板ホー 吊戸棚: 化粧ボード	
硝 子					
金 物		S U S T 番、マグネットキャッチ、アルミダボレール		耐震ラッチ 3口IHヒーター シングルバネ混合栓 レンジフード	
備 考		キッチン、玄関 同様とする		レール引手 (参考品番: ヴァラスタンダードリフト)	
設計年月日		R07 05 15		SCALE S=1:100	
R07 05 15		株式会社 プラス1設計室		高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第196860号 永富 達也	
		THINKING KONG		工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図	
				図面名称 家具表	
				A-29	
				No. **	



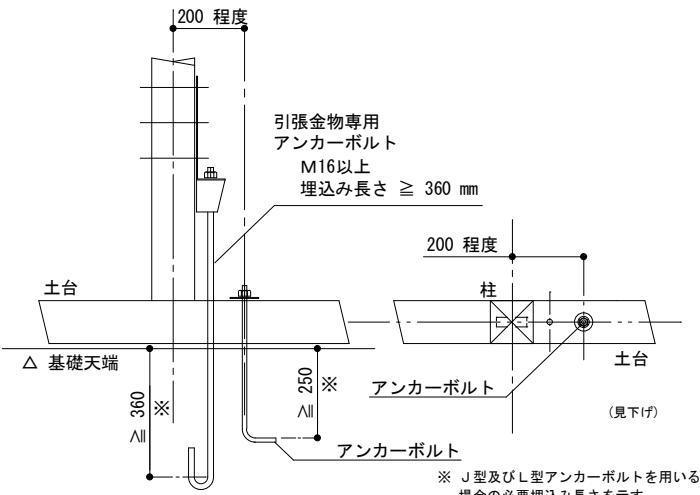
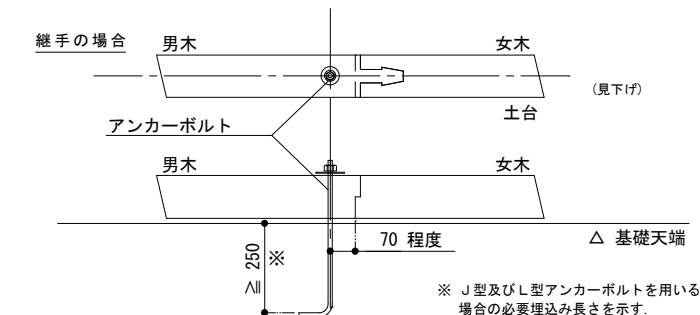
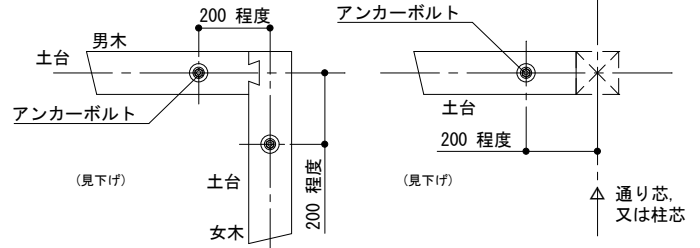
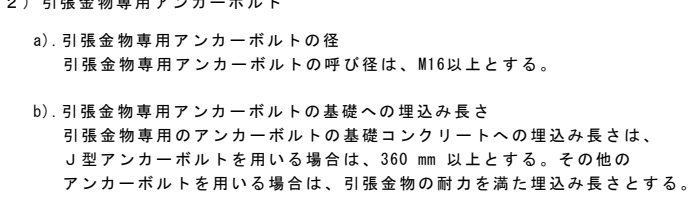
天井伏図 S=1:100

記号			廻り縁
①	天井	PBt=9.5 下地 ビニルクロス	塩ビ見切
②			
③	軒裏	ケイカル板 t=6.0 AEP	塩ビ見切
④	軒天換気材	軒先・壁際タイプ GLカー鋼板t=0.35 (既製品)	



屋根伏図 S=1:100

記号		
①	屋根	SGL遮熱ちぢみ塗装鋼板t=0.35 段葺 断熱材裏打ち品
		アスファルト・フィング 940 野地板 構造用合板 t=15
②	軒樋	塩ビカラー角120 吊金具
③	縦樋	塩ビカラー φ75 SUS金具

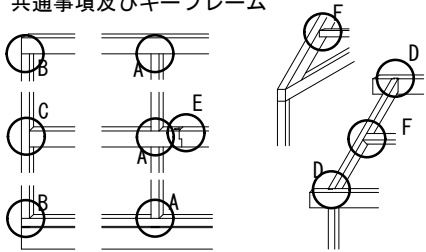
木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (1)			
1. 一般事項	2. 材料	3. アンカーボルト	4. 接合一般
<p>(1) 適用範囲</p> <p>※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。</p> <p>木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。</p> <p>(2) 設計図書</p> <p>設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。</p> <p>(3) 準拠する図書</p> <p>設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（ ※全て最新版による。）</p> <p>「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）</p> <p>「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」（日本住宅・木材技術センター）</p> <p>「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）</p> <p>上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。</p> <p>(4) 設計図書の優先順位</p> <p>設計図書の優先順位は下記による。</p> <p>1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）</p> <p>2. 設計図</p> <p>3. 特記仕様書</p> <p>4. 本標準図</p> <p>(5) 疑義</p> <p>疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。</p> <p>(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出</p> <p>工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>(7) 施工図及びプレカット図の提出</p> <p>工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。</p> <p>(8) 製作工場の選定、承諾</p> <p>設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける</p> <p>(9) 各種試験・検査報告書の提出</p> <p>施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。</p> <p>(10) 接合工法</p> <p>本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。</p> <p>・継手仕口による在来工法</p> <p>・梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法</p> <p>なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。</p> <p>また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。</p> <p>本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。</p> <p>(11) 加工部材に関する留意事項</p> <p>本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。</p> <p>・梁:部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同等～450mm、及び材長6m以下</p> <p>・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下</p> <p>これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。</p>	<p>(1) 木材及び木質材料</p> <p>主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。</p> <p>(2) 接合具</p> <p>a)くぎ</p> <p>主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。</p> <p>b)木質構造用ビス</p> <p>主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。</p> <p>使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>c)ボルト・ナット・座金</p> <p>1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。</p> <p>・ボルトはJIS B 1051 ,ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼</p> <p>・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット</p> <p>【 Z マーク表示金物 】</p> <p>【 D マーク表示金物 】</p> <p>【 S マーク表示金物 】</p> <p>・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット</p> <p>2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。</p> <p>3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。</p> <p>※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。</p> <p>d)ドリフトピン・ラグスクリュー</p> <p>主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>e)木栓・木ダボ</p> <p>主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。</p> <p>樹種・径等については、特記仕様書で指定する。</p> <p>節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。</p> <p>(3) 接合金物</p> <p>a)規格金物</p> <p>構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。</p> <p>・JIS A 5531：木構造用金物</p> <p>・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物；</p> <p>・Z マーク表示金物、又は C マーク表示金物</p> <p>・同等認定金物；D マーク表示金物</p> <p>・性能認定金物；S マーク表示金物</p> <p>上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。</p> <p>使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。</p> <p>b)製作金物</p> <p>製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。</p> <p>(4) 接着剤</p> <p>原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。</p> <p>建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。</p> <p>(5) 防腐防蟻処理及び耐候処理</p> <p>防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。</p> <p>土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。</p> <p>適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。</p>	<p>※共通事項</p> <p>・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。</p> <p>(1) 土台固定用アンカーボルト</p> <p>a). アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。</p> <p>-1. 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部；</p> <p>耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。</p>  <p>※ J 型及び L 型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>-2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口；</p> <p>土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。</p> <p>当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。</p>  <p>※ J 型及び L 型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>仕口の場合</p>  <p>※ J 型及び L 型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>土台切れの場合（柱勝ち取り等）</p>  <p>※ J 型及び L 型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>-3. その他；</p> <p>上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。</p> <p>(2) 引張金物専用アンカーボルト</p> <p>a). 引張金物専用アンカーボルトの径</p> <p>引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。</p> <p>b). 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ</p> <p>引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J 型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。</p>	<p>(1) 釘接合</p> <p>・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。</p> <p>・面材表面に対し、釘頭がめり込んではいならない。</p> <p>・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。</p> <p>・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。</p> <p>・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。</p> <p>(2) 木質構造用ビス接合</p> <p>・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。</p> <p>・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。；</p> <p>比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 %</p> <p>上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 %</p> <p>※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2／3程度とする。</p> <p>(3) ボルト接合</p> <p>・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。</p> <p>・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。</p> <p>・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。</p> <p>・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。</p> <p>(4) ラグスクリュー接合</p> <p>・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。</p> <p>・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。</p> <p>・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。；</p> <p>比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 %</p> <p>上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 %</p> <p>※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。</p> <p>・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。</p> <p>・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。</p> <p>・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。</p> <p>・呼び径 M12以下；+1.0mm</p> <p>・呼び径 M16以上；+1.5mm</p> <p>(5) ドリフトピン接合</p> <p>・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。</p> <p>・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。</p> <p>・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。</p> <p>(6) 木栓接合</p> <p>・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。</p> <p>・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。</p> <p>・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。</p> <p>・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。</p> <p>(7) グルードインロッド接合</p> <p>・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。</p> <p>・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。</p> <p>・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。</p>

設計年月日	特記	DRAW	<div>PLUS1 Architectural Direction Room</div> <div>プラス1 設計室</div>	高知県四万十市古津賀 2939-8	<div>SCALE</div> <div>S=1:100</div>	工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図	B-01
		CHEKED		TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247		図面名称		
竣工図				事務所登録 第 971 号 1級建築士 第 196860 号 永富 達也		木造軸組 接合部 標準図 (1)		

木造軸組接合部標準図(2)

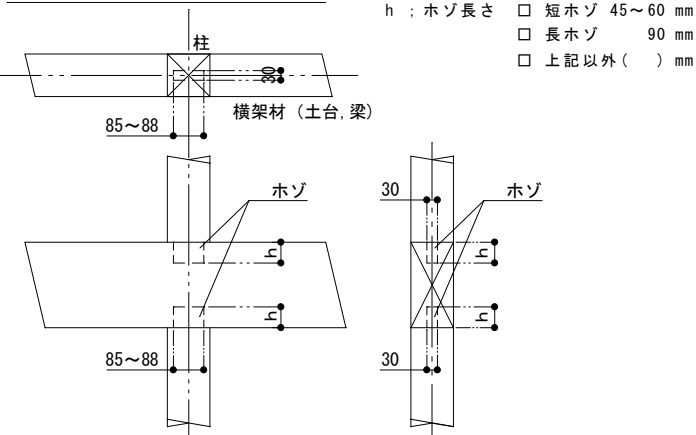
5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキーフレーム

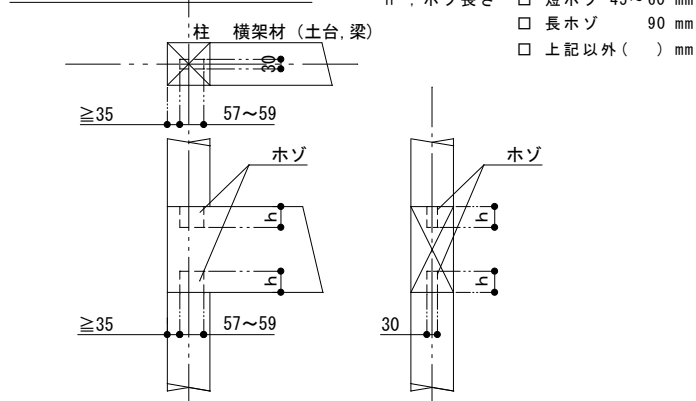


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

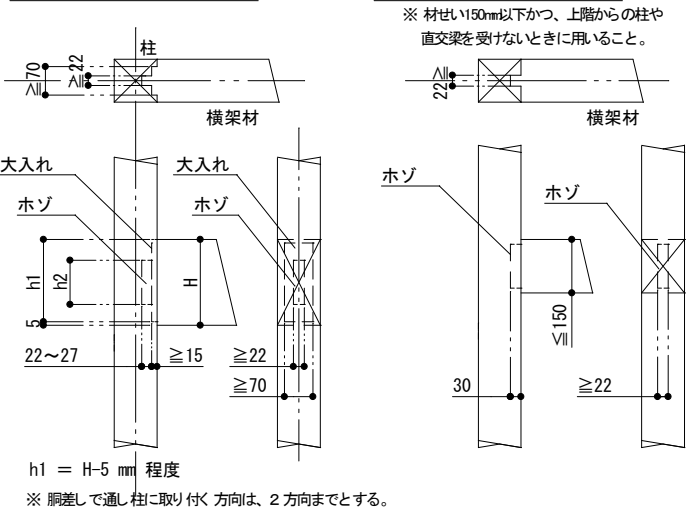
A 柱-横架材仕口：一般部（土台共通）



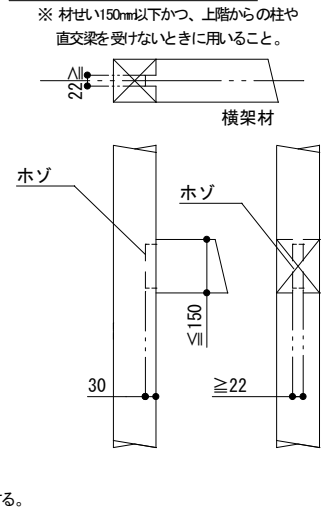
B 柱-横架材仕口：出隅部（土台共通）



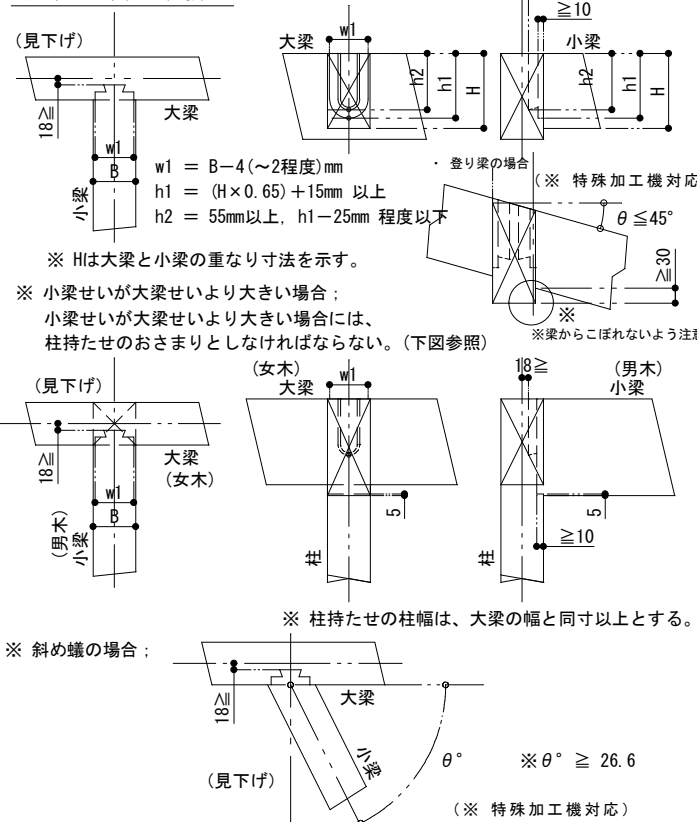
C 通柱-横架材仕口：胴差し



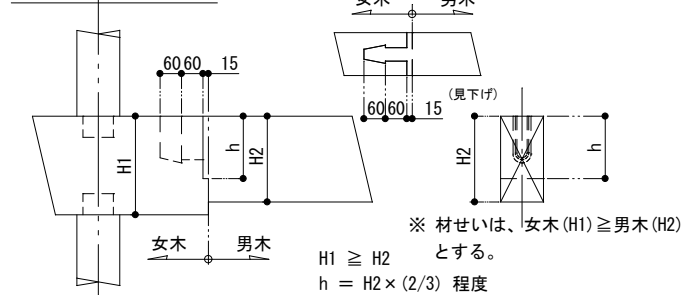
C 通柱-横架材仕口：桁差し



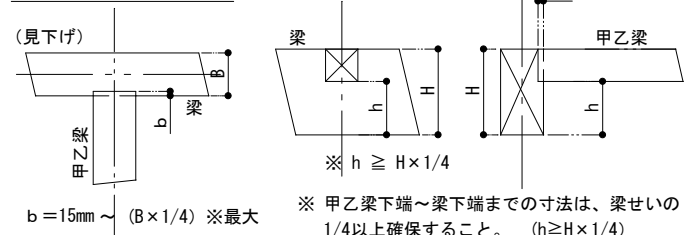
D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



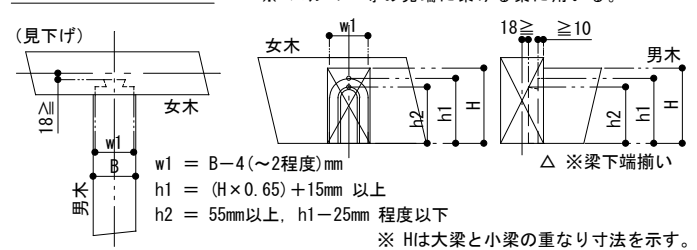
E 梁-梁継手：腰掛継ぎ



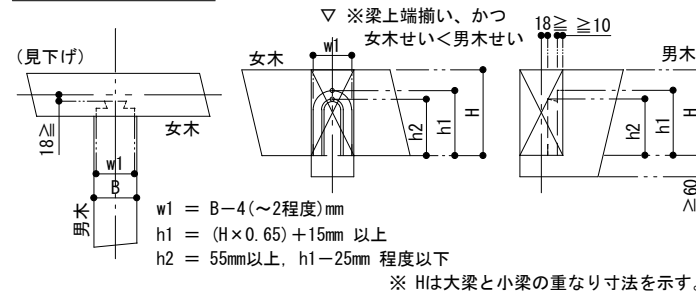
F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



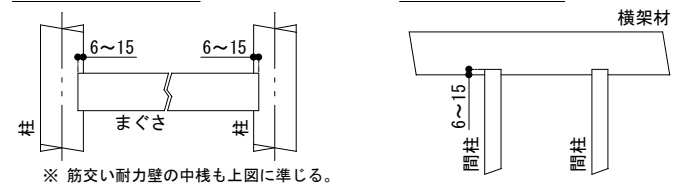
G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



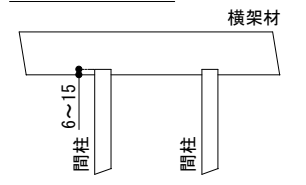
H 梁-梁仕口：茶臼仕口



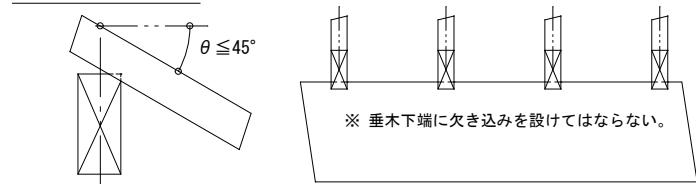
I その他：まぐさ欠き



J その他：間柱欠き



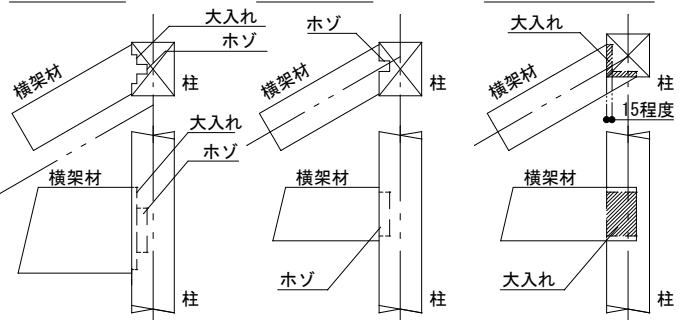
K その他：垂木欠き



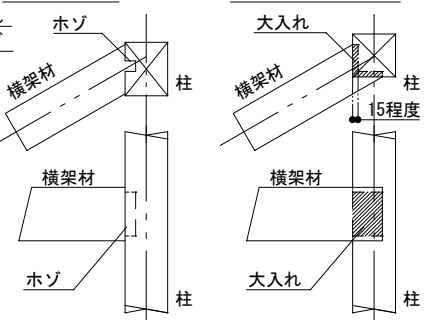
(3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

特殊加工機を用いることにより対応可能な継手仕口の一例を、本節に示す。特殊加工機を用いた継手仕口は、加工場が限定されるので注意すること。特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

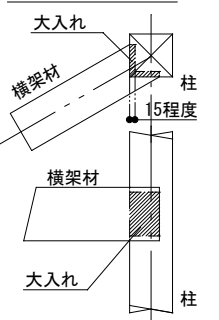
L 斜め胴差し



M 斜め桁差し

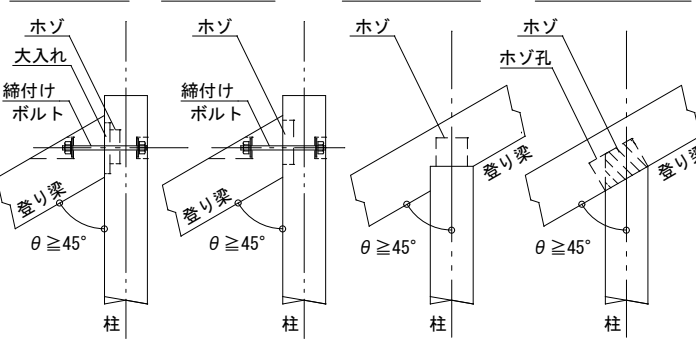


N 斜め柱差し大入れ

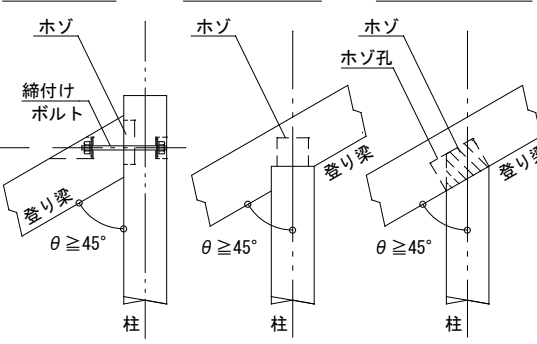


※ L、Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で使い、柱断面を調整して使用すること。
※ L、Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を使用すること。
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

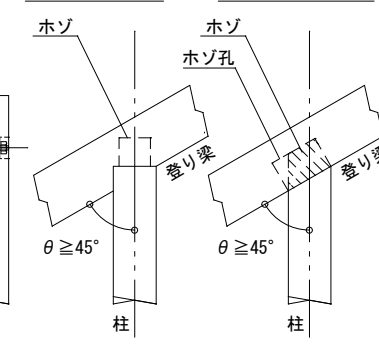
O 登り胴差し



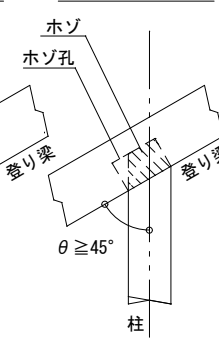
P 登り桁差し



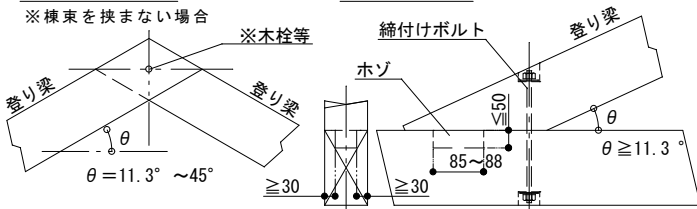
Q 登り斜めホゾ



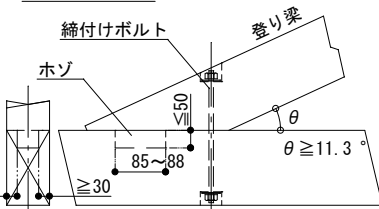
R 登り座付きホゾ



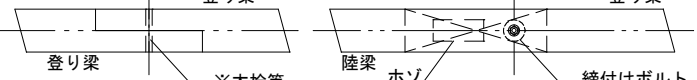
S 登り梁合掌部



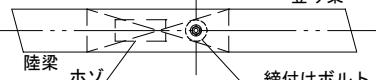
T 登り梁合掌尻



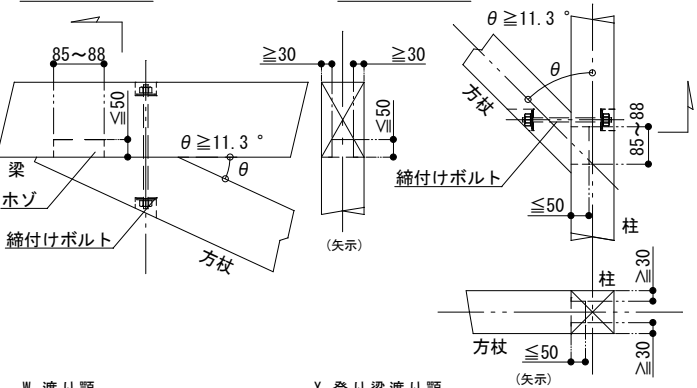
(見下げ)



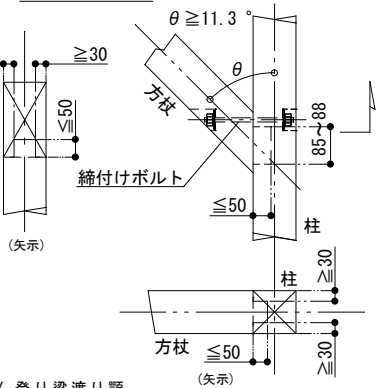
(見下げ)



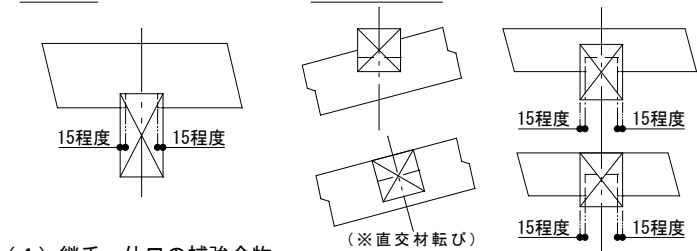
U 方杖-梁仕口



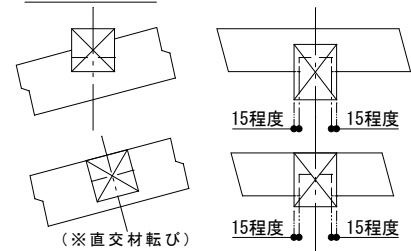
V 方杖-柱仕口



W 渡り頭

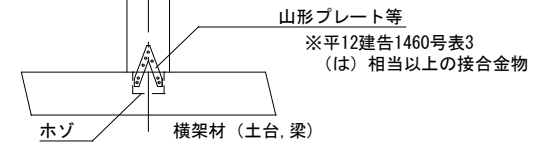


X 登り梁渡り頭



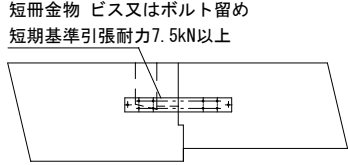
(4) 継手・仕口の補強金物

- ・耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
- ・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を保有する接合金物(平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上)を使用すること。



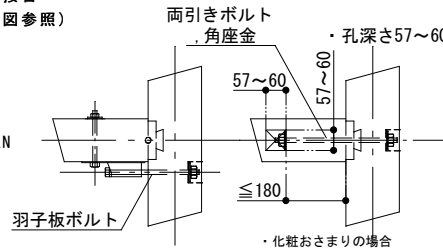
(梁-梁 接合部)

- ・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引抜力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
- ・上記以外の接合部には、7.5kN以上の引張耐力を保有する接合金物を使用すること。(右図参照)



(小梁端部接合部)

- ・小梁端部接合部においては、地震力によって外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を保有する接合金物で緊結すること。



木造軸組接合部標準図(4)

7. 水平構面

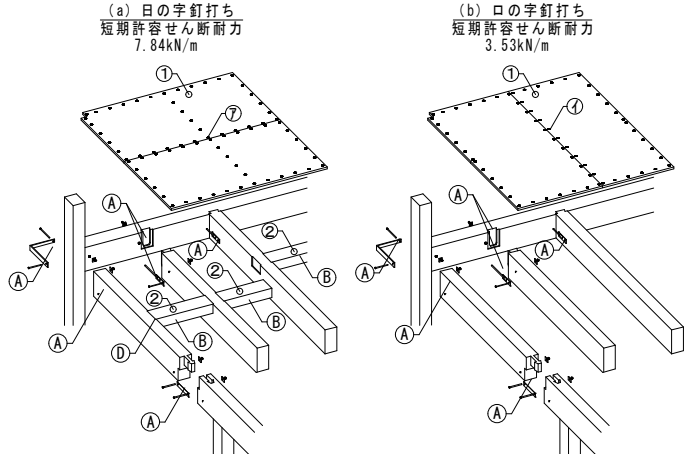
(注) (単位)mm

7.1 共通事項

- 各部仕口形状は、(3) 高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2) 5. 軸組標準接合部に準ずる。
- 木造軸組み工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- 指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

7.2 水平構面の仕様

(1) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

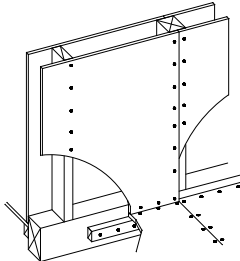


1) 各部材料および寸法

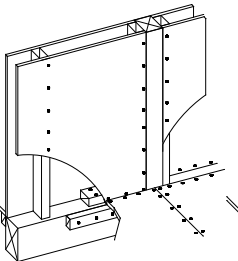
- 面材：構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
 - 甲乙梁：幅 45mm 以上 \times せい 45mm 以上・梁及び甲乙梁の間隔 1000mm 以下
- 2) 各部仕口形状及び性能
- 各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
 - 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- 3) 各部への釘打及びビス止め
- 構造用合板は $N75@150\text{mm}$ 日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
 - 構造用合板は $N75@150\text{mm}$ 口の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける

注意事項：構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする
 2mm を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること
口の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、機み等に注意する事

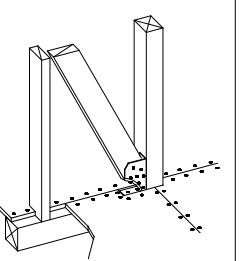
告示耐力壁-床納まり
大壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)



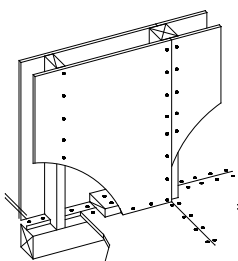
真壁合板耐力壁-床構面
(壁勝)



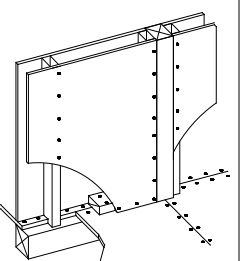
筋違耐力壁-床構面
(筋通勝)



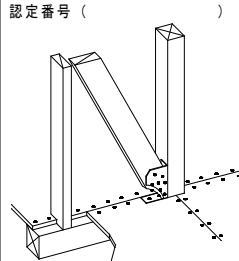
認定仕様例示) 日合連 (JPKA) 仕様耐力壁-床勝納まり
大壁合板耐力壁-床勝
認定番号: FRW-0296



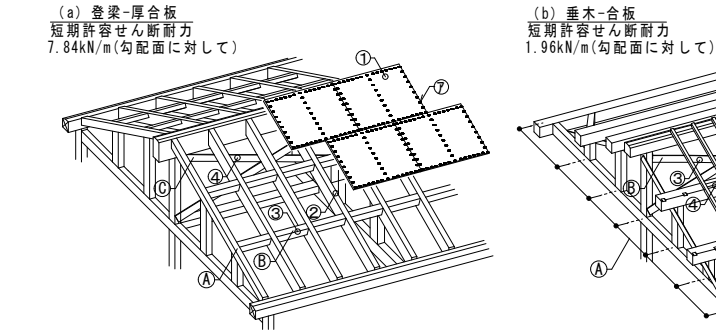
真壁合板耐力壁-床勝
認定番号: FRW-0298



筋違金物による床勝納まり
筋違耐力壁-床構面
(床勝:大臣認定仕様)
会社名 ()
認定番号 ()



(2) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面



1) 各部材料および寸法

- 面材：構造用合板 $t=24\text{mm} \sim 30\text{mm}$ 横架材に直貼
- 登梁：幅 105mm 以上 \times せい 105mm 以上 間隔 1000mm 以下
- 甲乙梁：幅 45mm 以上 \times せい 45mm 以上 間隔 1000mm 以下
- 小屋耐力壁： 15mm 以上 \times 90mm 以上 (端部は平12建1460号の筋違耐力壁の接合)

2) 各部仕口形状及び性能

- 各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

3) 各部への釘打及びビス止め

- 構造用合板は $N75@150\text{mm}$ で日の字に垂木に留め付ける

注意事項：構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 2mm を限度とする

1) 各部材料および寸法

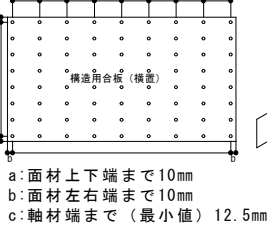
- 面材：構造用合板 $t=9\text{mm} \sim 15\text{mm}$ (横置)
- 垂木：幅 45mm 以上 \times せい $45\text{mm} \sim 90\text{mm}$ $@500\text{mm}$ 以下
- 小屋耐力壁： 15mm 以上 \times 90mm 以上 (端部は平12建1460号の筋違耐力壁の接合)
- 転び止め： $45\text{mm} \times 60\text{mm}$ 程度

2) 各部仕口形状及び性能

- 母屋ピッチ: 1000mm 以下
- 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

3) 各部への釘打及びビス止め

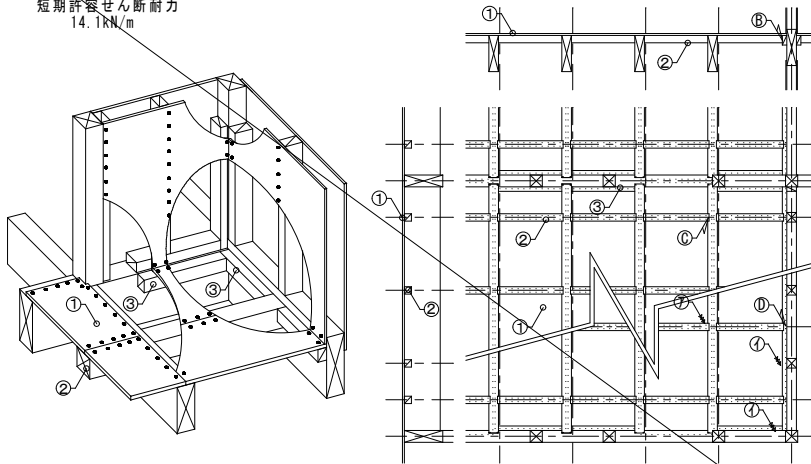
- 構造用合板は $N50@150\text{mm}$ で川の字に垂木に留め付ける
- 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面对してN75釘2本打ち



a: 面材上下端まで 10mm
b: 面材左右端まで 10mm
c: 軸材端まで (最小値) 12.5mm

7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

(1) 2階床水平構面の条件及び仕様
短期許容せん断耐力
 14.1kN/m



1) 各部材料

- 面材：構造用合板 $t=24\text{mm}$ 又は 28mm 横架材に直張り
- 甲乙梁: $90\text{mm} \times 90\text{mm}$ の正角材又は幅 $75\text{mm} \times$ 成 120mm 製材を平使い
- 大梁側面に取り付ける床受材: 幅 $55\text{mm} \sim 75\text{mm} \times$ 成 120mm の製材

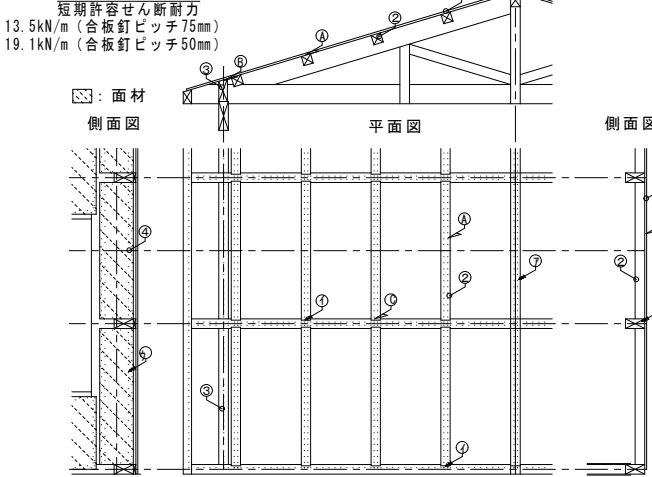
2) 各部仕口形状及び性能

- 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
 - 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
 - 甲乙梁端部は小梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
 - 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ $15\text{mm} \times$ 成 60mm 切り欠き甲乙梁は成 60mm 分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
- 3) 各部への釘打及びビス止め

- 構造用合板は $N75@75\text{mm}$ 日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
- 大梁側面へ取り付け床受材は木質構造用ビス $\phi 6, L130 \sim 150$ を 150mm ピッチの二列打ちとして留め付ける

(2) 屋根水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力
 13.5kN/m (合板釘ピッチ 75mm)
 19.1kN/m (合板釘ピッチ 50mm)



1) 各部材料

- 面材：構造用合板 $t=24\text{mm}$ 登梁及び母屋に直張り
- 母屋：幅 $120\text{mm} \times$ 成 120mm の製材
多雪区域(3級及び4級)の場合は幅 $120\text{mm} \times$ 成 150mm の製材
- 軒先転び止め: 幅 $105\text{mm} \times$ 成 300mm の製材を用い、天端は屋根面に合わせ切り欠く
- 軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板: $t=12\text{mm}$

2) 各部仕口形状及び性能

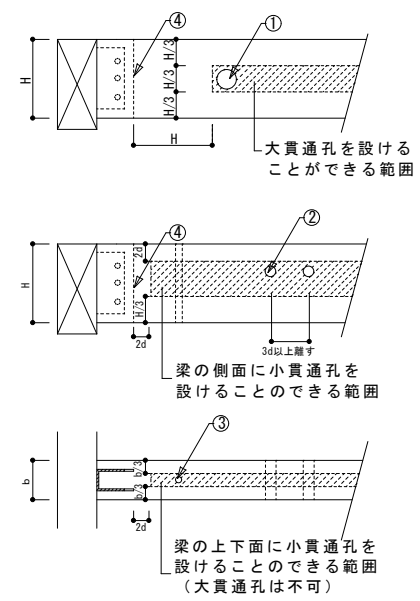
- 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
 - 屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
 - 母屋端部は登梁に対して深さ 15mm 程度の大入れ
- 3) 各部への釘打及びビス止め

- 13.5kN/m 仕様: 構造用合板は $N75@75\text{mm}$ 4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
 19.1kN/m 仕様: 構造用合板は $N75@50\text{mm}$ 4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
- 母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビス $\phi 5, L150$ (頭部径 $\phi 12.5$ 以上ねじ部長さ 50 以上) 1本を斜め打ちとする
- 軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は、 $N50$ \times ぎを 50mm ピッチの千鳥打ちとして留め付ける

8. 貫通孔

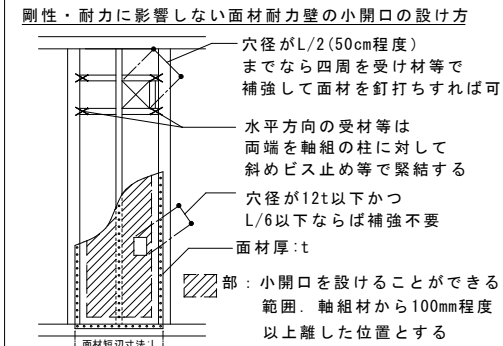
8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

- 大貫通孔: $d \leq H/4$ かつ 150mm
- 小貫通孔: $d \leq 30\text{mm}$ (隣り合う孔は $3d$ 以上離す)
- 縦小貫通孔: $d \leq b/6$ かつ 30mm
- 接合金物用切り欠きライン



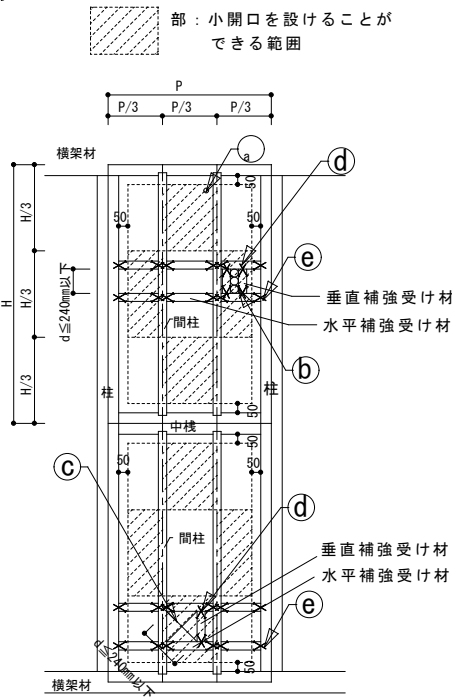
8.2 耐力壁貫通孔

(1) 小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)
※壁倍率7倍までの孔開けルール
剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方



(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁 (JISA3301標準仕様)
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール (JISA3301仕様)

- a) 貫通孔基準
- 小貫通孔 ($d \leq 30\text{mm}$)
1区画につき1か所までなら補強不要
 - 小貫通孔 $\times 3$ (外接円の径 $d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
 - 大貫通孔 ($d \leq 240\text{mm}$)
四周を補強受材で補強
面材1枚につき1か所のみ可
- b) 釘打ち及び断面
- 合板から補強受材へ $N50@90\text{mm}$ で釘打ち
補強受材は間柱と同寸以上の断面
 - 補強受材の留め付けは斜めビス2本止め



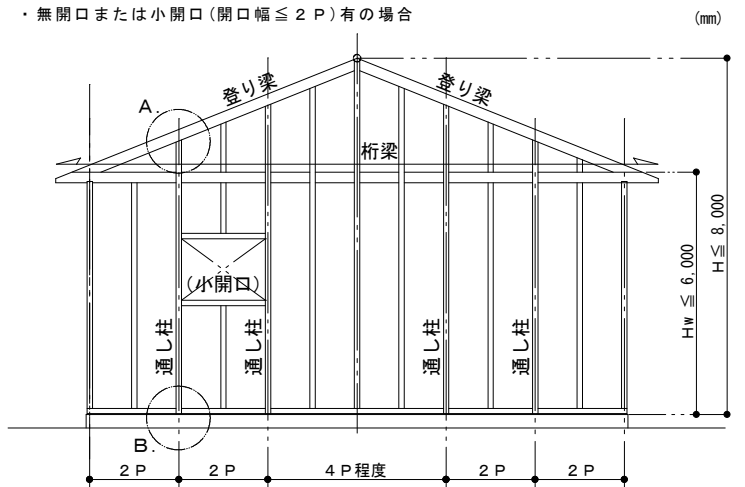
木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 (5)

10. 妻構面

平屋建物の妻構面の標準架構（耐風仕様）

（1）共通事項及びキーフレーム

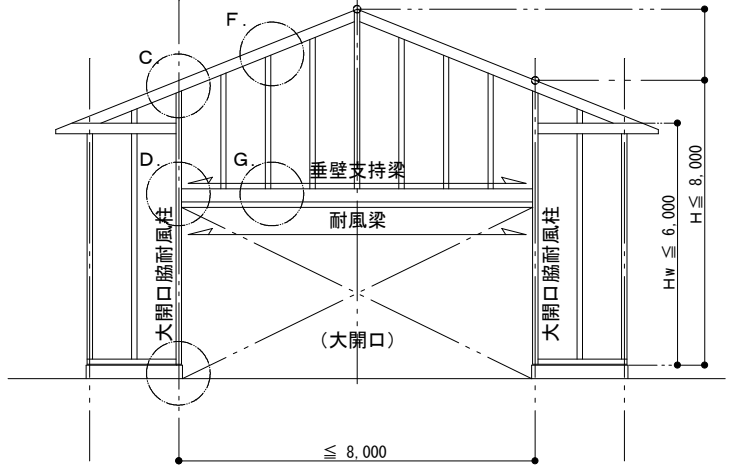
・無開口または小開口（開口幅≦2P）有の場合



※1Pは柱-柱間の1モジュール寸法を示し、面材耐力壁に用いる構造用合板の1枚分の短辺幅を標準とする。

但し、面材耐力壁のとき、 $P \geq Hw/5.0$ (m)
筋交耐力壁のとき、 $P \geq Hw/3.5$ (m)
 $Hw \leq 6.0$ (m)

・大開口（開口幅＞2P）有の場合



・妻構面の耐風柱の最高高さは、基礎立上り天端から、8m以下を標準とする。
・妻構面の柱幅は120以上、柱成は以下の寸法以上とし、構造計算により安全であることを確認する。

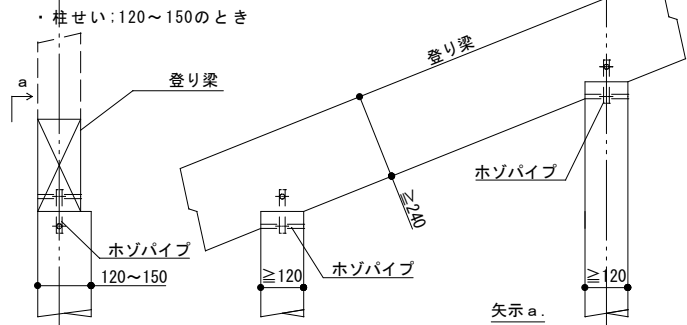
柱長さ_Lc≦8,000 (mm) ; 柱せい_Dc≧210 (mm)
≦7,000 (mm) ; ≧180 (mm)
≦6,000 (mm) ; ≧150 (mm)
≦5,000 (mm) ; ≧120 (mm)

・妻構面の柱は2Pごとに、基礎から登り梁までの通し柱とする。但し、棟を挟んで4P程度の範囲は、1Pごとに通し柱とする。
・妻構面に設けた小開口（幅2P以内）の両脇の柱は、登り梁下端まで通し柱とする。
・妻構面に設ける大開口（幅2P超）の長さは、8m以下を標準とする。
・妻構面に設けた大開口の両脇には大開口脇耐風柱を、上部には耐風梁を設ける。
また、垂壁支持梁を耐風梁の上部に設け、耐風梁と構造用ビスにて緊結する。
・大開口脇耐風柱は平角柱として、風圧力による面外方向の曲げ応力に対して、安全であるものとし、構造計算によって求めた断面寸法、樹種、強度等級とする。
・耐風梁は平角材を平使いで用い、風圧力による面外方向の曲げ応力に対して安全であるものとし、構造計算によって求めた断面寸法、樹種、強度等級とする。
但し、計算上、垂れ壁支持梁の断面性能のみでも長期鉛直荷重と風荷重の両方を負担できる場合は、耐風梁を設けなくてもよい。
・垂壁支持梁および耐風梁は、両大開口脇耐風柱の間に1本の通し材を用いなければならない。途中に継手を設けることは、絶対に行ってはならない。
・母屋は登り梁を欠き込み、勝たせたうえで、ければ側に片持ち梁としてはね出すことが出来る。

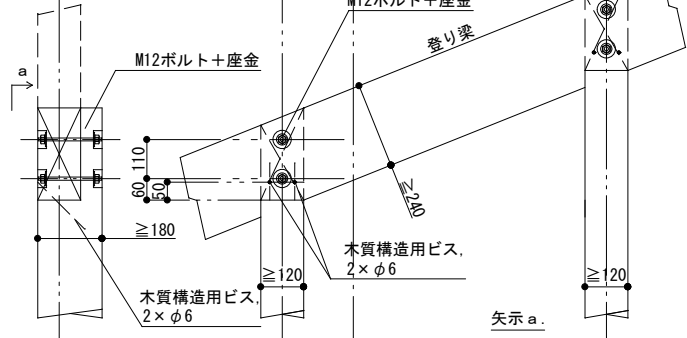
（2）継手仕口

・一般部

A. 登り梁-柱頭_接合部



・柱せい: ≧180のとき

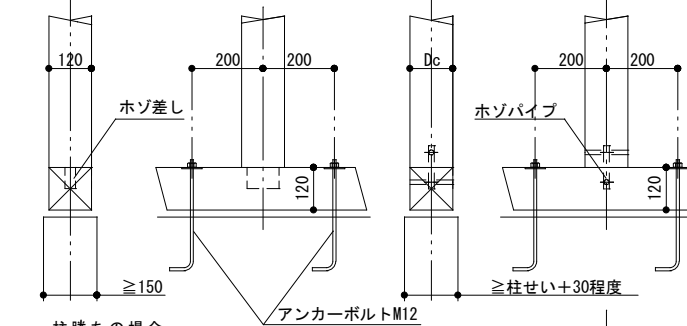


B. 土台-柱脚_接合部

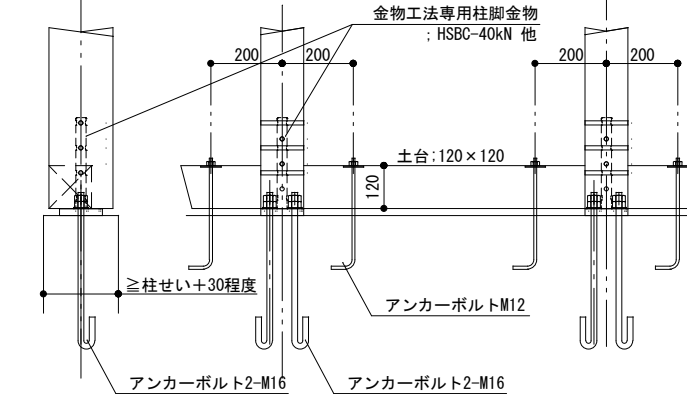
※土台の幅は、柱幅以上とすること。
※アンカーボルトを柱の両脇200mmの位置に設けること。
※柱間隔が1Pを超える場合、面外風圧力による負担せん断力を計算の上、決定すること。

・土台勝ち: ホソ差しの場合

※ホソの種類: □ 短ホソ □ 長ホソ
□ 左記以外 ()

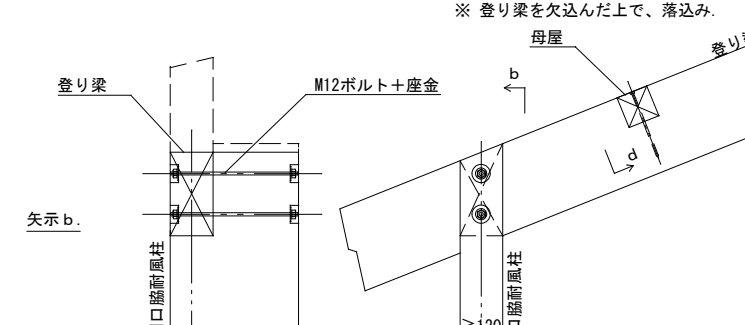


・柱勝ちの場合

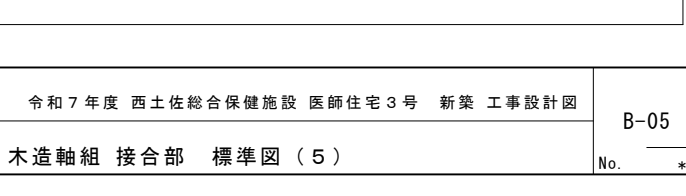
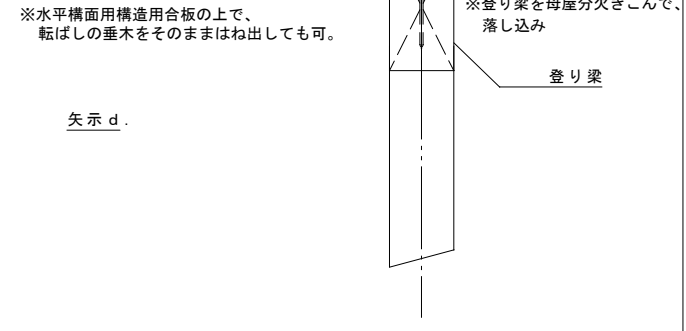
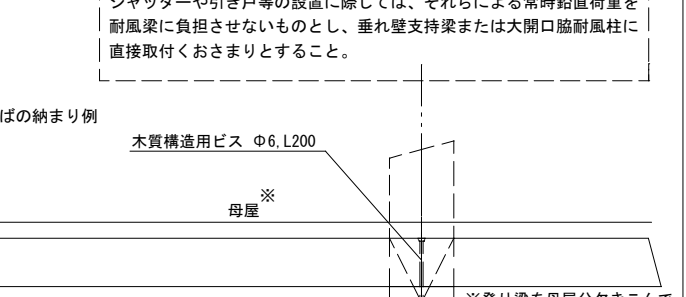
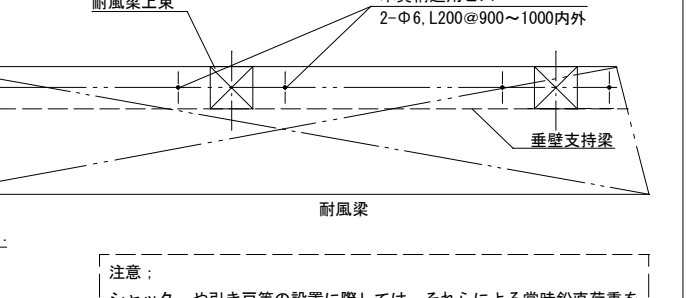
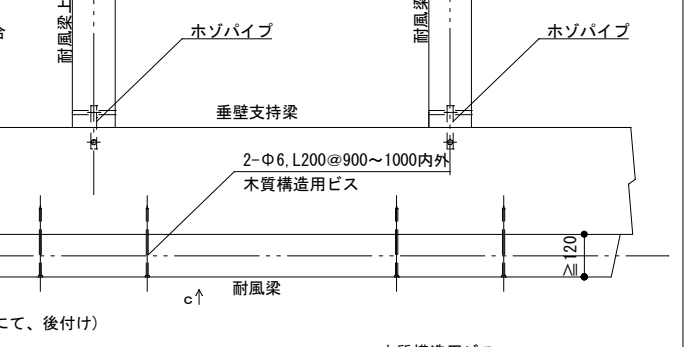
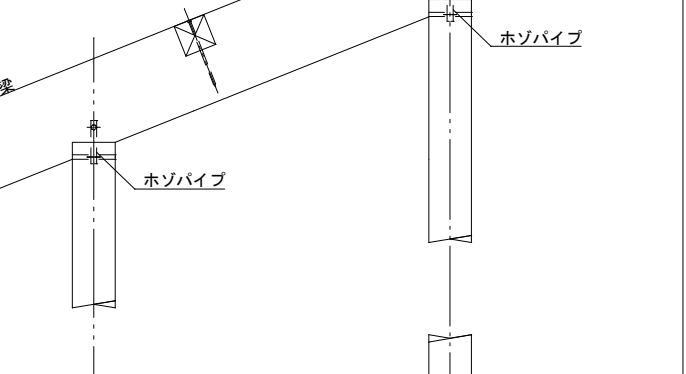
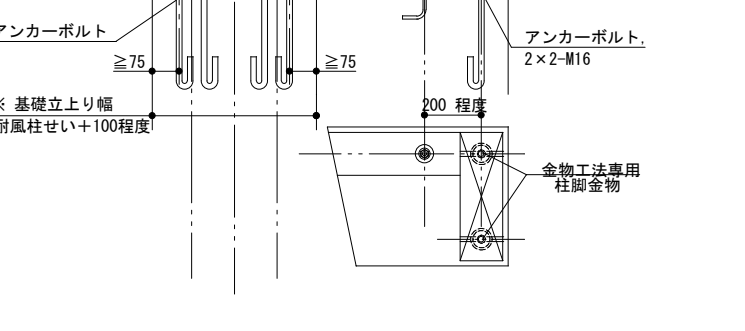
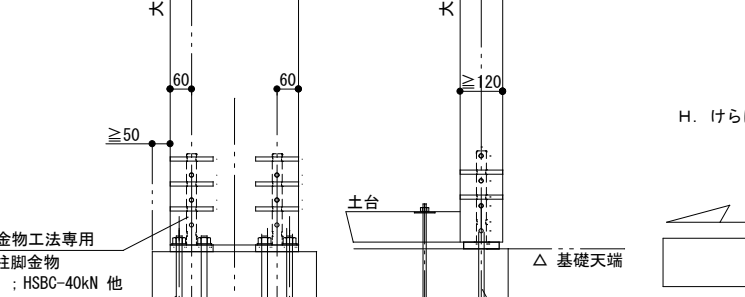
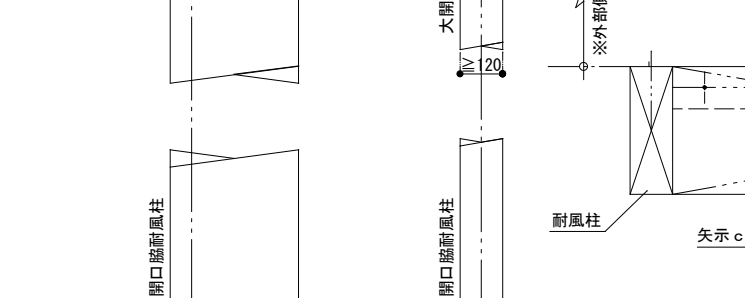
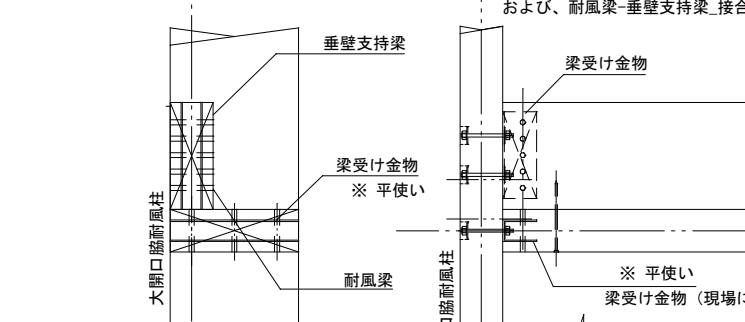


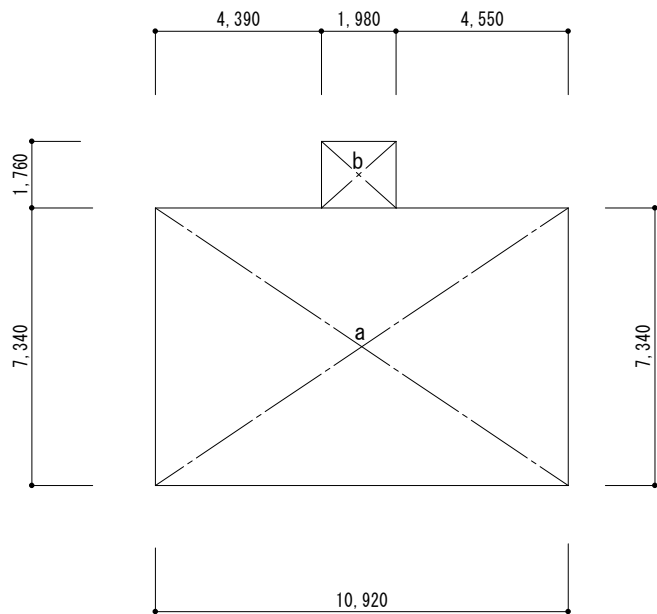
・大開口周辺部

C. 登り梁-大開口脇耐風柱・柱頭_接合部



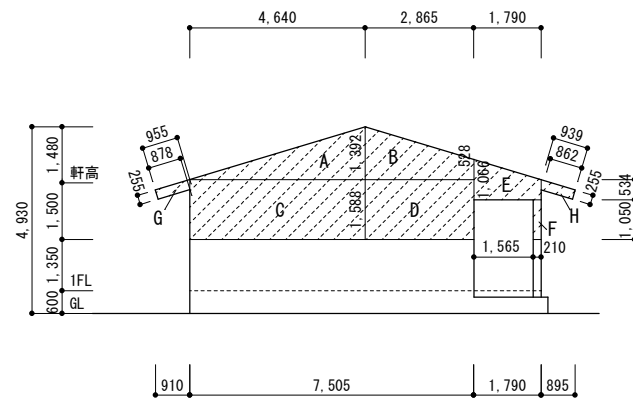
D. 耐風梁-大開口脇耐風柱_接合部





◆ 床面積 計算表
[1 階]

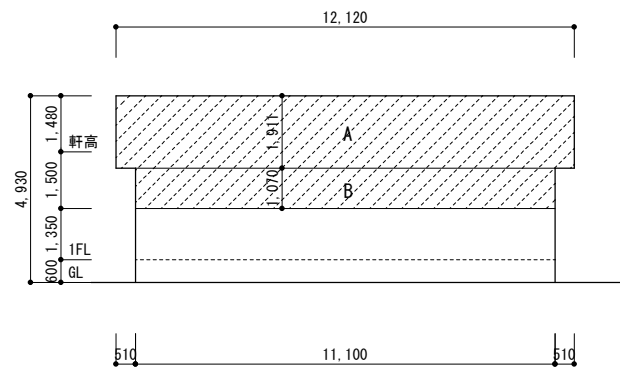
区画	横 (m)	縦 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	10.92	7.34	80.152800	
b	1.98	1.76	3.484800	
		計	83.637600	



× 軸方向見付面積図

◆ [X 方向 見付面積 計算]

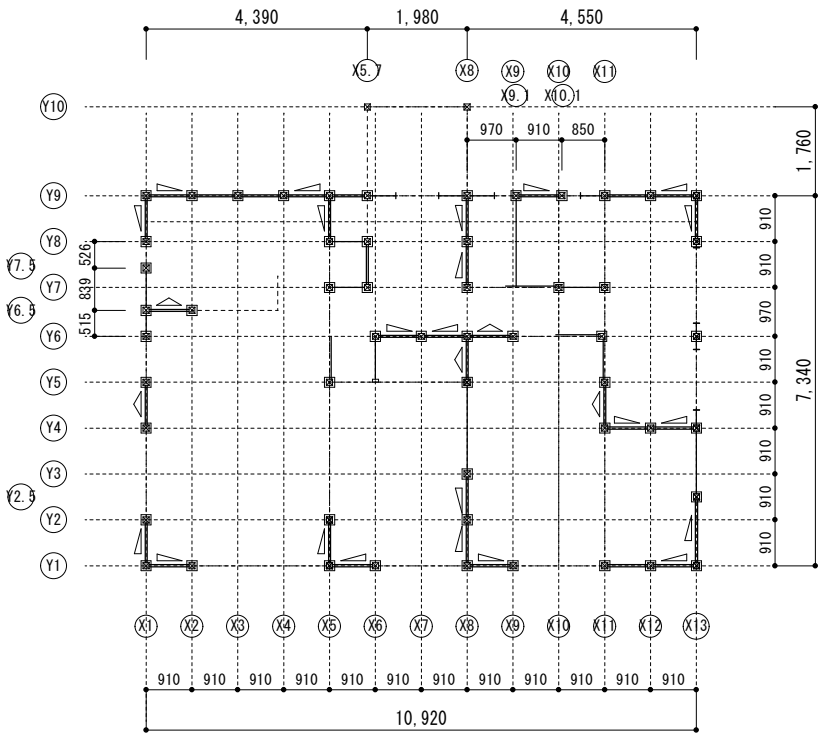
区画	計算式	面積 (㎡)
A	4.640 × 1.392 × 0.500	3.229440
B	(1.392 + 0.528) × 2.865 × 0.500	2.750400
C	4.640 × 1.588	7.368320
D	2.865 × 1.588	4.549620
E	(1.066 + 0.534) × 1.790 × 0.500	1.432000
F	0.210 × 1.050	0.220500
G	(0.955 + 0.878) × 0.255 × 0.500	0.233708
H	(0.939 + 0.862) × 0.255 × 0.500	0.229628
	計	20.013616



Y 軸方向見付面積図

◆ [Y 方向 見付面積 計算]

区画	計算式	面積 (㎡)
A	12.120 × 1.911	23.161320
B	11.100 × 1.070	11.877000
	計	35.038320



1階 耐力壁 平面図

◆ 存在壁量の算定

階	方向	記号	有効壁量 倍率	壁 長 (cm)								存在壁量 耐力壁 (cm)	存在壁量 準耐力壁 (cm)	存在壁量 計 (cm)	存在壁量 合計 (cm)
				カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所	カ所
1	X	S	2.00	91.00	12									1,092.00	2,184.00
		W	4.00	91.00	2									182.00	728.00
	Y	S	2.00	91.00	9		136.50	1						955.50	1,911.00
		W	4.00	91.00	3									273.00	1,092.00

S:筋かい (シングル) W:筋かい (ダブル)

◆ 壁量判定 (必要壁量検討方法 : 表計算ツール (平屋建て用) (在来軸組工法用))

階	方向	地震力に対する床面積当たりの 必要壁量			風圧力に対する見付面積当たりの 必要壁量			必要壁量の決定				存在壁量 (cm)	壁量判定 必要壁量 ≤ 存在壁量
		床面積	係数	必要壁量	見付面積	係数	必要壁量	地震力	記号	風圧力	必要壁量		
		(㎡)	(cm/㎡)	(cm)	(㎡)	(cm/㎡)	(cm)	(cm)		(cm)	(cm)		
		A	B	C=A×B	D	E	F=D×E	G		F	G	H	G ≤ H
1	X	83.63	15	1,254.45	20.01	50	1,000.50	1,254.45	>	1,000.50	1,254.45	2,912.00	OK
	Y				35.04		1,752.00		<	1,752.00	1,752.00	3,003.00	OK

壁量等の基準 (令和7年施行) に対応した表計算ツール (平屋建て用) (在来軸組工法用)

入力値	項目	入力欄	入力の注意点等		
	1階階高h1 (m)	2.893	土台上端～梁上端までの距離		
	標準せん断力係数C0	0.2	軟弱地盤の指定がある場合は0.3（不明な場合は特定行政庁に確認）		
	1階床面積 (m2)	83.63	（ここでは小屋裏面積は含めなくともよい。）		
	屋根の仕様	金属板ぶき	ブルダウン選択		
	外壁の仕様	サイディング	ブルダウン選択		
	太陽光発電設備等 (N/m2)	あり (260)	太陽光発電設備等の質量を任意入力したい場合は「あり（任意入力）」をブルダウン選択し、右欄（緑）にその質量を入力する。	下記への入力は不要です。 設備等の質量（kg）	
	天井断熱材 (N/m2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をブルダウン選択し、右欄（緑）に値を入力する。	密度 (kg/m3) 20	厚さ (mm) 155
	外壁断熱材 (N/m2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をブルダウン選択し、右欄（緑）に値を入力する。異なる断熱材を重ねて使用する場合には2段に分けて記載する。	密度 (kg/m3) 20	厚さ (mm) 105

*1: 固定荷重・積載荷重の根拠は

*2: 屋根面積に対しての均し荷重として算定される。

出力結果	単位床面積当たりの必要壁量 (方法①)	1階
		15

2-2 樹種等を選択し、算定式と有効細長比より柱の小径を求める場合

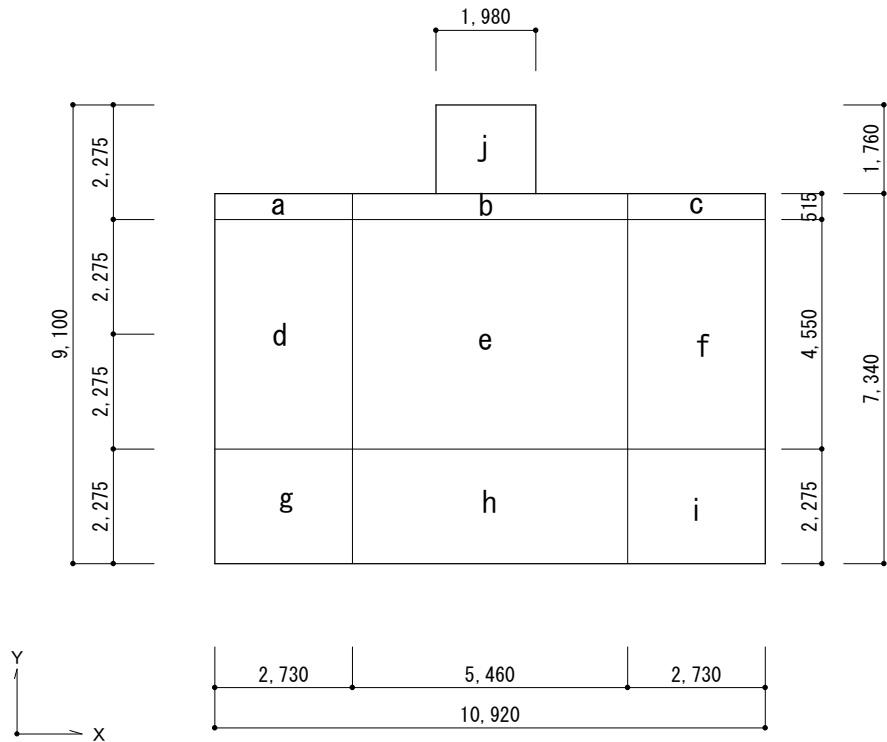
階ごとに①～④の4種類までの柱材が選択できます (調達可能な材料であることは要確認)。

柱材の種類		入力値			出力結果	
		JAS規格	樹種等	等級等 (積層数)	圧縮の基準強度 Fc (N/mm2)	柱の小径 (mm以上)
1階	①	無等級材	ひのき	—	20.7	74
	②				該当なし	
	③				該当なし	
	④	国土交通大臣が基準強度の数値を指定した木材等使用する場合は基準強度を記入				

◆ 耐力壁・準耐力壁仕様一覧

種類	壁 記号	種 類 名		基準 倍率	係数	開口 有無	開口 高さ	取付 高さ	下地貼材 高さ	垂壁 高さ	腰壁 高さ	下地貼材 実高さ	横架材間 内法寸法	有効 壁 倍率
							(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	(cm)	
耐力壁	S	筋かい	45×105 (シングル)	2.0										2.00
	W	筋かい	45×105 (ダブル)	4.0										4.00

・有効壁倍率=基準倍率×係数×下地貼材実長高さ÷横架材間内法寸法



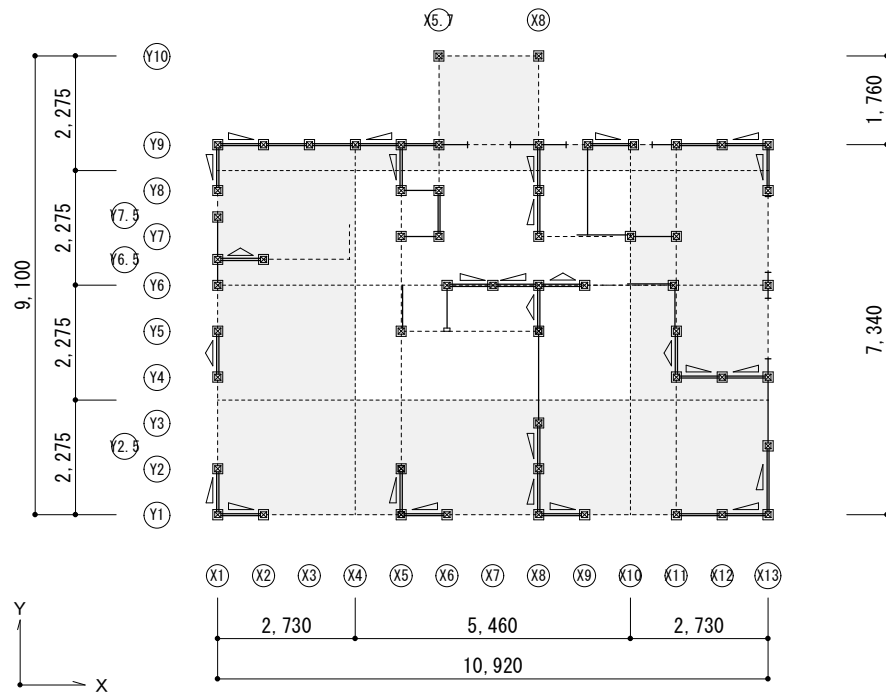
1階四分割法 面積図

◆ 区画別床面積 計算表
[1 階]

区画	横 (m)	縦 (m)	床面積 (㎡)	備考
a	2.730	0.515	1.405950	
b	5.460	0.515	2.811900	
c	2.730	0.515	1.405950	
d	2.730	4.550	12.421500	
e	5.460	4.550	24.843000	
f	2.730	4.550	12.421500	
g	2.730	2.275	6.210750	
h	5.460	2.275	12.421500	
i	2.730	2.275	6.210750	
j	1.980	1.760	3.484800	

◆ 四分割対象面積

階	方向	位置	計 算 式	面積 (㎡)
1	X	上	a + b + c + j	9.11
		下	g + h + i	24.84
	Y	左	a + d + g	20.04
		右	c + f + i	20.04



1階四分割法 平面図

凡 例

—	一般壁	△	筋違 ダブル
- - - -	開口部	柱頭 ≡ 柱脚	筋違 シングル
—	耐力壁	□	管 柱
- - - -	1/4範囲		

◆ X方向存在壁量 (cm)

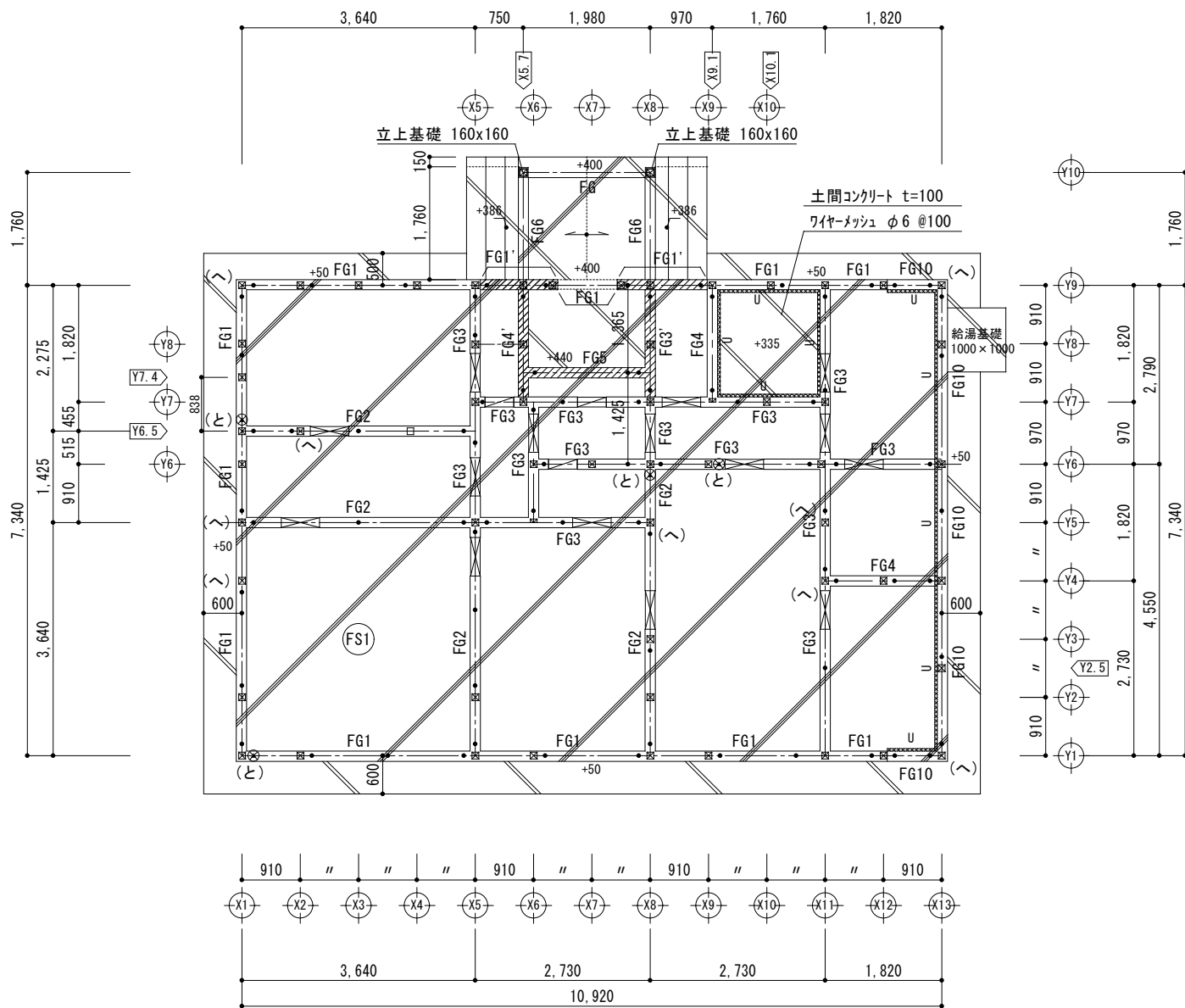
1 階		種類	通り	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
	上	耐力壁	Y9	182.0	182.0	182.0	182.0				728.0
			存在壁量								728.0
1 階		種類	通り	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
	下	耐力壁	Y1	182.0	182.0	182.0	182.0				728.0
			存在壁量								728.0

◆ Y方向存在壁量 (cm)

1 階		種類	通り	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
	左	耐力壁	X1	182.0	364.0	182.0					728.0
			存在壁量								728.0
1 階		種類	通り	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
	右	耐力壁	X13	273.0	182.0						455.0
			X11	364.0							364.0
			存在壁量								819.0

◆ 四分割法判定

階	方向	位置	有効面積	壁量係数	地盤	必要壁量	存在壁量	壁量	壁量
			(㎡)	(cm/㎡)	割増	(c m)	(c m)	充足率	判定
			①	②	③	④=①*②*③	⑤	⑥=⑤/④	⑥≧1.00
1	X	上	9.11	15	1.0	136.65	728.00	5.32	OK
		下	24.84	15	1.0	372.60	728.00	1.95	OK
	Y	左	20.04	15	1.0	300.60	728.00	2.42	OK
		右	20.04	15	1.0	300.60	819.00	2.72	OK
								四分割法判定	
								適合	



基礎伏図

S=1:100

※ 特記なきスラブは (FS2) とする

凡例	
	人通口W=550
	人通口W=450
	基礎スラブを示す
	土間コンクリート 厚120 D10-200@S.C
	高基礎 を示す
	高基礎 (FG10) を示す
	アンカーボルトM12を示す。
	ホールダウン金物 を示す。
	GLからのスラブ天端を示す特記なきは+60
	ウレタンフォーム t=40

特記事項

- ・ 特記なきスラブは FS2 とする。
- ・ 基礎、床板、地中梁、
コンクリート Fc21 +3N/mm² SL=15cm
- ・ 土間コンクリート Fc21N/mm² SL=15cm
- ・ 捨てコンクリート Fc18N/mm² SL=15cm
- ・ 鉄筋 SD295A (D10、D13、D16)
- ・ 内部スラブ下には土間シート t=0.15敷

アンカーボルトの仕様

- ・ 短期の引き抜力が10kNを超える1階接合金物は M16アンカーボルトと直結する接合とする
- ・ アンカーボルトのコンクリート基礎への定着長さ
25.0kN以下 360mm以上
25.0kNを超え 35.5kN以下 510mm以上

引張力を土台に定着させる座金の仕様

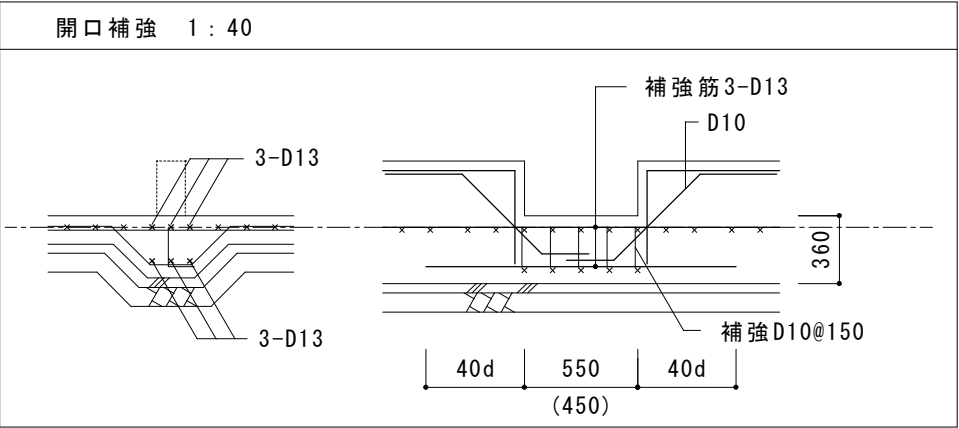
- 6.4kN以下 厚さ4.5mm、40mm角
- 14.4kN以下 厚さ6.0mm、60mm角
- 25.6kN以下 厚さ9.0mm、80mm角

ホールダウン金物 (告示1460号第2号表三による金物)		耐力	数量
(へ)	ホールダウン金物 (10KN) 又は、HDコーナー	9.0KN	10*2
(と)	ホールダウン金物 (15KN)	13.5KN	4*2
(ち)	ホールダウン金物 (20KN)	18.0KN	

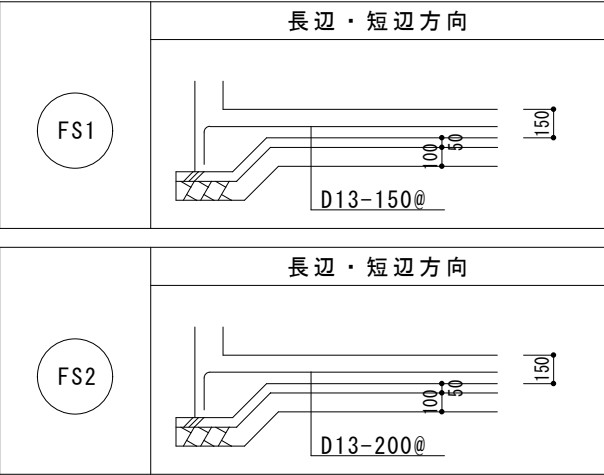
- ・ 上記の金物はZマーク品又は同等品とする
- ・ HDコーナーを使用する場合は10kN用まで (10kN×2=20kN不可)
- ・ 10kNの付近にはアンカーボルトを配置すること
付近の土台アンカーは座金厚6×60角を使用すること
丸座金を使用する場合は、
めり込み耐力10KN 以上の丸座金を使用すること
- ・ 10kNを超える柱脚金物にはD16のアンカーを使用すること。

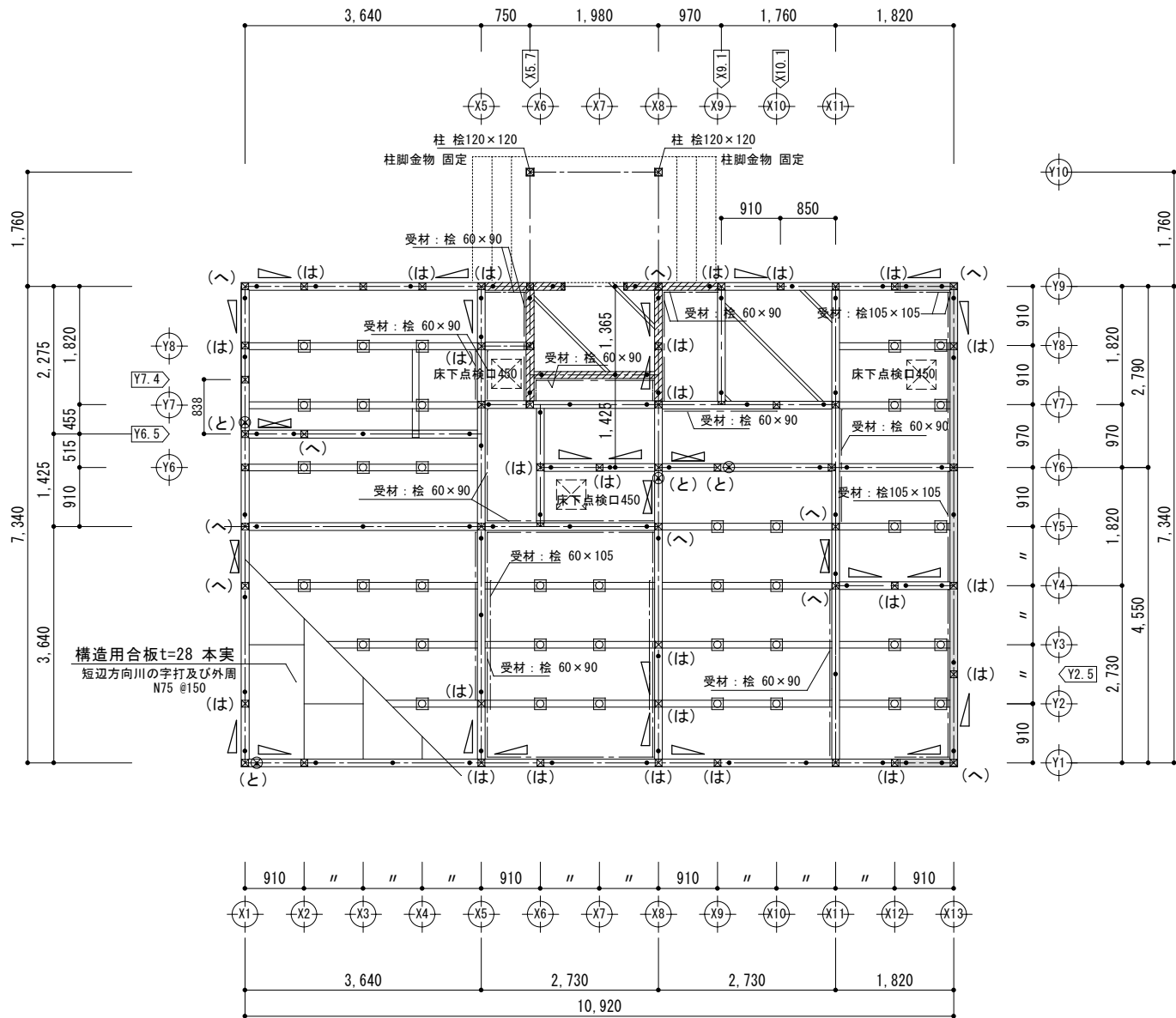
	FG1 (FG1')	FG2	FG3 (FG3')	FG4 (FG4')	FG5 (玄関)	FG6
B x D	160 x 705	160 x 705	160 x 705	160 x 495	160 x 615	160 x 565
上端主筋	1-D13	2-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13
下端主筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13
立上筋	D10-200@ ㌵㌶㌷	D10-200@ ㌵㌶㌷	D10-200@ ㌵㌶㌷	D10-200@ ㌵㌶㌷	D10-200@ ㌵㌶㌷	D10-200@ ㌵㌶㌷
特記	1) 各基礎交差部に 縦筋D13を配置すること。					

	FG10	FG
	<p>160 40 気密パッキン t=20 セルフベリリング t=12 カルタンフォーム t=40 桧 40×40@455 受材 桧 105×105 アンカー M10@910 D13 D10-200@ D13-200@ ▽ FL ▽ GL 1,500 795 405 300 150 250 1,200 600</p>	<p>320 D10-200@ D13 ▽ FL ▽ GL 670 370 300 150 320</p>
B × D	160 × 1,500	320 × 670
上端主筋	2-D13	3-D13
下端主筋	2-D13	3-D13
立上筋	㌵ D13-200@、 ㌵ D10-200@	ST□ D10-200@
特記	1) 各基礎交差部に 縦筋D13を配置すること。	腹筋 D10-200@ 幅止 D10-1000@



床版配筋リスト1:40





床 伏 図 S=1:100

凡 例 (単位mm) ※倍率以外	
⊠	柱 : 桧 105×105
⊠	柱 : 桧 120×120 (玄関等 2カ所)
▤ (5カ所)	耐力壁 筋かい (ダブル) 桧 45×105
柱頭 ▤ 柱脚 (22カ所)	耐力壁 筋かい (シングル) 桧 45×105
▬	高基礎 (FG10) を示す
▬▬▬	土台 : 桧120×120
—●—	アンカーボルトM12を示す
▬▬▬	大引き : 杉105×105 @910
⊗	ホールダウン金物
⊠	束 鋼製束 @910

土台アンカーボルト特記事項

アンカーボルトの埋め込み長さは250mm以上とする
アンカーボルトの先端はオメガ丸座金同等品を使用する。
アンカーボルト埋設位置は次による

- 1、耐力壁の両側の柱の近接部（柱芯より200mm以内）
ただし、ホールダウン専用アンカーボルトが取付け
られた場合は省略することができる
- 2、土台切れ箇所、土台継ぎ手及び土台仕口箇所の
上木端部とし、出隅部分はできるだけ柱に
近接した位置とする
- 3、その他の部分は間隔2.7m以内とする。

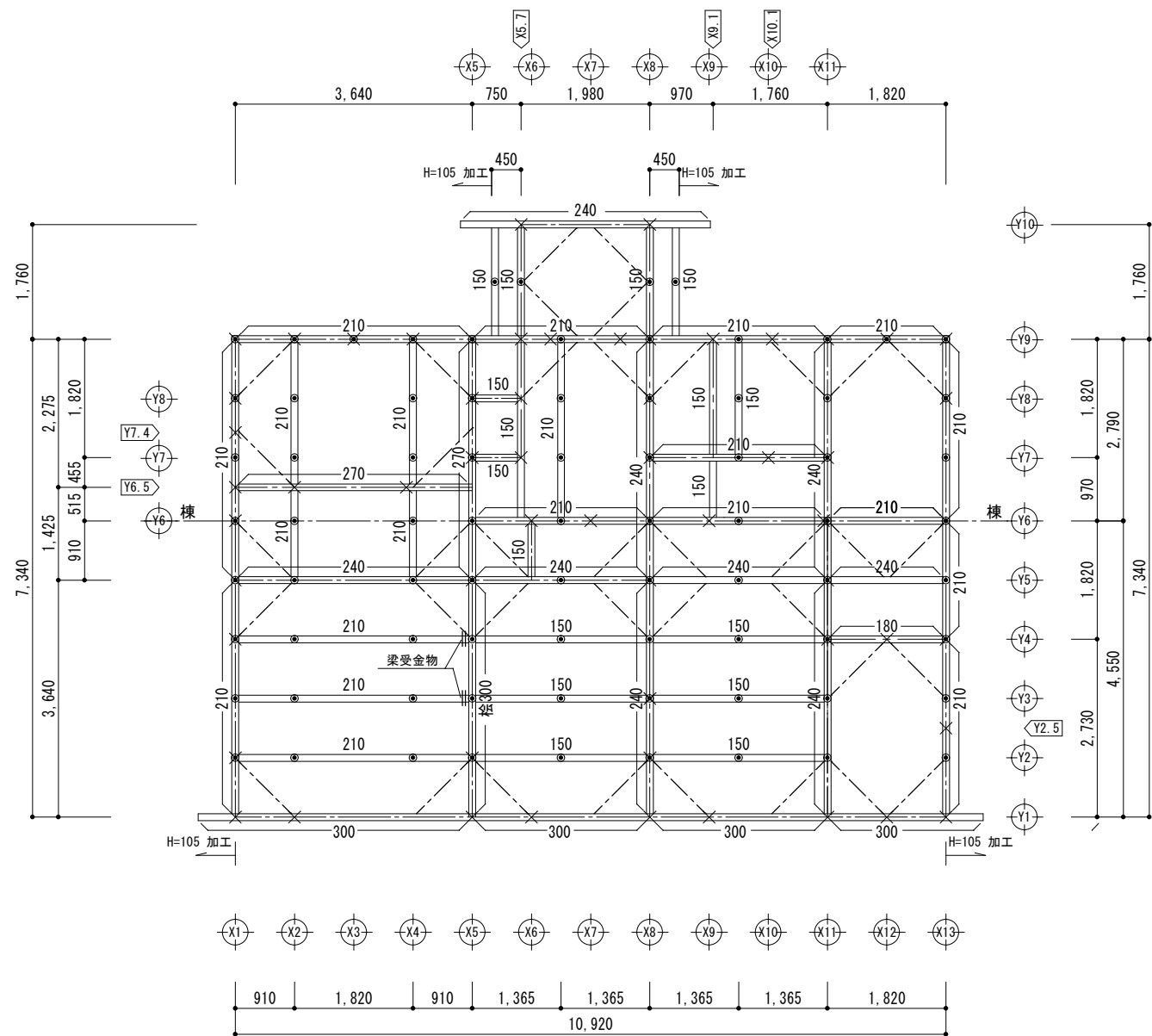
柱頭・柱脚 金物リスト (告示1460号第2号表三による金物)		耐力	数量
(は)		5.0KN	25*2 +15*2
(へ)	ホールダウン金物 (10KN) 又は、HDコーナー	9.0KN	10*2
(と)	ホールダウン金物 (15KN)	13.5KN	4*2
(ち)	ホールダウン金物 (20KN)	18.0KN	

・上記の金物はZマーク品又は同等品とする
・柱脚、柱頭は全て短ほぞする、加えて上記の
必要金物を配置する。
・特記なき柱脚、柱頭は短ほぞ込み栓打に加え、5kN以上
(上記 (は)) の金物により接合する。
・柱頭柱脚は同一金物を使用する。
・HDコーナーを使用する場合は10kN用まで (10kN×2=20kN不可)
・10kNの付近にはアンカーボルトを配置すること
付近の土台アンカーは座金厚6×60角を使用すること
丸座金を使用する場合は、
めり込み耐力10KN 以上の丸座金を使用すること
・10kNを超える柱脚金物にはD16のアンカーを使用すること。

部材表		
部位	材 種	構 造 等 級
柱	桧	無等級材
梁	杉	無等級材
土台	桧	無等級材
大引	杉	無等級材

特記事項

構造耐力上主要な部分である柱、筋違い、
構造用合板及び土台のうち地盤から1.0m以内の
部分には有効な防腐防蟻処理をすること



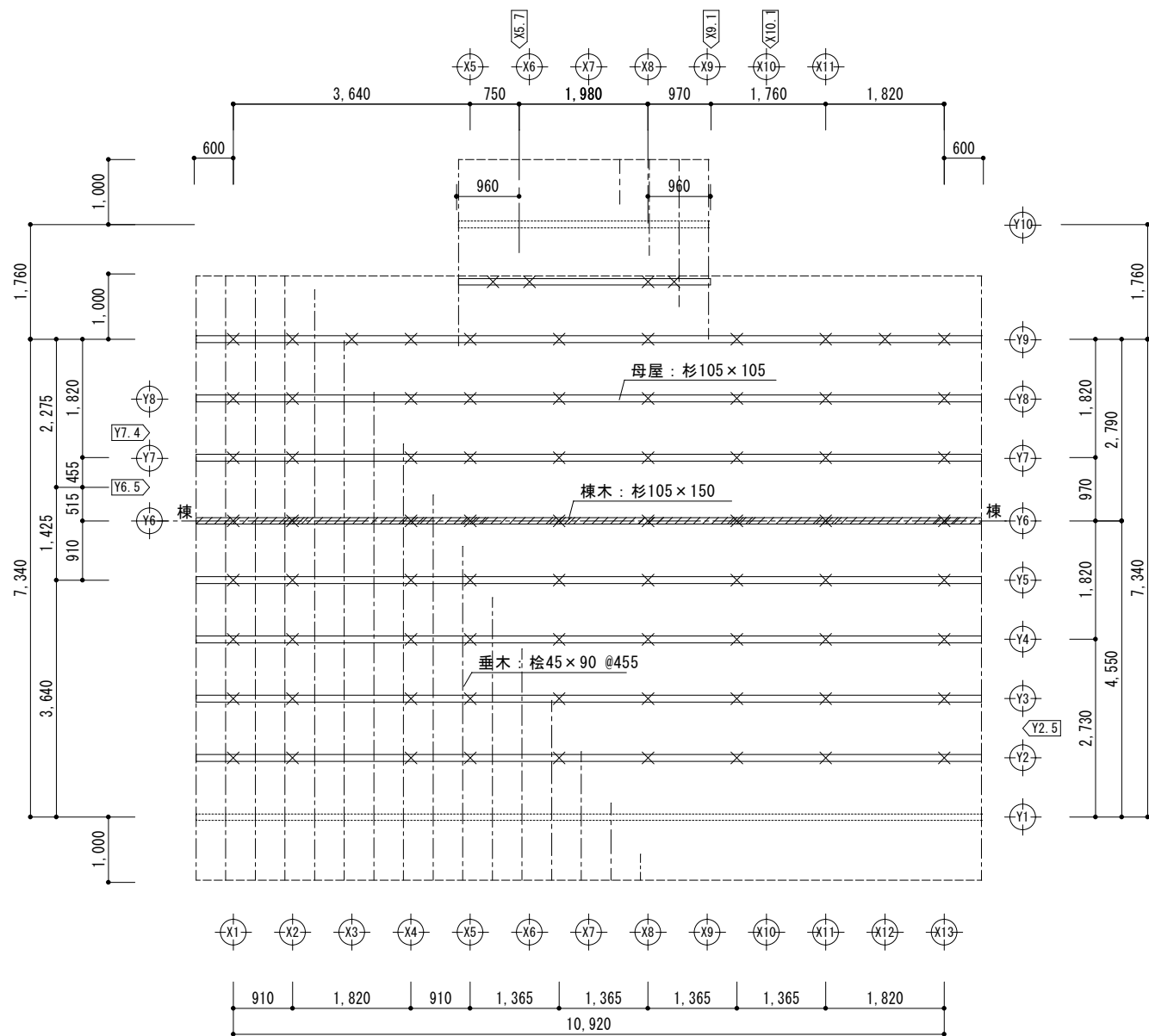
小屋梁伏図 S=1:100

梁伏図 凡例	
⊙	束 杉105×105
×	下部柱
—	鋼製火打ち

横架材接合部金物の仕様	
位置	腰掛け蟻、もしくは、大入れ蟻掛けに加え 羽子板ボルト、又は、短冊金物を配置
	水平構面のフランジ部分に相当する外周部横架材の 継手仕口と筋違い上端がとりつく横架材接合部に 配置する

部材表		
部位	材種	構造等級
柱	桧	無等級材
梁、母屋	杉	無等級材
たる木	桧	無等級材

特記事項
・特記なき梁は杉 とする
・特記なき梁幅は105 とする
・耐力壁内で梁の継ぎ手を設けないこと
・特記なき母屋幅は105 とする
・垂木と軒桁・母屋・棟木は垂木接合金物で 接合すること
・梁受け金物(ツメあり) (タカ 105幅×210用 同等品) Y3、Y4通り 梁端部突付け仕口 2ヵ所



母屋・垂木伏図 S=1:100

母屋・垂木伏図 凡例	
---	垂木：桧 45×90@455
×	下部束を示す 杉 105×105
—	母屋：特記なきヶ所 杉 105×105
—	棟木：杉 105×150

設計年月日	

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也



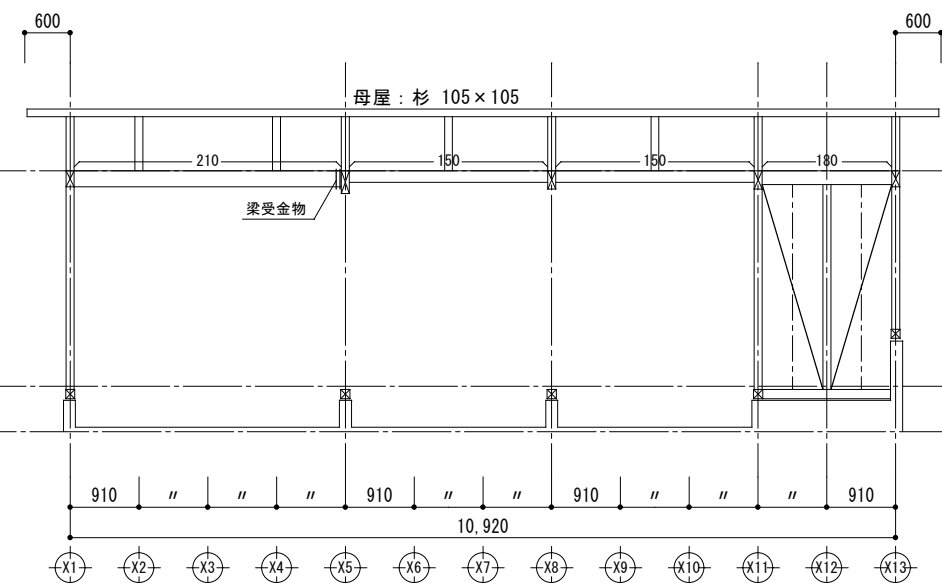
SCALE
S=1:100

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図

図面名称
小屋梁伏図 母屋・垂木伏図

B-13

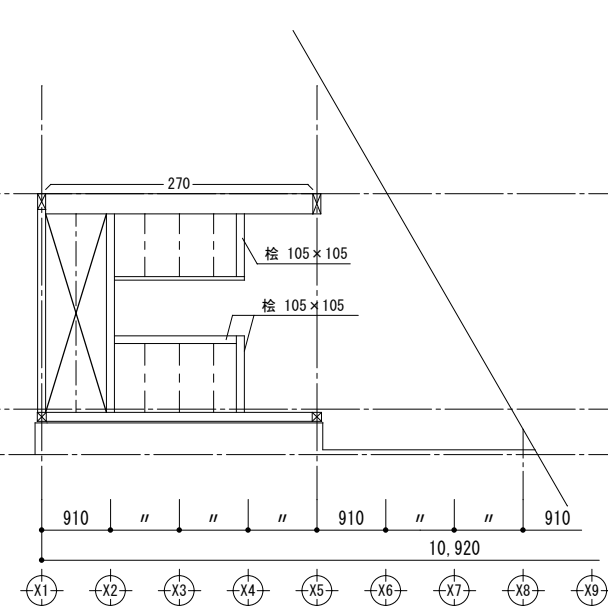
No. **



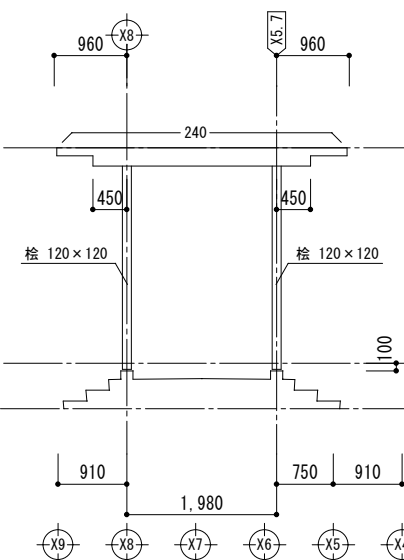
Y4 通り

共通事項
・ 特記なき梁幅は105
・ 特記なき梁は 杉 とする
・ 特記なき柱は105×105 桧 とする
・ 特記なきマグサ、鴨居は 桧 45×105とする。

S=1:100



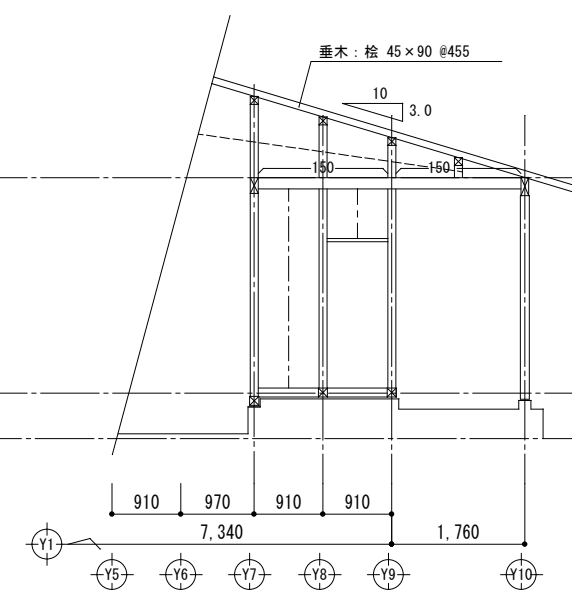
Y6.5 通り



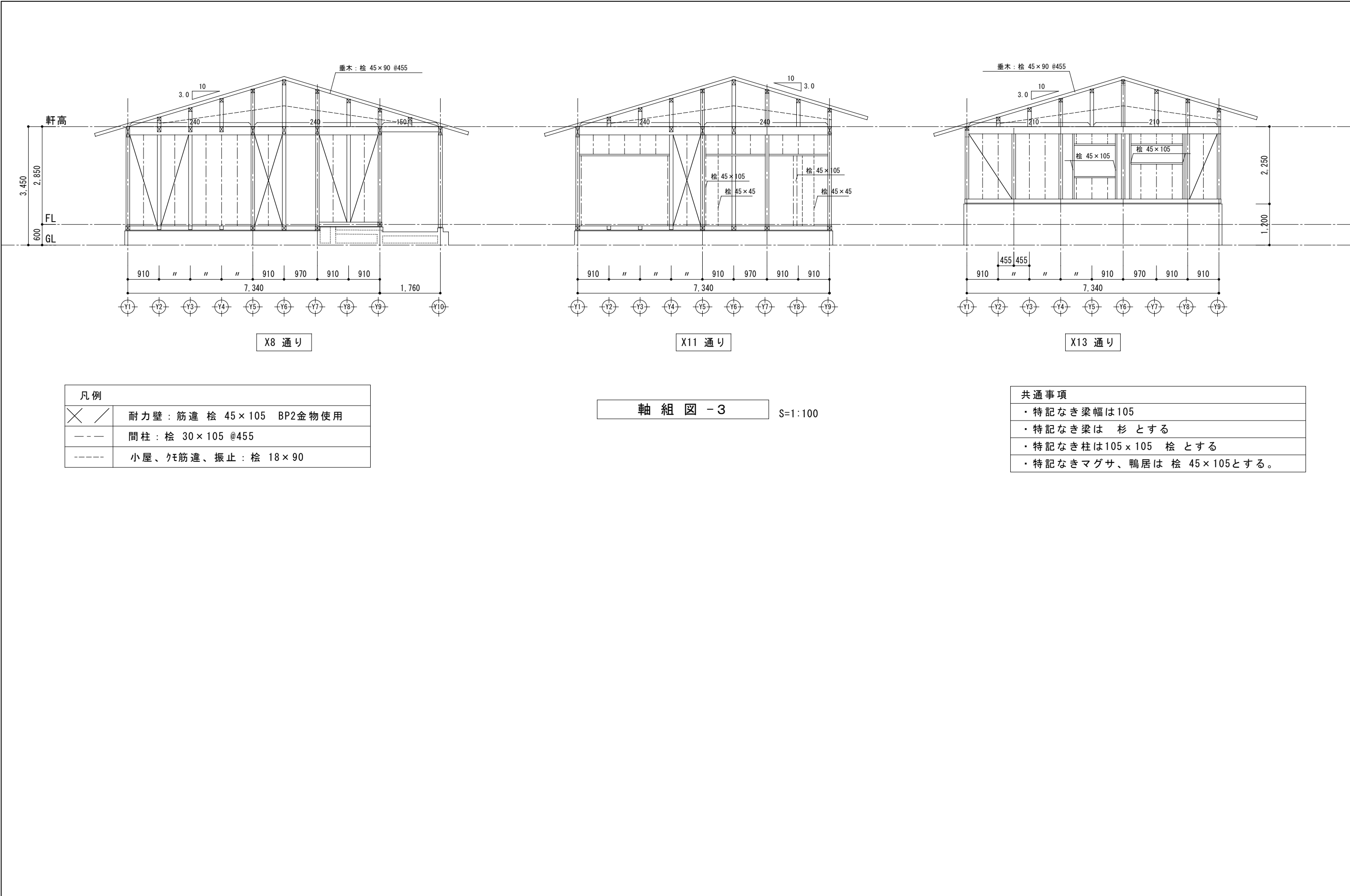
Y10 通り

軸組図 - 2 S=1:100

共通事項
・ 特記なき梁幅は105
・ 特記なき梁は 杉 とする
・ 特記なき柱は105×105 桧 とする
・ 特記なきマグサ、鴨居は 桧 45×105とする。



X5.7 通り

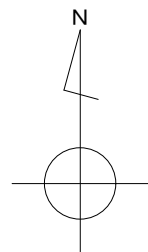
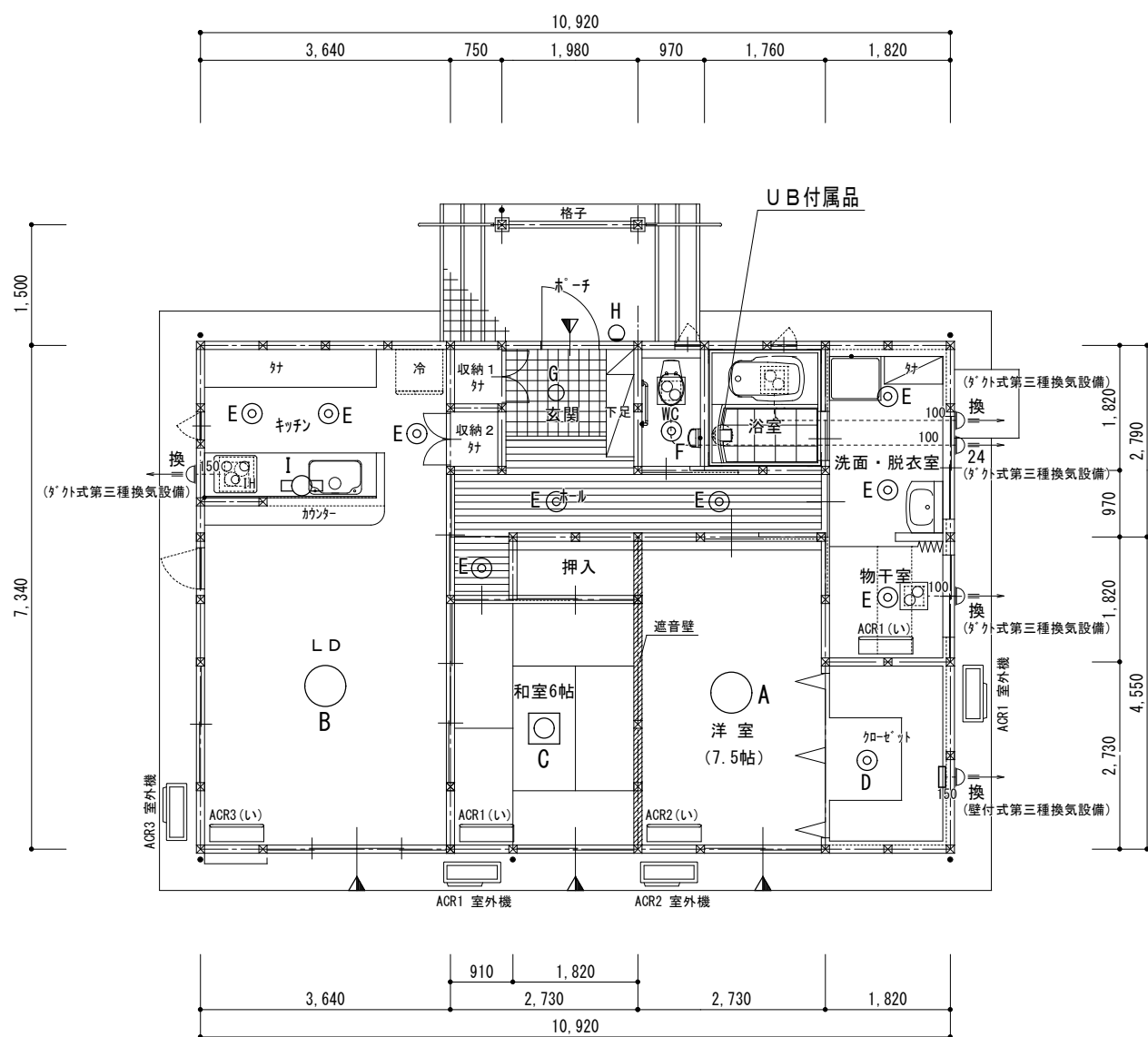


凡 例	
	耐力壁：筋違 桧 45×105 BP2金物使用
	間柱：桧 30×105 @455
	小屋、桟筋違、振止：桧 18×90




軸 組 図 - 3

S=1:100



共通事項
・ 特記なき梁幅は105
・ 特記なき梁は 杉 とする
・ 特記なき柱は105×105 桧 とする
・ 特記なきマグサ、鴨居は 桧 45×105とする。

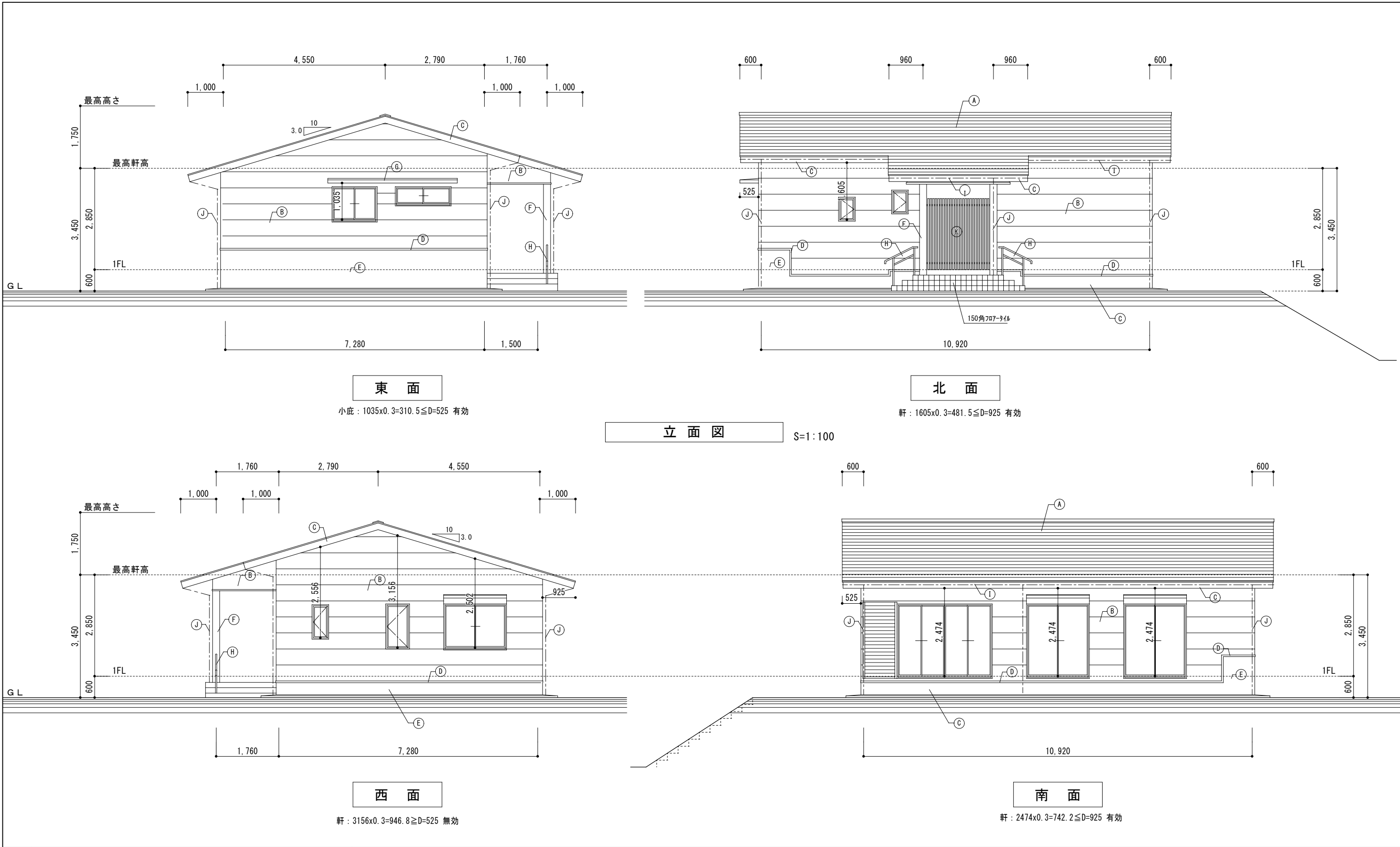


S=1 : 100

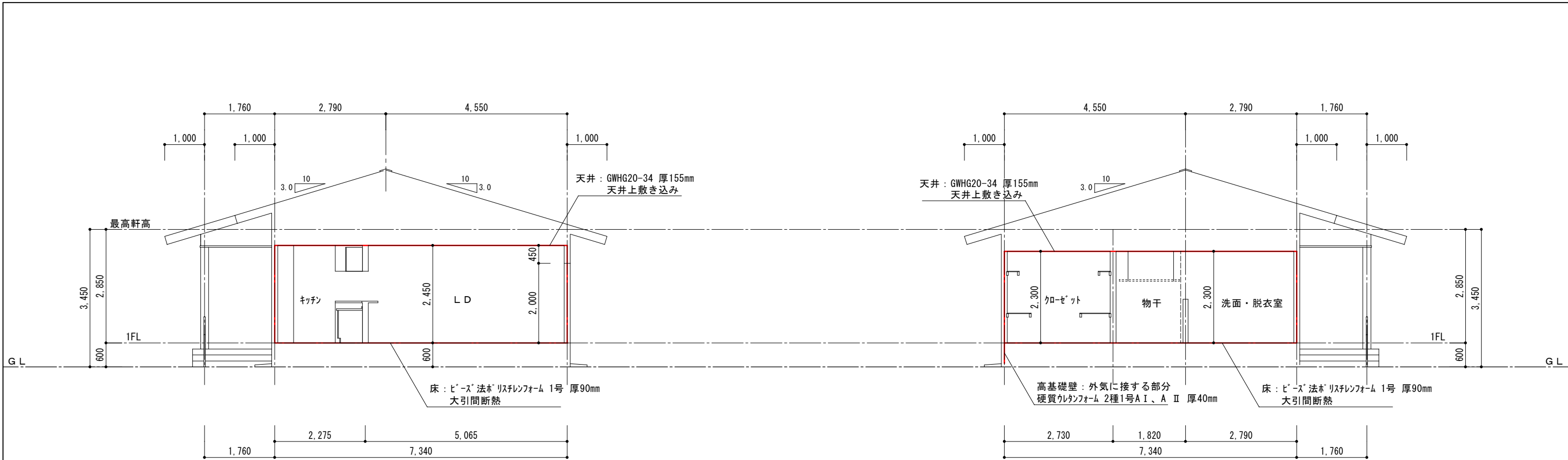
凡 例	
 --- D = 24	24時間換気用（排気）
 --- D = 換	局所用換気扇（7+付）
 ACR	エアコン ※取付位置は各室の状況により調整する。

凡 例	
記号	名称
A	LEDシーリング* ライト LGC31156K
B	LEDシーリング* ライト LGC51156K
C	LEDシーリング* ライト LGC35823
D	LED* ウンライト XAD3100NKCE1
E	LED* ウンライト XAD3100LKCE1
F	LED* ウンライト XAD1100LKCE1
G	LEDシーリング* ライト LGBC58022LE1
H	LED* ーチライト LGWC80360LE1
I	LEDキッチンライト LGB52097LE1

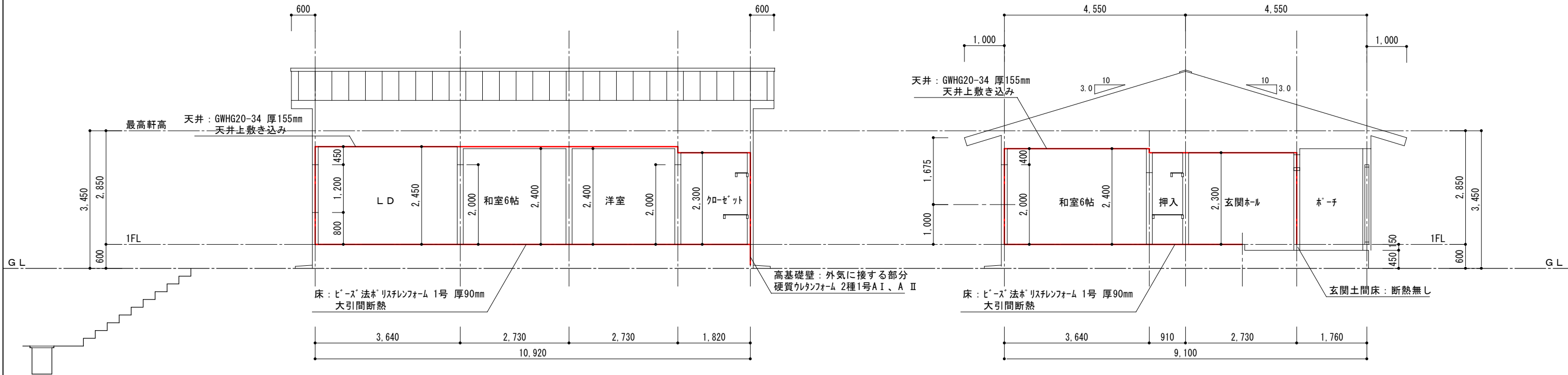
設計年月日		 株式会社 プラス1 設計室	高知県四万十市古津賀 2939-8	 THINKING KONG	SCALE	工事名称	令和 7 年度 西土佐総合保健施設 医師住宅 3 号 新築 工事設計図 平 面 図	省-01 No. **
R07 04			TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247		S=1:100	図面名称		
			事務所登録 第 1324 号					
			1 級建築士 第196860号 永富 達也					

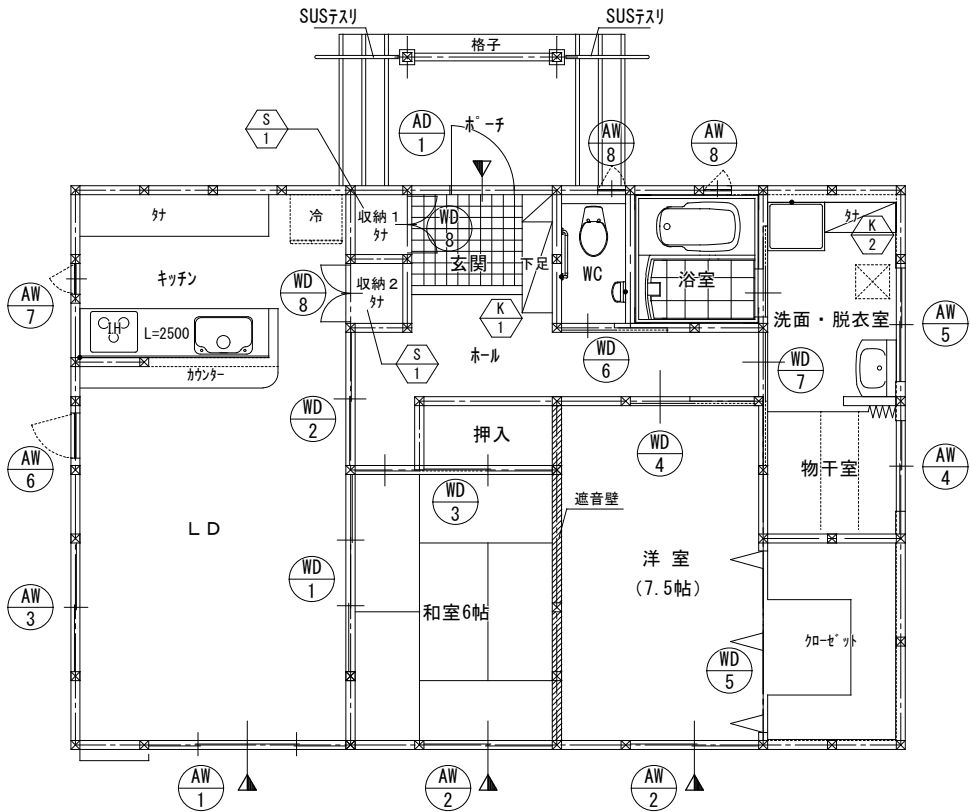


記号			記号		記号		記号	
(A)	屋根	SGL遮熱ちぢみ塗装鋼板t=0.35 段葺 断熱材裏打ち品	(C)	破風・ケラハ	(G)	庇	(K)	目隠し格子
		ゴムアスルーフینگ	(D)	土台水切	(H)	手摺		アルミ 外付タイフ (木目調) 30×55 H=2000
(B)	外壁	窒素系サイディングボード t=16 (塗装品) 横張り	(E)	幅木	(I)	軒樋		
		透湿防水シート 同質コーナ	(F)	柱型	(J)	竖樋		
設計年月日			株式会社	高知県四万十市古津賀 2939-8	SCALE	工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図	省-02
			プラス1設計室	TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247	S=1:100	図面名称	立面図	No. **
				事務所登録 第1324号				
				1級建築士 第196860号 永富 達也				



断面図 S=1:100





キープラン S=1:100

記 号 ・ 数 量	<div>AD1</div> × 1	<div>AW1</div> × 1	<div>AW2</div> × 2
形 状 S=1:100	<div><div>2,330</div><div>960</div><div>熱貫流率：1.59W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>2,000</div><div>2,560</div><div>熱貫流率：2.03W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>2,000</div><div>1,650</div><div>熱貫流率：2.03W/(㎡・K)</div></div>
場 所	玄関	L D	和室6帖、洋室
形 式	住宅用玄関片開き戸	4枚引き違い窓	引き違い窓
見 込		70mm	70mm
材質・仕上	アルミ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
硝 子	型板複層ガラス LowE4+Ar16+型板6	(断熱) 複層ガラス	(断熱) 複層ガラス
金 物	付属金物一式、SUSハンドル、シリンドリ錠	遮熱グリーン3+Ar16+透明3G	遮熱グリーン3+Ar15+透明4G
備 考	住宅用	雨戸、SUS網戸付 住宅用 半外付型	シャッター雨戸、SUS網戸付 住宅用 半外付型
記 号 ・ 数 量	<div>AW3</div> × 1	<div>AW4</div> × 1	<div>AW5</div> × 1
形 状 S=1:100	<div><div>1,100</div><div>1,650</div><div>熱貫流率：1.22W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>900</div><div>1,195</div><div>熱貫流率：1.27W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>500</div><div>1,500</div><div>熱貫流率：1.27W/(㎡・K)</div></div>
場 所	L D	物干室	洗面・脱衣室
形 式	引き違い窓	引き違い窓	引き違い窓
見 込	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
硝 子	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar13+透明1.3+Ar13+グリーン3G	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar11+型4+Ar12+グリーン3G	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar11+型4+Ar12+グリーン3G
金 物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備 考	シャッター雨戸、SUS網戸付 住宅用 半外付型	SUS網戸付 住宅用 半外付型	SUS網戸付 住宅用 半外付型
記 号 ・ 数 量	<div>AW6</div> × 1	<div>AW7</div> × 1	<div>AW8</div> × 2
形 状 S=1:100	<div><div>1,100</div><div>600</div><div>熱貫流率：1.12W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>900</div><div>365</div><div>熱貫流率：1.26W/(㎡・K)</div></div>	<div><div>500</div><div>365</div><div>熱貫流率：1.26W/(㎡・K)</div></div>
場 所	L D	キッチン	浴室、WC
形 式	縦入り出し窓	縦入り出し窓	縦入り出し窓
見 込	70mm	70mm	70mm
材質・仕上	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ	7mm樹脂複合サッシ
硝 子	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar14+透明1.3+Ar14+グリーン3	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar12+型4+Ar13+グリーン3	(遮熱)トリプルガラス グリーン3+Ar12+型4+Ar13+グリーン3
金 物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備 考	SUS網戸付 住宅用 半外付型	SUS網戸付 住宅用 半外付型	SUS網戸付 住宅用 半外付型

設計年月日	
R07 05 15	

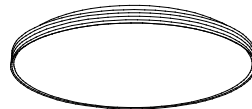
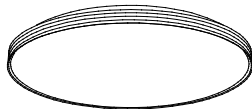
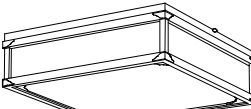
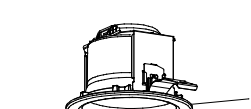
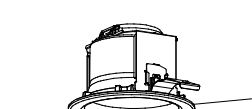
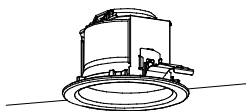

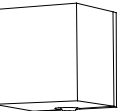
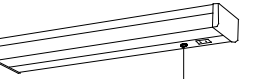
株式会社
プラス1 設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1 級建築士 第196860号 永富 達也

THINKING KONG

SCALE S=1:100	工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図	省-04 No. **
	図面名称 キープラン 建具表-1	

照明器具参考姿図

A		LEDシーリングライト 8畳タイプ		B		LEDシーリングライト 14畳タイプ		C		LEDシーリングライト 8畳タイプ		D		LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当		E		LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当																					
消費電力：32W								消費電力：41.3W								消費電力：32W								消費電力：7.3W								消費電力：7.3W							
昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束3950lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF カバー：アクリル（乳白つや消し）、枠：（ホワイト） リモコンで〈100%～5%〉調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC31156K				昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束5050lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF カバー：アクリル（乳白つや消し）、枠：（ホワイト） リモコンで〈100%～5%〉調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC51156K				昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束3350lm、消費電力32W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、回転金具方式、カチットF 下面パネル：アクリル（乳白つや消し） 側面強化和紙張り、木製（ダークブラウン仕上） リモコンで〈100%～5%〉調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC35823				LEDフラットランプφ70 昼白色（5000K）、Ra83 器具光束700lm、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：銅板（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD3100NKCE1				LEDフラットランプφ70 電球色（2700K）、Ra83 器具光束700lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：銅板（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD3100LKCE1																							
F		LEDダウンライト 60形電球1灯器具相当		G		LEDシーリングライト 100形電球1灯器具相当		H		LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当		I		LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当																									
消費電力：5W								消費電力：8.1W								消費電力：7.1W								消費電力：12W															
LEDフラットランプφ70 電球色（2700K）、Ra83 器具光束440lm、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：銅板（ホワイトつや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD1100LKCE1				電球色（2700K）、Ra83 器具光束810lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵 人感センサON／OFF・明るさセンサ付、拡散タイプ カバー：プラスチック（ホワイト） 点灯照度調整機能付 パナソニック LGBC58022LE1				電球色（2700K）、Ra83 器具光束515lm、電圧100V 拡散タイプ、防雨型 ツツミネジ方式、人感センサON／OFF・明るさセンサ付 カバー：アクリル（乳白） 本体：プラスチック（ホワイト） 点灯照度調整機能付 パナソニック LGWC80360LE1				昼白色（5000K）、Ra83 電圧100V 拡散タイプ、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） ブルスイッチ付、両面化粧タイプ パナソニック LGB52097LE1																											

※照明器具の消費電力は、JIS C 8105-3の測定方法による。

特 記 仕 様 書																																																																																									
Ⅰ 工 事 概 要																																																																																									
1. 工 事 場 所 高知県幡多郡四万十市西土佐用井																																																																																									
2. 建 物 概 要																																																																																									
<table><tr><th>建物名称</th><th>構造</th><th>階数</th><th>延べ面積</th><th>消防法施行令 別表第一</th></tr><tr><td>住宅</td><td>木造</td><td>平屋 建</td><td>80.15㎡</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>階 建</td><td>㎡</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>階 建</td><td>㎡</td><td></td></tr></table>					建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令 別表第一	住宅	木造	平屋 建	80.15㎡				階 建	㎡				階 建	㎡																																																																		
建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令 別表第一																																																																																					
住宅	木造	平屋 建	80.15㎡																																																																																						
		階 建	㎡																																																																																						
		階 建	㎡																																																																																						
(注) 延べ面積は建築基準法による表記																																																																																									
3. 工 事 種 目																																																																																									
<table><tr><th>建物別及び屋外 工 事 種 目</th><th>屋内</th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td>電灯コンセント設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>幹線設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>受変電設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>自家発電設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>共用灯設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>電話配管設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>情報配管設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>インターホン設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>テレビ共聴設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>電気時計設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>放送設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>非常照明・誘導灯設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>トイレ呼出表示設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>住宅火災警報器設備</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>外灯設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>構内線路</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					建物別及び屋外 工 事 種 目	屋内				電灯コンセント設備	○				幹線設備	○				受変電設備					自家発電設備					共用灯設備					電話配管設備	○				情報配管設備	○				インターホン設備	○				テレビ共聴設備	○				電気時計設備					放送設備					非常照明・誘導灯設備					トイレ呼出表示設備					住宅火災警報器設備	○				外灯設備					構内線路				
建物別及び屋外 工 事 種 目	屋内																																																																																								
電灯コンセント設備	○																																																																																								
幹線設備	○																																																																																								
受変電設備																																																																																									
自家発電設備																																																																																									
共用灯設備																																																																																									
電話配管設備	○																																																																																								
情報配管設備	○																																																																																								
インターホン設備	○																																																																																								
テレビ共聴設備	○																																																																																								
電気時計設備																																																																																									
放送設備																																																																																									
非常照明・誘導灯設備																																																																																									
トイレ呼出表示設備																																																																																									
住宅火災警報器設備	○																																																																																								
外灯設備																																																																																									
構内線路																																																																																									
Ⅱ 工 事 仕 様																																																																																									
1. 共 通 仕 様																																																																																									
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版（ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）令和４年版）及び電気設備工事標準図（令和４年版）による。																																																																																									
2. 特 記 仕 様																																																																																									
1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。																																																																																									
2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。																																																																																									
<table><tr><th>項 目</th><th>特 記 事 項</th></tr><tr><td>① 機材</td><td>設備機材等指定表による。</td></tr><tr><td>② 工事に電力、水、その他</td><td>本工事に必要な工事前仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ・ 四国電気保安協会 ・ 中央電気保安協会 ・ () 構内に作ることが ・ できる ○ できない</td></tr><tr><td>③ 工事前仮設物</td><td>次のものは原則として再生クラッシュランを使用する。 (屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地盤)</td></tr><tr><td>4 建設副産物</td><td>アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ・ 構内指示の場所に敷きならし ・ 構外搬出適切処理</td></tr><tr><td>5 残土処分</td><td>高知県土木部建築課 特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。</td></tr><tr><td>⑥ 産業廃棄物の処理について</td><td>はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・ 別途工事</td></tr><tr><td>⑦ 他工事との取り扱い</td><td>補 強 ※別途工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアーヒンジ ※別途工事 ・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事(墨出しは本工事) ・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮 枠 ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事</td></tr></table>					項 目	特 記 事 項	① 機材	設備機材等指定表による。	② 工事に電力、水、その他	本工事に必要な工事前仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ・ 四国電気保安協会 ・ 中央電気保安協会 ・ () 構内に作ることが ・ できる ○ できない	③ 工事前仮設物	次のものは原則として再生クラッシュランを使用する。 (屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地盤)	4 建設副産物	アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ・ 構内指示の場所に敷きならし ・ 構外搬出適切処理	5 残土処分	高知県土木部建築課 特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。	⑥ 産業廃棄物の処理について	はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・ 別途工事	⑦ 他工事との取り扱い	補 強 ※別途工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアーヒンジ ※別途工事 ・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事(墨出しは本工事) ・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮 枠 ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事																																																																					
項 目	特 記 事 項																																																																																								
① 機材	設備機材等指定表による。																																																																																								
② 工事に電力、水、その他	本工事に必要な工事前仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ・ 四国電気保安協会 ・ 中央電気保安協会 ・ () 構内に作ることが ・ できる ○ できない																																																																																								
③ 工事前仮設物	次のものは原則として再生クラッシュランを使用する。 (屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地盤)																																																																																								
4 建設副産物	アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ・ 構内指示の場所に敷きならし ・ 構外搬出適切処理																																																																																								
5 残土処分	高知県土木部建築課 特記仕様書（共通編）「産業廃棄物の処理について」によること。																																																																																								
⑥ 産業廃棄物の処理について	はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・ 別途工事																																																																																								
⑦ 他工事との取り扱い	補 強 ※別途工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアーヒンジ ※別途工事 ・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事(墨出しは本工事) ・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮 枠 ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事																																																																																								
設計年月日																																																																																									

名称	令和 7 年度 西土佐総合保健施設 医師住宅 3 号 新築 工事設計図	E-01
名称	特記仕様書	No. **



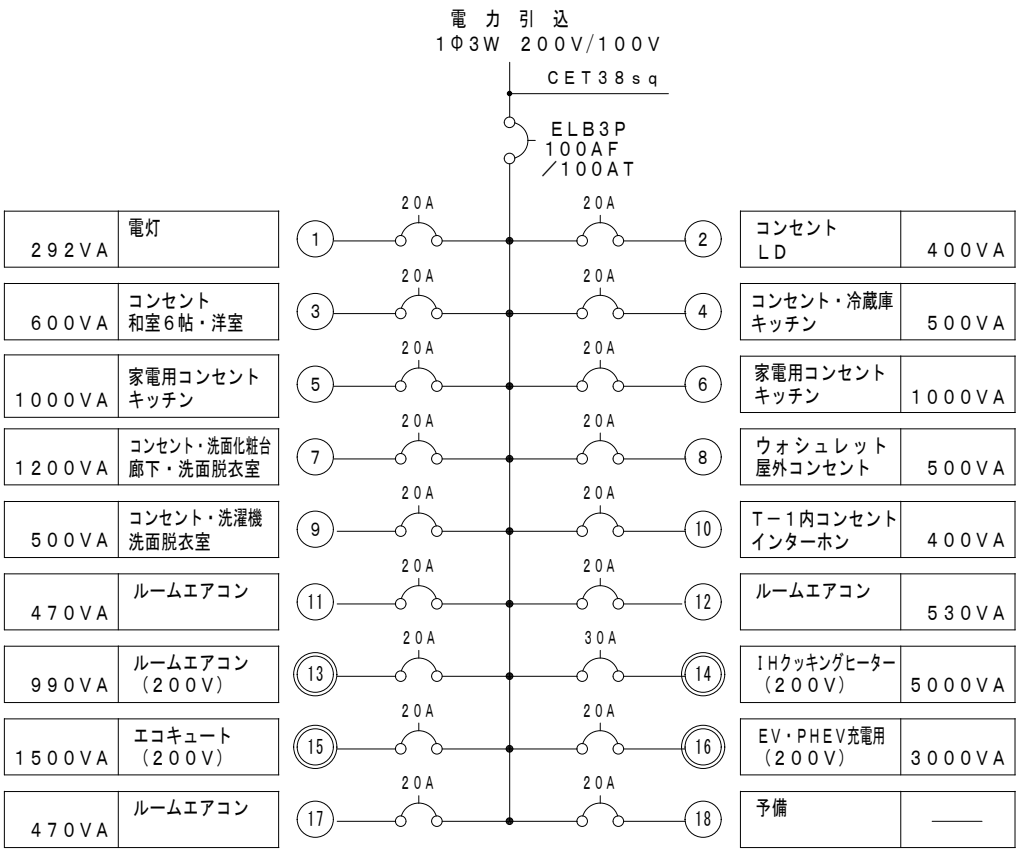
SCALE

$S=N \cdot S$

工事名称	令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図
図面名称	特記仕様書

E-01
0. *

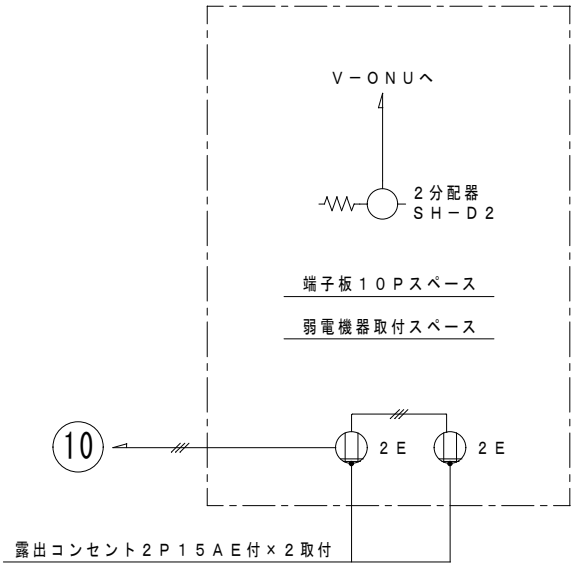
機材名		指定品	機材名		指定品	機材名		メーカー名	機材名		メーカー名	機材名		メーカー名
電線管類・同付属品		J I S マーク表示品				高周波点灯形蛍光灯安定器		東芝ライテック（株） パナソニック（株） 三菱電機照明（株）	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池 ※3 据置ﾆｯｹﾙ・ｶﾄﾞﾐｳﾑｱﾙｶﾘ蓄電池に限る		(株)GSユアサ 日立化成(株) 古河電池(株) 本多電機（株） ※3			
電線類等		国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書（電気設備工事編）				蛍光灯器具 LED照明器具		上記3社のほか 岩崎電気（株） 東和ライティング（株） (株)Y A M A G I W A (株)因幡電機製作所 (株)遠藤照明 大光電機（株） 山田照明（株）	監視カメラ装置		㈱JVCｾﾝｿｳﾄﾞ・公共産業ｼｽﾃﾑ T O A (株) パナソニック（株） (株)日立国際電気 三菱電機(株)			
耐火・耐熱ケーブル		耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの				照明制御装置		東芝ライテック(株) パナソニック（株） 三菱電機照明(株)	盤類(公共建築工事標準仕様) 分電盤・制御盤 ｷｬﾋﾞﾝｸﾞ式配電盤		(株)イトウテック 共栄電機工業(株) 光電設（株） 上記の他、30年版「建築 材料・設備機材等品質性能 評価事業評価名簿」に掲載 されたもの			
配線器具類		J I S マーク表示品				可変速電動機用インバーター装置		(株)日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機（株） (株)安川電機	太陽光発電装置		(株)三社電機製作所 山洋電気（株） (株)GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ(株) パナソニック（株） 富士電機（株） 三菱電機（株） (株)京セラソーラーコーポレーション			
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの		J I S マーク表示品				高圧交流遮断機（真空）		東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日新電機（株） (株)日立産機システム 富士電機（株） 富士電機機器制御(株) 三菱電機（株） (株)明電舎	交流無停電電源装置（UPS）		サンケン電気（株） (株)三社電機製作所 山洋電気（株） (株)GSユアサ 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日立化成(株) (株)日立製作所 富士電機（株） 古河電池（株） 三菱電機（株） (株)明電舎			
電磁接触器 JIS C 8201-1,JIS C 8201-4-1 に 適合するもの		J I S マーク表示品				高圧限流ヒューズ		(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株) 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三菱電機(株)						
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの		J I S マーク表示品				高圧負荷開閉器		エナジーサポート(株) 大垣電機（株） (株)新愛知電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ(株) (株)戸上電機製作所 日本高圧電気(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御（株） 三菱電機（株）						
指示電気計器 JISC1102（指示電気計器）		J I S マーク表示品				高圧進相コンデンサ		(株)指月電機製作所 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） ニチコン（株） 日新電機（株） 三菱電機（株） 利昌工業（株） ※1						
非常用照明器具		(社)日本照明器具工業会 のJ I L 適合マークが貼付 されたもの				高圧用変圧器		愛知電機（株） 四変テック（株） (株)ダイヘン タカオカ化成工業（株）※2 (株)東光高岳 東芝ｲﾝﾌﾗｼｽﾃﾑｽﾞ（株） 日新電機（株） (株)日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機（株） (株)明電舎 利昌工業（株） ※2						
誘導灯器具		誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの				※1 モールドコンデンサに限る								
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ		日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの												
防災電源用直流電源装置		蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの												
自動閉鎖装置		連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの												
非常放送装置の蓄電池		J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの												
非常警報装置（非常ベル）		日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの												
自動火災報知装置		日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの												
構内交換装置		(財)電気通信端末機器 審査協会の認定品												
設計年月日				高知県四万十市古津賀 2939-8 TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247 事務所登録 第 1324 号 1級建築士 第196860号 永富 達也		SCALE S=N・S		工事名称 令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図 図面名称 機材指定表		E-02 No. **				



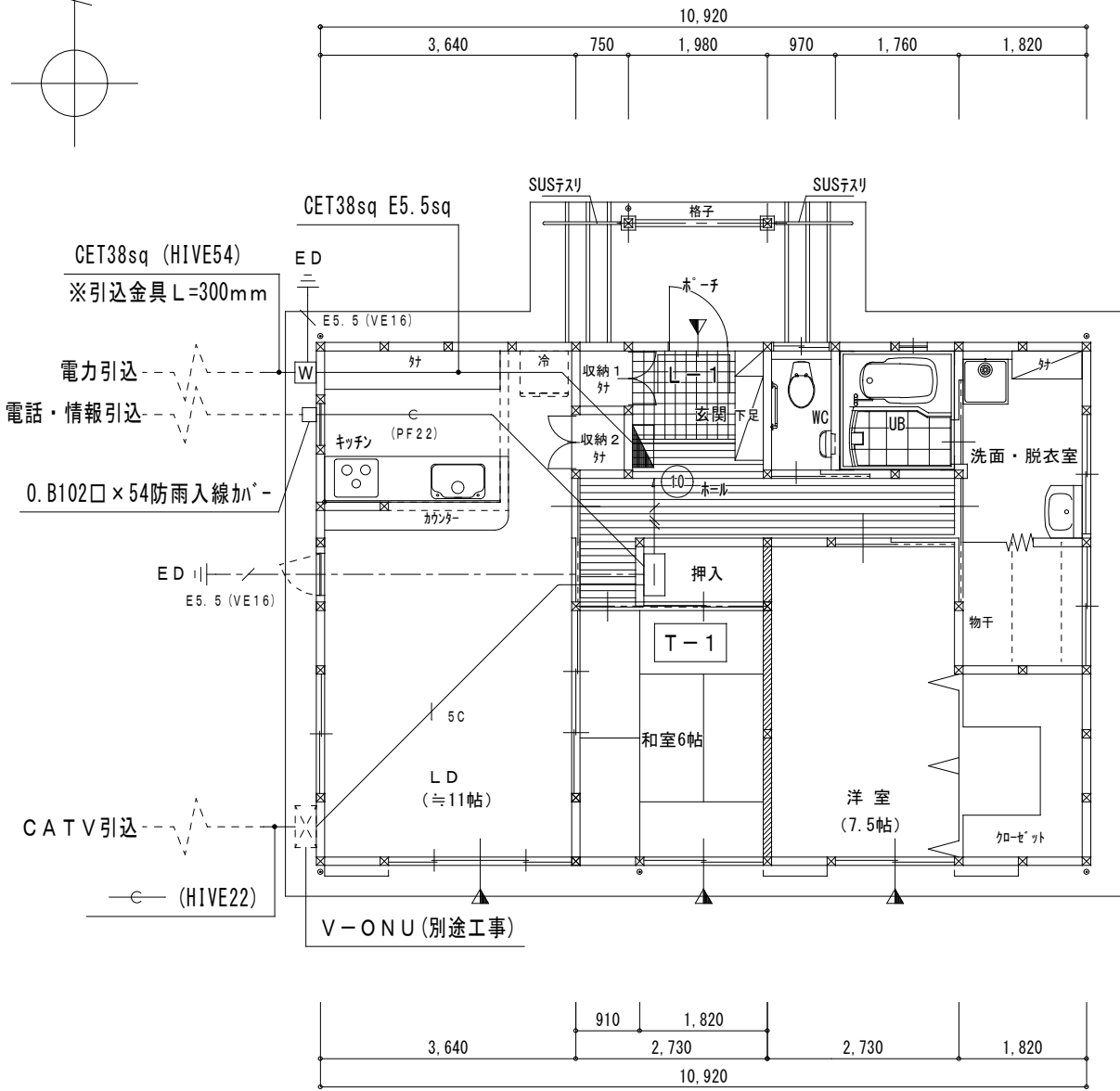
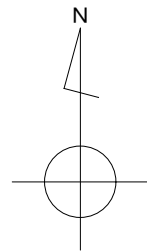
MCB2P30/20AT(100V) x 14
MCB2P30/20AT(200V) x 3
MCB2P30/30AT(200V) x 1

◎ 速結アース端子台
ED(ELB)

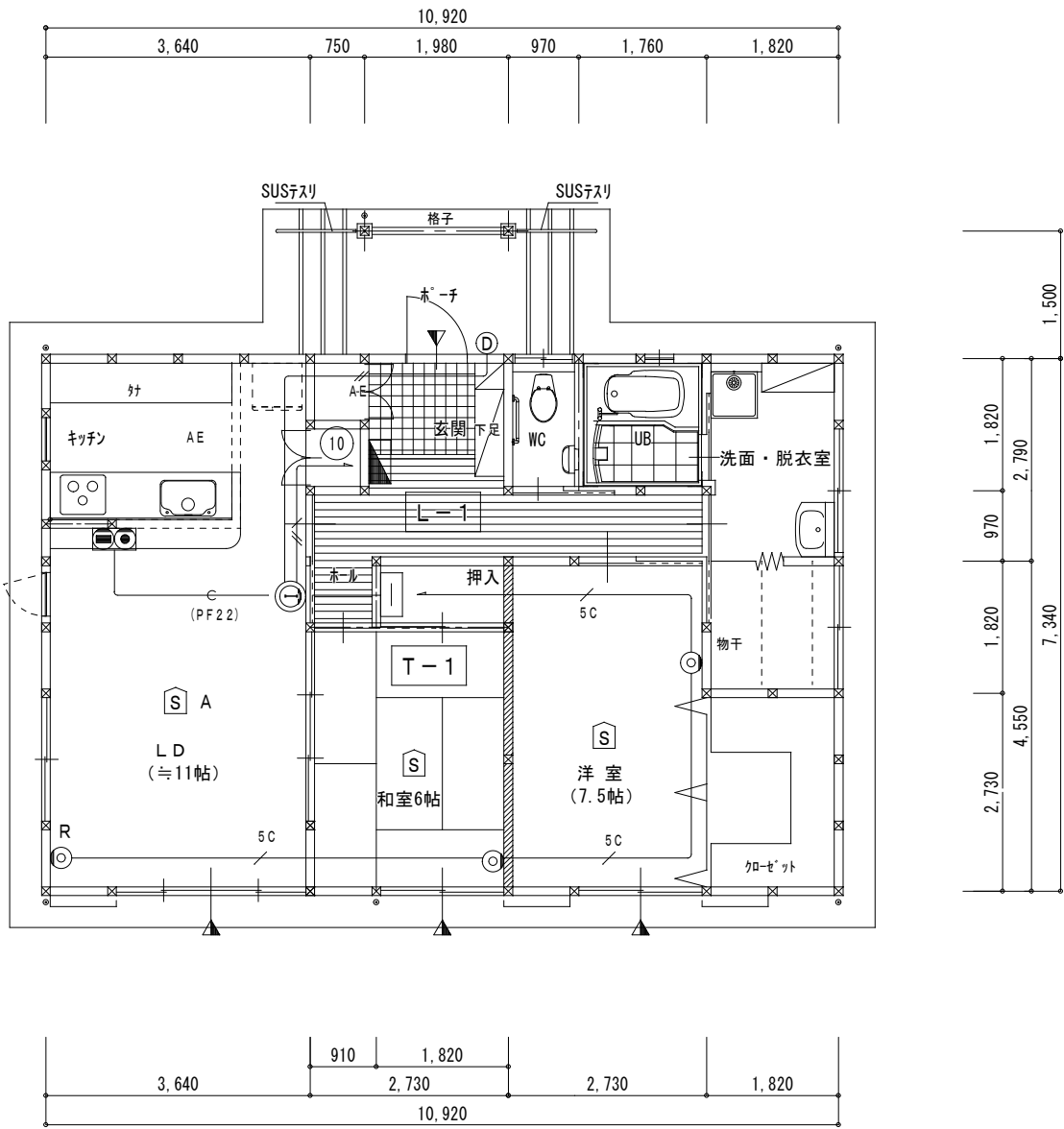
新設電灯盤L-1 ※市販品可
樹脂製 露出・半埋込両用型 ドア付



弱電端子盤T-1 ※市販品可
銅板製 露出型



平面図 S=1:100

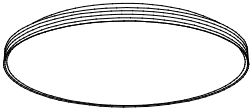
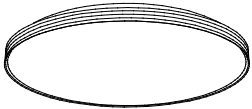
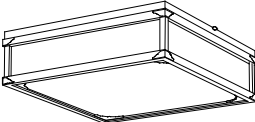
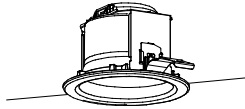
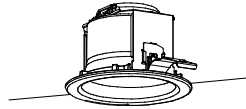
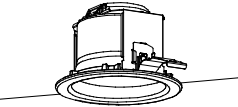
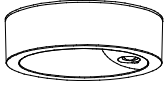
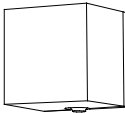
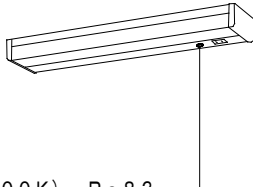


平面図 S=1:100

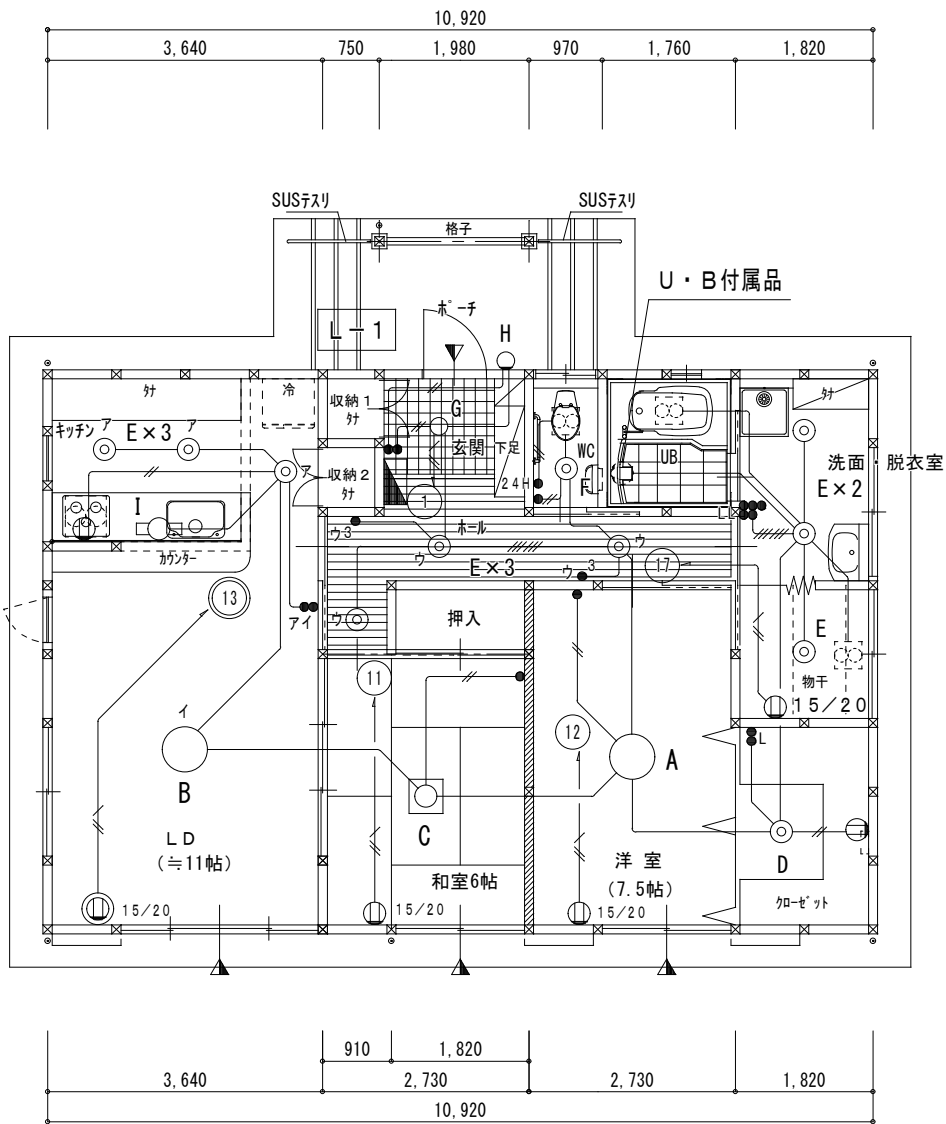
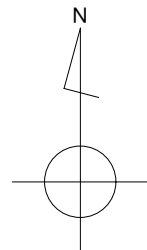
記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	図示 L-1 別図参照
	弱電端子盤	図示 T-1 //
	電力量計収納函	単相3線式 120A 1個用 スマートデザインタイプ //
	電話・情報コンセント	電話モジュラー6極4芯×1+CAT6×1 樹脂プレート共 //
	直列ユニット	一端子 中間 //
	//	一端子 端末 //
	インターホン親機	カラーモニター付 //
	ドアホン子機	カラーカメラ付 //
	住宅火災警報器	ワイヤレス運動型 親機 煙型 光電式2種 専用リチウム電池 //
	//	// 子機 // // //

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
	AE0.9-2C	コロガシ
	S5C-FB	//
	EEF2.0-3C	//
	(PF22)	インベイ

照明器具参考姿図

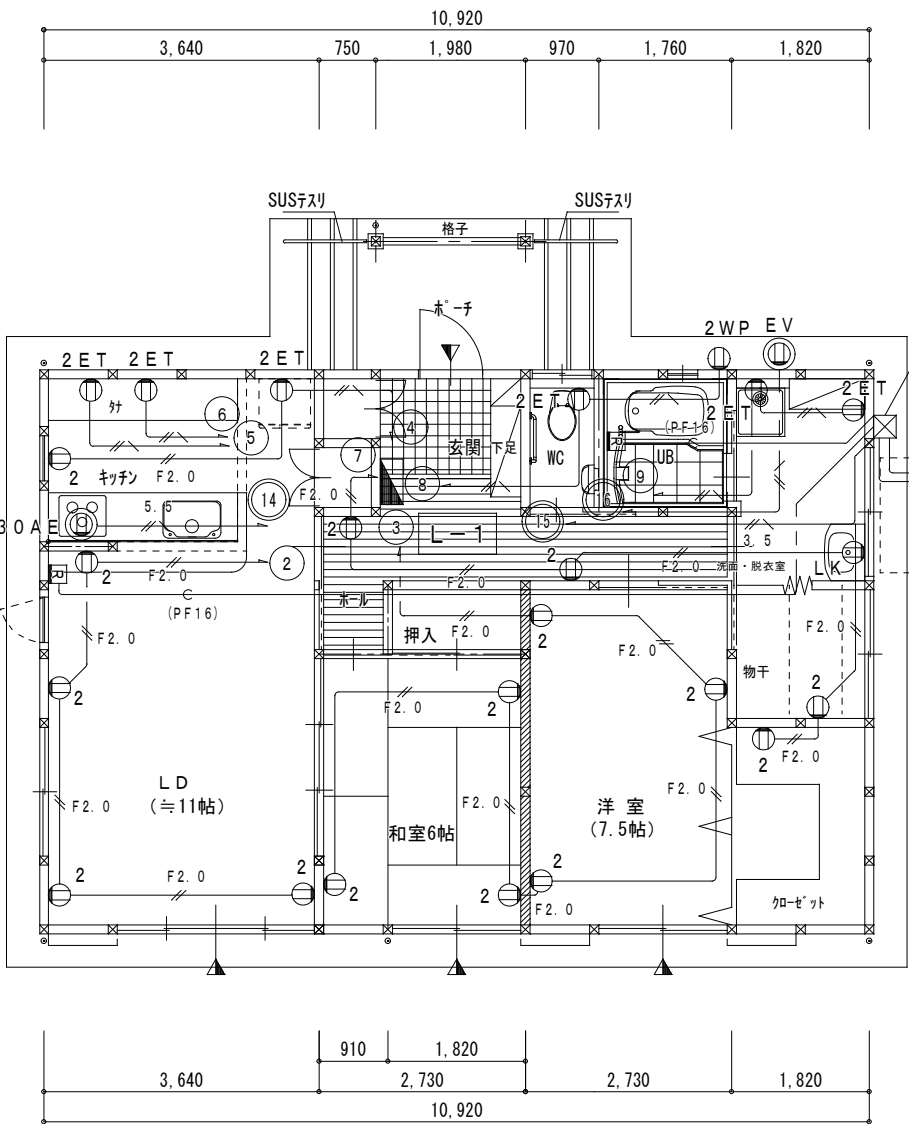
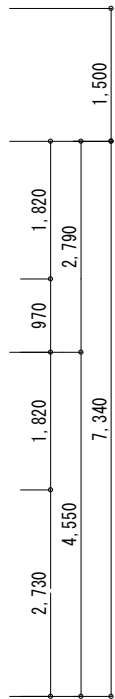
A	LEDシーリングライト 8畳タイプ	B	LEDシーリングライト 14畳タイプ	C	LEDシーリングライト 8畳タイプ	D	LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当	E	LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当
消費電力：32W		消費電力：41.3W		消費電力：32W		消費電力：7.3W		消費電力：7.3W	
									
昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束3950lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF カバー：アクリル（乳白つや消し）、枠：（ホワイ） リモコンで〈100%～5%〉調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC31156K		昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束5050lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、ソフトターン方式、カチットF カバー：アクリル（乳白つや消し）、枠：（ホワイ） リモコンで〈100%～5%〉調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC51156K		昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束3350lm、消費電力32W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、回転金具方式、カチットF 下面パネル：アクリル（乳白つや消し） 側面強化和紙張り、木製（ダークブラウン仕上） リモコンで〈100%～5%〉調光、専用リモコン送信器同梱 パナソニック LGC35823		LEDフラットランプφ70 昼白色（5000K）、Ra83 器具光束700lm、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：銅板（ホワイ）つや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD3100NKCE1		LEDフラットランプφ70 電球色（2700K）、Ra83 器具光束700lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：銅板（ホワイ）つや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD3100LKCE1	
F	LEDダウンライト 60形電球1灯器具相当	G	LEDシーリングライト 100形電球1灯器具相当	H	LEDポーチライト 60形電球1灯器具相当	I	LEDキッチンライト 20形直管蛍光灯1灯器具相当		
消費電力：5W		消費電力：8.1W		消費電力：7.1W		消費電力：12W			
									
LEDフラットランプφ70 電球色（2700K）、Ra83 器具光束440lm、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：銅板（ホワイ）つや消し） 埋込穴φ100 パナソニック XAD1100LKCE1		電球色（2700K）、Ra83 器具光束810lm、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵 人感センサON／OFF・明るさセンサ付、拡散タイプ カバー：プラスチック（ホワイ） 点灯照度調整機能付 パナソニック LGB58022LE1		電球色（2700K）、Ra83 器具光束515lm、電圧100V 拡散タイプ、防雨型 ツマミネジ方式、人感センサON／OFF・明るさセンサ付 カバー：アクリル（乳白） 本体：プラスチック（ホワイ） 点灯照度調整機能付 パナソニック LGWC80360LE1		昼白色（5000K）、Ra83 電圧100V 拡散タイプ、コンセント付 カバー：プラスチック（乳白） ブルスイッチ付、両面化粧タイプ パナソニック LGB52097LE1			

※照明器具の消費電力は、JIS C 8105-3の測定方法による。



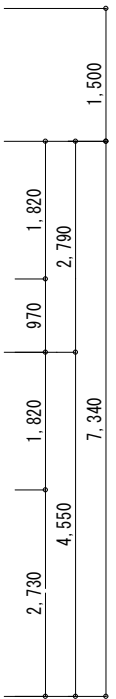
平面図

S=1:100



平面図

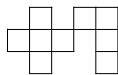
S=1:100



記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	図示 L-1 別図参照
●	埋込スイッチ	1P15A×1 ホタル・ネーム付 ワイドプレート共
● 3	〃	3W15A×1 ホタル・ネーム付 〃
⓪ 2	埋込コンセント	2P15A×2 〃
⓪ ET	〃	2P15A×1 ET 〃
⓪ 2ET	〃	2P15A×2 〃
⓪ LK	〃	2P15A×1 抜止 〃
⓪ 15/20	〃	2P15/20A×1 EET (100V) 〃
⓪ 15/20	〃	2P15/20A×1 EET (200V) 〃
⓪ 2WP	防水コンセント	2P15A×2 EET
⓪ 30AE	露出コンセント	2P30A E付×1(200V)
⓪ EV	EV・PHEV充電用コンセント	2P15/20A E付×1(200V) Panasonic:WK4322S
	給湯器リモコン支給品取付	機械設備工事支給品 スイッチボックス2個用に取付
● 24H	24時間換気用スイッチ取付	機械設備工事支給品

注記事項		
図中明記なき配管配線は下記による。		
	EEF1. 6-2C	コロガシ
	EEF1. 6-3C	〃
	EEF1. 6-2C×2	〃
	EEF1. 6-2C+3C	〃
	EEF2. 0-2C	〃
	EEF2. 0-3C	〃
	CE3. 5sq-3C	〃
	CE5. 5sq-3C	〃
	(PF16)	インペイ

設計年月日	
R07 04 01	



株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL (0880) 31-0246 / FAX (0880) 31-0247
事務所登録 第 1324 号
1級建築士 第196860号 永富 達也



THINKING KONG

SCALE
S=1:100

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築 工事設計図

図面名称
電灯コンセント設備図

E-06
No. E